

アリアンロッドRPG 2E・リプレイ

～ 夕焼けの冒険者 ～

第三話 『あるべき姿を求めて』

もっふ 著

まえがき

本キャンペーンのGM兼リプレイ執筆者のもつぷです。毎度ご覧いただきありがとうございます。え、初めて見る？ でしたら一度戻って、まずは「第一話」を探していただきたい。この文章はTRPGという遊びの様子を読み物にした「リプレイ」というもので、『夕焼けの冒険者』と名付けたアリアンロードRPG 2Eのキャンペーンシナリオの第三話になります。続き物のお話なので、ぜひ第一話からお楽しみください。

——と、書く意味があるかわからない前段はここまで。さて、第一話・第二話とアフターグローはいくつかの謎や人々に出会ってきました。謎の魔法陣、新参ギルド・クラフトワークス、消えた食料と青白い瘴気、暴走する妖魔……パリス同盟の一国、グランフェルデンを中心に何かが起きようとしていることに間違いはないようです。この第三話ではそうした謎や人々の関係性に少しずつ近づいて行くことになります。

というわけで、第三話はシティアドベンチャーです。街中を巡り、謎の真相を追うべく様々な調査を進めていきます。こういう人との会話や駆け引きがメインのシナリオでは、各PCの性格が出るのが面白いところ。アフターグローの4人がどんな相手とどんな駆け引きをしているのか……ぜひ本編でお確かめください。また、今回は内容が少し難しいこともあつてセツションが長時間となり（付き合ってくれたPL陣ありがとう）、本リプレイも三〇〇ページ近い大ボリュームになってます。読むのも大変かもしれませんが、アフターグローがどんな「偶然」に出会い、どんな「真相」を見つけたのか？ ぜひご覧いただければと思います。

——それでは、『夕焼けの冒険者』第三話、ぜひお楽しみください！

◆ PLEPLAY

▼ プリプレイヤー ～ いつもの遊戯のはじまり、はじまり ～

GM……というわけでアルディオン大陸では七大神信仰の他にセフィロスという神竜王への信仰が盛んで……そして最近は大崩壊（グレート・ディストラクション）という現象が起きて……。

プレイヤー…なるほど。彷徨ってた十年の間にそんなことが。

プレイヤーO…お邪魔します。……つて何やってるの？

『夕焼けの冒険者』の第三話セッションの日。今日は朝から夕方まで**仲間内でのボードゲーム**会で遊んだ後、GMの家に集合するプレイヤーたち。GMの車で一足先に到着していたプレイヤーNは自身のPCであるサイモンの成長とその背景を考えるため、GMからアルディオン大陸の歴史と文化について説明を聞いていた。

その後続々と集まったプレイヤーたちは何を言わずともレベルアップの相談を始める。いつもの光景だ。

GM……じゃあ集まったことですし、なににせよ始めますか。

この項目では本文の補正やセッションで話せなかったGMの想い、本文に書いていない戯言を書いている。お遊びな内容も多いのでご了承を。

仲間内でのボードゲーム会

GMは最近少しずつ流行りだした海外ボードゲームを十五年ほど前から遊んでいるボードゲーマー。最近では日本語版もたくさん出て遊びやすくなって何より。

プレイヤーS…もう始まっているのでは。

GM…まだ今回予告もしていないのです。(一同笑)……それではキャンペーン第三話を始めます！

一同…イエーイ！

GM…みんな順調に成長してきて、次はどんな成長をするのか楽しみですが……まずは今回予告から始めましょう。

● 今回予告

南の平原で食料強奪を繰り返していた妖魔は退治された。だが、消えた食料に青白い瘴気、狂暴化した妖魔…いくつもの謎がグランフェルデンに暗い影を落としていた。

グランフェルデンの中に吹く不穏な風は国を担う貴族をも巻き込んでいく。流れる情報、暗躍する人々、ぶつかり合う想い…国のあるべき姿を取り戻すため、冒険者はグランフェルデンの中を駆ける。食料強奪事件の黒幕は誰なのか。そしてその目的は？

アリアンロッドRPG 2E・キャンペーン　く夕焼けの冒険者く

第三話『あるべき姿を求めて』

冒険の舞台が、キミを待つ！

もう始まっているのでは

プリプレイの開始つてどこからなのか、わからないといえわからない。

GM…というわけで第三話は「あるべき姿を求めて」。それとハンドアウトも。(紙を配る)

プレイヤーO…ハンドアウトどれにしようかなー？

GM…一個中一個選べるぜ。(一同笑)

プレイヤーO…悩むなー。どれがいい？

プレイヤーS…一個目かなー。

プレイヤーN…僕も一個目。

プレイヤーH…俺もー。

プレイヤーS…じゃあジャンケンするかー。(一同爆笑)

プレイヤーN…選べなかった人はどうなるんだ(笑)。

GM…(笑)というわけでハンドアウトは今回も『アフターグロー』用の一つだけです。

●ギルド『アフターグロー』用ハンドアウト

コネクション…??? (依頼者)

クラフトワークスとの競争から早二週間。いつも通り神殿の依頼所を訪れると、アリエツタからアフターグロー指名の依頼があると告げられる。依頼の詳細は知らされていないので、依頼者の所へ向かうキミたち。そこで頼まれたのは、食料強奪事件に関する国の内偵調査だった。

GM…コネクションは今名前が出てないけど、依頼者です。出てきたらその名前を書いてください。——で、第一話から第二話では一日しか経っていませんでしたが、今回の第三話になるにあたっては二週間が経ちました。

プレイヤーS…おお。

プレイヤーO…ということは、今頃レベルは15くらいになっているはず。(一同笑)

GM…なりません(笑)。その間は神殿や街中の依頼を受けて過ごしてきました。

プレイヤーO…ということはお金が増え……。

GM…ない。

プレイヤーN…生活費に消えた。あるある。

プレイヤーO…はー、カスカよ。

GM…で、今回のシナリオはシティアドベンチャーです！ 結構がつつり。

プレイヤーO…シティアドベンチャーとは。

GM…基本的にダンジョンではなく街中等の色んな場所に行って調査をすることになる。前回も半分シティアドベンチャーをしたけど、今回は判定メインではなく結構会話メインです。判定もするけど、それよりは聞きたいことを聞く、聞きだすことになるので積極的な会話をお願いします。

一同…はい。

今頃レベルは15くらい

一日で1レベル上がったなら二週間で14レベルアップと。単純計算。

ない 速攻で断言。言質は取らせぬ。

GM…ま、困れば判定で情報を出したりするけどね。うまく聞き出せれば判定無しでもどんな情報は出てくると思っておいてください。——ということで大丈夫かな？

プレイヤーS…よろしくお願いします。

GM…——では、この二週間でどんなレベルアップをしたのか……成長を決めてくれ！

というわけで始まる——いや、既に始まってたレベルアップ作業の続き。

プレイヤーH…今回は《バッシュ》を上げるのは見送るか。

プレイヤーO…あー、《レイザーストーム》欲しいから今のうちに《ワイドアタック》上げるか。全員から《ステイル》したい。

プレイヤーS…防具って【筋力基本値】までだよ。トラベラーズマント着れない……聖印投げ捨てるか？（一同笑）

プレイヤーN…僕は新しい補助防具に変えなければ。強い感じの補助防具ー。

プレイヤーH…ふわつとした表現（笑）。確かに防具は更新していきたいところ。

プレイヤーS…あ、『クラフトワークス』へのコネクションは取つところ。

プレイヤーN…今回は転職しよう。クラスを変えて……。

プレイヤーO…シーフは本当に防具無いなー。厳しい。

プレイヤーS…回復は《ヒール》あるし……いや、ポーションはマイナーか。買つところ。GM…前回はHPポーション買わなくて大変だったからなあ。(一同笑)

プレイヤーH…一般スキル何にするかなー？ 困った時の《トレニング》もあるし……。

プレイヤーN…《フックダウン》は？ クリナップにポーションが飲める。

プレイヤーO…トラップ解除のダイスは……《リムーブトラップ》か。これ取るかなー。

プレイヤーN…ギルドの成長どうする？ 《陣形》にする？ このパーティにいるかな？

プレイヤーS…このパーティならいるよ。足遅いし。

プレイヤーN…《ギルドハウス》取ります？ 手に入れたアイテムをギルドに転送して、そ

の場で売却もできる。……というか売却しかできない？

プレイヤーS…確かに、取るんなら所持重量気にしなくて済むようになるね。

プレイヤーO…多少俺が便利品を持ち歩けるようになる。

プレイヤーN…レベル上がればギルドハウス系のスキル取れるようになるし。

プレイヤーS…ギルドハウスは他のスキルが強いもんなー。

それぞれの役割も見えてきたところなので、上級クラスなど先のことも考えて取得するスキルを考える一同。そこそこ余裕のある資金で装備品等の購入アイテムもしっかり揃えて成長完了。そしてセッション本編に備えて……就寝することに。

就寝 この日は冒頭の通り夜に集まったので、夜にレベルアップ、翌朝から本編となった。学生の頃と違って徹夜はできない。

▼プリプレイ2　　↳ TRPG日和の朝　　↳

しつかり寝て翌朝。朝のニュースを見て駄弁りながら朝飯を食べて英気を養った後、メインプレイを始めるべく一同は机に集合した。

GM…——それじゃあ、本編始めますか。よろしいですか？

一同…はい。

GM…では、一応寝て起きたのもう一度今回予告から。

今回予告は3ページを参照されたし。

GM…というわけで第三話のセッションを始めます！

一同…イエーイ！

GM…今回のシナリオは昨日言った通りシティアドベンチャーです！ 結構がつつりなので、積極的な会話をお願いします。それではオープニング……の前に成長報告からだ！

● ソルビットの成長報告

プレイヤーS（以下、ソルビット）…成長報告。特に無し！

GM…んなわけないだろ！（笑）

ソルビット…能力値が上がったよやったね。《プロテクション》と《アドバース》のレベルを上げたので、ちよつと硬くなつて《アドバース》が3回になつた。それと《トウルースサイト》を取つたので、エネミー識別に成功すれば【物理防御力】と【魔法防御力】の値が分かるようになった。

一同…おー。

ソルビット…あと一般スキルで《エンチャントウェポン》…無《》を取つたので……魔法攻撃をできるようにしてあげることができるようになつた。

GM…武器攻撃が魔法ダメージになるんだよね。

ソルビット…《トウルースサイト》で値が分かれば、それによつて魔法ダメにしたり《ホーリーウェポン》したりできる。あとは鎧がランクアップ。ウオルロックのお古が下がつてきた。（ウオルロックのキャラシを見て）お、身長が同じくらいだ。素晴らしい。（一同笑）他にめばしい成長はないかな。【筋力】と【精神】をブレイクしたくらい。……あ、買ひ物はポーシオンを買い足しました。そんな感じでよろしくお願いしまーす。

《プロテクション》 光の盾でダメージ軽減を行う、アコライトの代表スキル。（SL）Dだけ軽減なので、スキルレベルが上がると軽減量が段違い。

《アドバース》 他人の判定に+1Dするセージのスキル。こちらはスキルレベルが上がると使用可能回数が増える。

《ホーリーウェポン》 武器攻撃のダメージを増加させるアコライトのスキル。聖なる力が宿るが、魔物への特攻効果とかは無い。

身長が同じくらい ソルビットの身長は179cmで、ウオルロックは177cmだった。エルダナインの平均身長は180cmなので、ソルビットは種族的には少し低めの身長。

● ウォルロックの成長報告

プレイヤーH（以下、ウォルロック）…はい、ウォルロックです。スキル周りは《キャリバーガンパード》のレベル上げで打点を上げて…今回やつと《ボルテクスアタック》を取った！ ボス相手に使うことになるだろう。

ソルビット…ヒュー。

GM…シナリオ1回の必殺技だ。「CL×10」だからダメージに+30か。

ウォルロック…構成によつては前回取つても良かったんだけど…今回取りましたと。

あとは…《カリキュレイト》を取つたのでシーシー回は先制を取れると思う。

プレイヤーO…やつたぜ。

ウォルロック…装備品周りは前回手に入れた妖精のチェインメールで若干底上げ。頭部と補助防具も新調してクロスヘルムとファインポイントアーマーに。それくらいか…あ、

一般スキルで《マシンリム》を取つて能力基本値を上げた。

GM…ちなみに《マシンリム》はどこが機械化されたの？

ウォルロック……まあ、無難に右腕かな？ あんまり目立つ部位じゃない。

GM…まあ、表面は人間ぽくなつていいだろうね。実は中身は機械。

ウォルロック…そのうち《ラストリゾート》取りだしたら、肘からスラスタ起動して加速したり……するかもしれない！（一同笑）ただの演出だけだ（笑）。

《ボルテクスアタック》

シナリオ1回のウォリア必殺スキル。真空波を発生させてダメージ増加するらしい。

CL キャラクターレベルのこと。今回のレベルアップで全員3レベルに上がった。ちなみにSLはスキルレベルの略。

《カリキュレイト》 イニシアチブプロセスで行動できるガンズリンガーのスキル。《行動値》に関係なく手番を取れる。

《マシンリム》 筋力・器用・敏捷の基本値が上がる一般スキル。身体の一部が全身が機械化したことになる。ウォルロックは元々右腕が機械化していて、今回その機能がオンになった。この二週間の間にグランプエルデンで機械化手術をしたわけではない。

● タチキリの成長報告

プレイヤーO（以下、タチキリ）…タチキリだよ。バートルに転職しました。東方出身だとバレて、行商人に今にも孵りそうな竜の卵を押し付けられました。「お前の父親にはお世話になってな」とか言われて、悪意を込めて押し付けられた。

GM…バートルはムガIIモリという固有種の竜を駆る騎兵だね。タルタル・ハン国の守護神でもある「太祖竜」ボルテモガイという竜の子供たちです。

タチキリ…というわけで、まだ乗れないけどバートルを目指そうかなと思って転職しました。まだバートルのスキルは何も取ってません。（一同笑）で、今回取ったスキルは《イントラフト》です。

プレイヤーN…やっただ。強い。

タチキリ…生存率を上げていく。それと《リムーブトラップ》を取ったのでトラップ解除も1D増えた。そして残りのスキル枠で《ステイル》のレベル上げた。回数が増えてシナリオ2回に。これでボスの両腕をもぎ取ることができる。（一同笑）武器は前回拾ったのに合わせて両手ともファインダガーにしたので攻撃力+2点。補助防具のファインバックラーで防御に加えて回避修正も得ました。アイテムはHPポーションを買い足しました。GM…《ナイフパリー》もあるから実質【物理防御力】20か。高いな。

タチキリ…隣の人（サイモン）が硬すぎて辛い。——あ、転職で【感知】が地味に落ちた

バートル エリンデイル東
方の地方クラス。ムガIIモ
リという固有種の竜に認め
られ、騎竜の契約を交わし
た者のこと。

タルタル・ハン国 エリン
デイル大陸東方にある遊牧
騎馬民族の国。軍事国家で
もある。タチキリは東方と
いってもダイワ群島国出身
なので、直接の関係は無い。

《イントラフト》 敵のス
キルの効果を打ち消すシー
フのスキル。メジャーのス
キルを打ち消せば実質一手
番無くすることもできるの
でぶっちゃけかなり強い。

のでちょっとトラップ探知が不安。

GM…あ、クラフトワークスへのコネクションも取ったんだね。ソルビットとウォルロックも取ってたか。

プレイヤーN…全員取ってるのか。

タチキリ…ほら、使用成長点合わせた方がいいから。(一同笑)

GM…関係は何か書いた？ ソルビットとウォルロックも。

ソルビット…腐れ縁。

ウォルロック…友人・知人くらいのふわつとした感じ。

タチキリ…おいらは商売敵。

GM…冒険者稼業としては確かにそうね(笑)。

●サイモンの成長報告

プレイヤーN(以下、サイモン)…はい、フリーチャーに転職しました！

タチキリ…フリーチャー？(一同笑)

サイモン…これからは敵として頑張ります？(笑)

ソルビット…説明しよう！フリーチャーとは！

GM…フリーチャーはいらないからフリーチャーについて説明してくれ！(笑)

フリーチャー アルデイン大陸東方の地方クラス。神竜王セフィロスから神託を受け使命を負った者たちのこと。

フリーチャー 獣や想像上の生き物、怪物を指す言葉。Creste(創る)と語源が同じで、「作られた物」の意味で神の被造物としての全ての生き物や悪魔が作った怪物といった意味もある。雑学。

サイモン…プリーチャーとは！ ……GMよろしくお願いします。（一同爆笑）

ソルビット…そこは自分で言おうぜ（笑）。

サイモン…えーと、アルデイオン大陸には七大神信仰とは別に神竜王セフィロスっていうやつへの信仰があつて、昔々偉い竜がいたと。その竜から使命を受け取つて、その使命を果たすために旅をしているのがプリーチャーという人たち。

ウォルロック…どんな使命を受けたの？

サイモン…我輩の場合は…まだ明かさない方向で。考えてないとも言つ。（一同笑）

GM…神々から遣わされた竜であるセフィロスが人々をアルデイオン大陸東方に連れてきたつていう歴史があるので、神竜王信仰が強い。その神竜王から使命（エラント）を受け取つたのがプリーチャーだね。

タチキリ…夢枕にセフィロスが立つて、「お前はプリーチャーになるのだ」「そ、それで私は何をすれば！」「……プリーチャーになるのだ」（一同笑）

ウォルロック…実際、具体的だったたりフワツとしてたり色々差はあるみたいだね。

サイモン…サイモンはフワツとした側のプリーチャーだから。使命そのものを探してるプリーチャーもいるくらいだし。

タチキリ…まじで「プリーチャーになるのだ」しか言われなかったやつじゃねえか！（笑）

サイモン…というわけで、サイモンはこちらの世界に墜落してきた時に空の彼方に神竜王

GMよろしくお願いします

現行のルールブックではアルデイオン大陸東方の詳細な歴史はわからないため、プリーチャーの設定もフワツとしかわからない。サイモンのPCも前日の夜にGMの持つ以前の地域ルプを見たばかりなのであまり覚えてなかった。

神竜王セフィロス 正式には「虹の」セフィロスという古代竜。かつては古代竜の王として神々に仕えていたとされる。

使命そのものを探してるプリーチャー パーフエクト・スキルガイドのプリーチャーの説明文にそう書いてある。

セフィロスっぽいものを見た気がするけど、なんだったのかはよく理解していない。

GM…そこで使命的なものを囁かれた気がするけど……。

サイモン…気はするけど、それはそれで十年間を過ごしたぜ。(一同笑) あれはなんだったんだろうな。思い出の一つ。いずれGMがいい感じのタイミングで明かすはず。

GM…丸投げ(笑)。というわけでプリーチャーになりましたと。

サイモン…それと一般スキルで《ホーム…エストネル》を取ったのでエストネル出身だったことになりました。

GM…ちなみにエストネルはアルディオン大陸東方の中でも統一帝というのを決める権利を持つ中心的な場所。でもエストネル自体は統一帝にはならない。

タチキリ…監査みたいなもんか。

サイモン…で、リブレイの中で謎の大爆発をして消滅しているらしい。

タチキリ……はい？　なんですつて？

GM…もう今はありません。旧エストネル王国として、エストネル王国は存在しません。

サイモン…というわけで、実は旅をしていたのは元の住居が吹っ飛んだからだったんだよ！
謎の大爆発に巻き込まれて自宅が消滅してしまった。

タチキリ…ひどい(笑)。

GM…大崩壊(グレート・ディストラクション)と呼ばれる出来事です。

エストネル アルディオン大陸中部に位置する王国。神竜王セフィロスより「統一帝」を選ぶ権限を任されている。しかし………続きをどうぞ。

リブレイの中で謎の大爆発をして消滅している。公式リブレイ『アリア・シールド・サガ・リブレイ』シリーズでの出来事とのこと。残念ながらGMは読んでいないので詳しいことは知らない。

エストネル王国は存在しません。後述の『大崩落』により中心地が壊滅、国王エル・ウオーデンも死亡し、王国は完全に崩壊した。これによりアルディオンの秩序であった統一帝のシステムも崩壊。アルディオンは新たな時代を迎えざるを得なくなっている、とのこと。

大崩壊 エストネル王国を中心とした大爆発が起こり、王都が消滅、同時にこの地を中心に存在しないとされていた妖魔が出現するようになった。これら一連の出来事を指してこう呼ぶ。

サイモン…データ的には……魔法ダメージが上がったくらいかな。両方ともダメージが上がるスキルを取った。《ウィルパワー》と《コネクトアイ》。ようやくセットアップとマイナーを手に入れたぜ。【MP】がカツカツだ！（一同笑）

GM…まだ使えないものも含むけど、セットアップ、ムーブ、マイナー、メジャーにDR直前も全部あるんだよね。

ソルビット…すごい。

サイモン…宣言する特技は多い方が楽しい。でもリソースはキツイ。——で、我輩もクラフトワークスにコネクションを取りました。関係は『友人（一方的）』。

GM…向こうからどう思われているかは知らない（笑）。

タチキリ…めっちゃ馴れ馴れしく話しかけてくるやつだな。

サイモン…物防は21。魔防も《コネクトアイ》込みで11スタートだ！

●ギルドの成長報告

GM…ギルドのレベルも上がったよね。

サイモン…それも報告しないと。ギルドレベルが2になった！というわけで……《ギルドハウス》を取りました！

一同…イエーイ！

《ウィルパワー》 マイナーで魔法、特殊攻撃のダメージに＋【精神】する、プリチャーのスキル。

《コネクトアイ》 神竜王セフィロスの瞳の力を借りて魔力を得るプリチャーのスキル。魔法ダメと【魔法防御力】を増加するセットアップのスキルで、シーン中有効な上に3回まで重複する。強い。

ソルビット…家が生えたー！（笑）

GM…ここ二週間で稼いだ金は全てギルドハウスに消えた（笑）。

サイモン…シナリオ3回、いつでも売却を行うことができる。これで所持アイテムに余裕ができるぜ。

GM…ちなみにどんなギルドハウス？

サイモン…郊外に探偵事務所みたいなボロい家を買ったことにする？

ソルビット…まあ、グランフェルデンの街中にボロい一軒家借りたとかで。

タチキリ…東京タワー3個分の広さを持つ……。 （一同笑）

GM…《ギルドハウス》はレベル1か。

サイモン…なので現状全部持てる。というわけで《蘇生》と《限界突破》と《ギルドハウス》を持って行きます。

ソルビット…家には車輪が付いていると。（一同笑）

GM…転送装置を持つてくだけだよ（笑）。——では、本編を始めよう！

東京タワー3個分の広さ

東京ドームではなく東京タワー。狭くはないと思うが広いのか想像できない。

転送装置 《ギルドハウス》

はギルドの拠点にアイテムを転送するスキル、と説明されている。ただし、転送したアイテムは全て売却される。解せぬ。

ソルビット・グレーン

レベル：3 種族：エルダナーン
 クラス：アコライト／セージ
 HP：39 MP：56 フェイト：5

エリンディル西方生まれのエルダナーンの男・27才。アフターグローの回復・支援担当。煽ったり茶化したりと忙しいが、大事な時は真面目な知恵者。

種族スキル：《フォティテュード》1

アコライト：《プロテクション》2／《ヒール》1／《ホーリーウェポン》1

セージ：《エフィシエント》1／《エンサイクロペディア》1／《コンコードダンス》1／《アドバイス》2／《ラーニング：インブルー》1／《トゥルースサイト》1

一般スキル：《モンスターロア》1／《エンチャントウェポン：無》1／《カルチャー：エリンディル西方》1

一般スキル（クラスロール）：《ハンズオブライト I》1

装備：クラブ／ラウンドシールド／ハット／スタテッドメイル／聖印

コネクション：クラフトワークス [腐れ縁]

「おっと、お坊ちゃん肩にゴミが……」

ウォルロック・ストラトフォード

レベル：3 種族：ヒューリン
 クラス：ウォーリア／ガンスリンガー
 HP：54 MP：41 フェイト：5

アルディオン大陸東方にある小国の元貴族の次男坊・18才。至近と遠距離を器用にこなす攻撃担当。実は右腕が機械化していたことが明らかになった。

種族スキル：《ハーフブラッド：エクスマキナ》1

ウォーリア：《バッシュ》3／《ウェポンルーラー》1／《ボルトクスアタック》1

ガンスリンガー：《キャリバー》1／《キャリバーガンバード》3／《アームズマスタリー：魔導銃》1／《カリキュレイト》1

一般スキル：《ホーム：アヴェルシア》1／《ヒストリー》1／《フェイス：グランアイン》1／《マシニリム》1

装備：キャリバー／クロスヘルム／妖精のチェインメイル／ファインポイントアーマー

コネクション：クラフトワークス [友人]

「迂闊に火種を作ると、周辺からぶっ叩かれて滅ぶぞ」

ヒラバシ・タチキリ

レベル：3 種族：ジェルボア
 クラス：シーフ／バートル
 HP：40 MP：42 フェイト：5

ダイワ群島国で生まれたジェルボアの女の子・10才。商人家系の生まれなこともあり、商人が被害を受けているこの事件には思うところもあるようだ。

種族スキル：《トレジャーサーチ》1

シーフ：《ワイドアタック》1／《アームズマスタリー：短剣》1／《スティール》2／《バタフライダンス》1／《ナイフバリー》1／《アンデクスタビリティ》1／《インタラプト》1

セージ：《トレジャーマニア》1／《ラーニング：ギフト》1

一般スキル：《インサイト》1／《ファインドトラップ》1／《リムーブトラップ》1

一般スキル（クラスロール）：《トレジャーハンターI》1

装備：ファインダガー×2／ハット／クロスアーマー／ファインバックラー

コネクション：クラフトワークス [商売敵]

「見りゃわかるだろ！ アラームを直してるんだよ！」

サイモン

レベル：3 種族：レムレス
 クラス：メイジ／ブリーチャー
 HP：40 MP：55 フェイト：5

次元連結システムの事故でエリンに来た異世界人・年齢不詳。エリンに来た時にセフィロスから使命を囁かれた気がするけど、忘れたまま十年が経ってた。

種族スキル：《エレメンタルボディ》1

メイジ：《エアリアルセイバー》2／《エアリアルスラッシュ》1

ファランクス：《ファランクススタイル：精神》1／《ファランクスアタック》1／《カバリング》1／《ファランクスクラッシュ》1／《ファランクススベル》1

ブリーチャー：《ウィルパワー》1／《コネクトアイ》1

一般スキル：《トレーニング：精神》1／《サーチリスク》1／《ホーム：エストネル》1

一般スキル（クラスロール）：《スペシャリストI：風》1

装備：スタッフ／スーツアーマー／ファインポイントアーマー

コネクション：クラフトワークス [友人 (一方的)]

「この絞り出した風パンチ！ くらえー！」

◆ OPENING PHASE

▼ オープニングフェイズⅠ 指名の依頼 Ⅰ

グランフェルデンに来て早二週間。様々な依頼をこなして過ごしてきたアフターグローは、ついにギルドハウス（ボロい軒家）を手に入れていた。ただ、それでまたお金は減り……今日も依頼探しに神殿へ。はてさて、アフターグローを待つ依頼とは？

GM…全員登場のオープニングから。今回はグランフェルデンに到着して早々、クラフトワークスと競争することになり、途中ピンチになりながらも最終的には仲良く……なつたのかな？ とにかく無事に妖魔を退治しました。瘴気だったり魔法陣だったり謎があつたのでそれらを神殿に報告して報酬をもらつて……ということをしたのが二週間前です。それから今日までの間は日々神殿や街の人々の依頼を受けて過ごしてきました。

サイモン…猫探しとか。

GM……で、ある程度貯まつたお金はギルドハウスに消えました！（一同笑）
ウォルロック…冒険者、家を買う。

GM…ま、家を買ったのでまたお金も必要ということで……今日も神殿の依頼所に向かうことに。——そして、神殿の前まで来たところですよ。

クラフトワークス 第二話
で登場したグランフェルデンで活動するギルド。ミゼル、リライ、キルト、メリルの四人バーティ。アフターグローと同レベル。

タチキリ…たのもー。

GM…神殿に入ると、いつも通り**アリエッタ**が依頼所の受付で待っているね。で、キミたちを見つけると**アリエッタ**の方から声をかけてくる。「あ、アフターグローのみなさん！お待ちしてました！ 依頼を探しにきたんですよね？」

サイモン…うむ、その通り！

GM…「実は、みなさんに指名の依頼が来てるんです！」

ウォルロック…指名？

タチキリ…指名料。（一同笑）

GM…「それは依頼者に言っただけですか？」と苦笑い（笑）。

サイモン…この二週間のせせこましい依頼で少しは名も上がったか。

GM…ただ、**アリエッタ**は「依頼内容については直接話したいということ、私も内容を知らないんですよ」と言ってます。

タチキリ…怪しくない？ おいらたち消されるやつ？

ソルビット…大丈夫ですかそれ。

GM…「あ、でも**ソーンダイク**さんが仲介に入った依頼ですので、怪しい人ではないのは確かですよ」と補足してくるね。

ウォルロック…ふーむ。

アリエッタ グランフェルドンの神殿に併設された依頼所で受付嬢をしているフイルボルの少女。基本ルルの公式NPCの一人。

指名料 ホストか。

ソーンダイク グランフェルドン王国の大神殿の神官長で、ハーフェルダナンの男性。基本ルルの公式NPCの一人。

タチキリ…あの人が入ってるか。断った方が信用に響くな。

ソルビット…じゃあ仕方ないな。ちなみに依頼主は誰ですか？

GM…依頼主の名前も聞いてないんですよ。ソーンダイクさんからそう言われてるので」

タチキリ…不安しかない。

サイモン…怪しさ。……ならば直接会ってみればいいのだー！ ダッダッダッ。

GM…どこに行く気だ！（笑）「あー、サイモンさん待つてくださいー！」

ソルビット…まだ何も聞いてないのに。（一同笑）

ウォルロック…あさつての方向に（笑）。

タチキリ…突然のパーティ解散。

ソルビット…彼は置いておいて……それで、どこに行けばいいので？

GM…「とりあえず、話を聞いてみるということでもいいですか？ では、ちよつと連絡するのでここで少し待つててください」と言つて、アリエッタは一旦奥に引つ込んでいきます。

——で、少し待つと再びアリエッタが戻つてきて声をかけてきます。「アフターグローのみなさん、お待たせしました！ 神殿の前に迎える馬車が来てるのでそれに乗ってください」

ソルビット…早い！ 大物か。厄介ごとの予感。

ウォルロック…馬車かー。

サイモン…これはなかなか依頼料が期待できるのでは。

GM…外に出ると、少し豪華な馬車が停まっている。過度ではないけど、所々で気品を感じる精緻な装飾が施されて作りもしっかりした馬車だ。その辺の安い馬車とは違う。

ソルビット…やはり厄介ごとの予感しかないな。

GM…馬車の前には身なりの整ったエルダナーンの男性がいるね。年齢はおじいさんと言っているくらい。ただ、佇まいがしつかりしてて年齢を感じさせません。

サイモン…ぬ、お主はセバスチャン！（一同笑）

GM…誰だよ（笑）。

ウォルロック…執事っぽいイメージ（笑）。

GM…キミたちに声をかけてきます。「アフターグローの皆様ですね？ お待ちしております。お送りいたしますので、こちらの馬車にお乗りください」

サイモン…じゃあ、お邪魔しますと言って乗り込みます。ガシャン。

GM…乗り込むと馬車はゆつくりと動き出します。高級住宅街の中をしばらく進む……。

ソルビット…三〇秒ほど。

GM…そこまで近くはないけど（笑）。とはいえ遠くはないですね。数分くらい進むと、いくつかある建物の中でも一際大きい屋敷の敷地内に入っていきます。そして玄関前で停車をして馬車のドアが開き、先ほどのエルダナーンのおじいさんが「こちらでございます。どうぞお入りください」と言つて玄関に誘導してきます。

お主はセバスチャン！ 執事といえばセバスチャンという日本人イメージ。本名の場合もあれば、呼び名の場合もある。ちなみにヨロツバでは一般的な男性の名前。

タチキリ……ふー。危ない。「うむ、ご苦労」とかいそうになった。（一同爆笑）

サイモン…では付いて行こう。ガシャンガシャン。

GM…大きな玄関を入ると中は広いエントランスになってます。掃除の行き届いた空間で、派手ではないけども高そうな美術品も置いてあります。で、エントランスの真ん中には大きな階段が2階に続いています。

ソルビット…（真っ直ぐに）ドーンって行つて、（左右に）ドーンってなるやつ。

タチキリ…あー。で、肖像画が真ん中にあるやつね。

ソルビット…で、喋るやつね。（一同笑）

タチキリ…その後シャンデリアが落ちてくると。

GM…お化け屋敷じゃねえか！（笑）——前には肖像画ではなくエリンデイル西方と思われる地図のような大きな絵が掲げられている。周りには掃除をしている使用人らしき男女もいるね。キミたちに気付くと深々と頭を下げてきます。

一同……………はい。

ウォルロック……………まあ、こちらもそれらしく返しておくくらいで。（一同忍び笑い）

GM…エルダナーンの男性は「旦那様はお二階の部屋でお待ちです。ご案内いたします」と言つて階段を上つていきます。

サイモン…肅々と付いていくである。

喋るやつね ハリーポッター
の歴代校長的な。

……………はい。
い間があった。
すごく長

タチキリ…キヨロキヨロしながら。

GM…男性に続いて階段を上り、二階の廊下を進むことになるが……すると前から女性が歩いてくる。で、キミたちに気付くと声をかけてきます。「あれ、みなさんはもしかして」

——声をかけてきたのは見覚えのある女性ですね。

一同…おや？

GM…背中に羽の生えたドウアンの女性です。覚えてますか？

ウォルロック…あー。

ソルビット…もちろん覚えてるよ。名前は忘れたけど。

タチキリ…名前出たつけ？

サイモン…早くリプレイを読み返すんだ！（笑）

GM…（笑）グランフェルデンに来る時に一緒だったフィオナ・レーヴェンですね。

タチキリ…そうそれ。

ソルビット…いま言おうと思った。

GM…こいつら（笑）。「お久しぶりです。あの時はありがとうございました」

一同……………。

GM……………いや、アフターグロー、コミュ障過ぎないか!?（一同爆笑）ごく普通の

会話くらい返してくれてもいいだろう!?

名前は忘れたけど 現実では二ヶ月前に一度聞いただけなので仕方ない。でも悲しい。

フィオナ・レーヴェン 第一話に登場した天翼族のドウアンの女性。第一話でさらわれた少女、ミカの母。

コミュ障過ぎないか!? ついつい出てしまったGMの心の叫び。身内相手なので許して。

サイモン…なんかお見合いしてしまった（笑）。誰か喋るかなと思って。

ソルビット…そこはギルドマスター真っ先に喋ってよ！（笑）

サイモン…いやー、サイモンと中の人の性格違うからさ。とつさに言葉が出てこないんですよ。（一同笑）

ウォルロック…えーと、お久しぶりです？（笑）

タチキリ…割とマジでなんでここに？ みたいな顔してるけど。

GM…「なんでここに？」みたいなことを聞くと、「あ、私あの時に義父に会いに来たと言いましたが、ここがその義父のお家です」

一同…あー。

サイモン…そうだったのだから。ということは、依頼人は義父の方？

GM…「そうですね。お父様から冒険者を呼んでいると聞いてはいましたが、みなさんのことだったんですね」

ウォルロック…随分奇遇ですね。

GM…「どのような用件かは知りませんが……お父様はとても良い方ですので、ぜひお話を聞いてみてください」と言つてフィオナは別れていきます。

ソルビット…それでハンドアウトの依頼人が「????」だったのか。書いてあっても誰も覚えてなかった気もするけど（笑）。

サイモンと中の人の性格違うからさ。なかなかPLからPCの精神に切り替わらない。TRPGあるある。

書いてあっても、義父の名前は第一話でPCの方から聞いてきたから答えたのに……。

GM…ま、一応ね。——案内の男性と廊下をさらに進んでいき、突き当たりの少し大きなドアの前に立ちます。ノックをして「旦那様。アフターグロウの皆様をお連れしました」と言うと、中から「ああ、ありがとう。入ってくれ」という男性の声が聞こえてくる。ドアが開くと、中は広い執務室のようになっているね。周囲には様々な書類や本が棚に整頓されて並んでいる。そして奥にある机には60才を超えてそうなヒューリンの男性がいる。

タチキリ…おや？

GM…ただ、威厳を感じさせるようなしつかりした雰囲気をしてますね。横には神官長のソーンダイクもいます。

ソルビット…いるんかい！

サイモン…じゃあ、失礼するのである！と言つてガシャガシャ入っていきます。

ウォルロツク…失礼します。

GM…「ああ、ご足労をかけて申し訳ない。キミたちがアフターグロウというギルドの冒険者で間違いないかな？」とヒューリンの男性が声をかけてきます。

ソルビット…いかにもたこにも。

GM…「来てくれて嬉しいよ。……ゼスター、案内ご苦労だった。下がってくれ」

タチキリ…セバスチャン！

サイモン…セバスチャンでは無かった！

いるんかい！
仲介役な
ので。

セバスチャン!? GMは一
度もその名で呼んでいな
い。

GM…ゼスターです（笑）。ゼスターは「かしこまりました」と返事をした後にキミたちの方へ向き直り、「それでは失礼いたします」と頭を下げ、部屋を出て行きます。——その後、ヒューリンの男性が声をかけてきます。「ご足労かけてすまないな。内密な依頼があつて呼び出しをさせてもらったのだ」

サイモン…ほう、内密な依頼。それは一体。

ソルビット…浮気調査。（二同笑）

ウォルロック…誰のだ（笑）。

GM…確かに内密だけだな（笑）。えー、ソーンダイクが紹介してきます。「この方はグランフェルデンの貴族の一人、ボルデラート伯爵です」

タチキリ…ハハ。（両手をついて頭を下げる）

サイモン…いきなり平伏する（笑）。

GM…タチキリの反応を見ると、「ああ、かしこまらないでくれ。もはやグランフェルデンにとつて貴族など名ばかり。それに、冒険者には身分など関係なかるう？」と言ってくる。ウォルロック…ちよつと目を逸らす。（二同笑）

GM…元貴族だもんな（笑）。「わしの名前はグラン・レーヴエン。ここレーヴエン家の家長を務めるものだ」と挨拶してきます。

タチキリ…ボルデラートつて誰？

浮気調査 冒険者に頼むことではないと思う。

ハハ！ いつも通りの素早い反応だった。

ちよつと目を逸らす 貴族の実家を捨ててきたウォルロックには耳が痛かつたらしい。

グラン・レーヴエン 第一話の最後で登場した名前だが、実は聞かれた時には決めておらず、その場で頭にパツと出た名前を言った。ぱつと出の重要人物。

GM…ボルデラートは国からもらった爵位。名前はあくまでグラン・レーヴエンだね。シナリオコネクションはグラン・レーヴエンと書いておいてね。関係は依頼者くらいで。

サイモン…この「???」？「さんがグラン・レーヴエンさんと。」

GM…というわけで今回の依頼者はグラン・レーヴエン。60才を超えてそうなヒューリンの男性です。「まずは礼を言わせてほしい。東の小村——冒険者たちからはレスト村と呼ばれているそうだが——そこで妖魔を退治し、村を、そして我が孫であるミカを助けてくれたこと、本当に感謝している」と頭を下げてきます。

一同……………。

タチキリ……………そんなこともあったなあと（笑）。

ウォルロツク…さつきから誰が切り出すかと一瞬止まるやつが（笑）。

サイモン…ちよつと**サイモンが降りてこない**んだけど。（一同笑）

ウォルロツク…無難に、当然のことをしたままで、と返しておこう。

GM…「その後も妖魔退治などグランフェルデンで起きている問題の解決に協力してくれていることも聞き及んでいる。それらについても誠に感謝している」

ソルビット…まあ依頼だったし。

サイモン…当然のことをしたまでである。——して、今回の依頼とは？

GM…「ああ、本題なのだが、キミたちを信頼できる冒険者として頼みたいことがある」

……………。
頭を下げられると言葉が止まるアフターグロウ。感謝に慣れない。

サイモンが降りてこない
ギルドマスター、早く降りて来てくれ！

ウォルロック…と、言うとき？

GM…「依頼を受けるかはもちろん自由だが、ここから先の話は内密に、他言無用でお願いしたい」と前置きをつけてきます。

サイモン…うむ。我輩は口は堅い！

一同……………。

ソルビット&タチキリ……………せやな。

サイモン…あれ。……………悲しい。(一同笑)

GM…(笑) その様子を見て——あ、いやその様子というか…………。(一同爆笑)

ソルビット…この様子、信頼度ゼロでしょ(笑)。

サイモン…しーん(笑)。

GM…だ、大丈夫そうな様子を見て、口が堅そうな様子を見て！(一同笑) グランは話を続けてきます。「以前、キミたちが妖魔による食糧強奪事件の調査依頼を受け、その報告をしてくれたと思う」これはちょうど第二話の依頼のことを指しているね。

サイモン…あれは大変だったな。

GM…「その中で、食糧の輸送情報が妖魔に流れている可能性がある、そう示唆されていたと聞き及んでいる。間違いないかな？」

ウォルロック…確かに、その通りだな。

我輩は口は堅い！ 自信
満々な声。

……………悲しい 残念な信頼度
だが、第二話の話しぶりでは仕方ないと思う。

口が堅そうな様子を見て！
なんであろうとGMが言
えばそうなるのだ！

タチキリ…あれは解決してなかったね。

サイモン…結局、犯人はよくわからなかったな。

GM…「キミたちからその報告を受け、こちらでも調査を進めてきたのだが……どうやらこの件にはこの国の貴族階級の者が関わっているようだ」

サイモン…なんだと！

妖魔に流れている情報は正確で多岐にわたることから、貴族のような権力を持つ立場が関わっていることが推測されること、しかし貴族に対する調査は影響力の強さや関係者の多さから困難であること、また貴族と妖魔の関わりが露見すれば国の信頼を揺るがしかねず、表立った調査が難しいこと——そういった話がグランとソーンダイクから聞かされた。

GM…グランが続けてきます。「そこで、キミたちに頼みたいことがある。この件について秘密裏の調査を頼みたいのだ」

ウォルロック…ほう。

GM…「グランフェルデンに長くいる冒険者では問題の貴族たちと関わりを持っている可能性はある。それに対してキミたちはグランフェルデンに来て日が浅い。ゆえに、この問題に関わっている可能性は無いと考えた」

サイモン…確かに。まだ貴族にお近づきになったことはない。

ウォルロック…まだ来て二週間ちよいだからな。どことの繋がりとかコネクションも無いからね。そういう意味では確かに。

GM…「そういう意味でキミたちにお願ひしたいのが一つ。それに、食糧強奪事件を既に二度も解決してくれている。なので、この件について依頼をするのに最適だと思うのだ」

タチキリ………これ、おいらたち割とマジで消されるやつでは。

サイモン…いやあ、この人は大丈夫であろう。

GM…「妖魔に情報を流している者。そしてその黒幕について確実な証拠を得たいのだ。相手が本当に貴族であれば状況証拠だけでは握り潰される可能性もある」

タチキリ…その前に握りつぶしてしまえばいい。(一同笑)

ウォルロック…物理的に？(笑)

サイモン…本当に貴族が関わっているとしたら許しがたい事態だ。我輩が握りつぶしてくれよう！(一同笑)

ウォルロック…《エアリアルスラッシュ》腹パンからの派生で握り潰す方向に(笑)。

GM…潰されている光景が全部見えるとか怖すぎるわ！——グランが続けます。「場合によつては危険も伴うだろう。内密な調査となれば、わしらも限定的な支援しかできない」
ウォルロック…ふむ。

おいらたち割とマジで消されるやつでは裏側の危険に対して敏感なタチキリ。商人のサガか。

我輩が握りつぶしてくれよう！慎重派のわりに口ではすぐ荒事に出るいつものアフターグロウ。

GM…ソーンダイクが補足。「表向きには神殿から“食糧強奪事件の追加調査”という依頼を出したいと思います。レーヴェン家名義の依頼だと不要な詮索や妨害を受ける可能性があります。その上で、内容としては先ほどの話のことを調べて欲しい、ということになります」

ウォルロック…形としてはいつも通りの神殿からの依頼と。

GM…グランは「もちろん、相応の報酬は払わせてもらう。前金として六〇〇G、成功報酬としては一二〇〇Gを用意している」と言ってくるね。

サイモン…合計一八〇〇Gか。

タチキリ…「相応の報酬を用意している」って言った瞬間に「受けます」って言いそうになった。危ない。(一同笑)

GM…金額は聞きましたよ？ 相応が何かは人によって違うからね(笑)。「他にも調査で必要な物は可能な範囲で用意しよう。ただ、先ほど言った通り内密な調査でお願いする以上、表立った支援ができないことは許して欲しい」

サイモン…支援という、具体的にはどういうことをしてもらえるのだろうか？

GM…何か移動するのに馬車が必要な場合とか……いわゆる経費レベルのものかな。

ウォルロック…移動の足とかか。

GM…一般的に冒険者として必要なものは前金で買って欲しいけど、本来であれば調達が

危ない 慎重さと素早さを
兼ね備えたタチキリ。正しく
使い分けられてるかは知
らない。

難しいものでも必要であれば融通してくれる場合もあるということ。ただ、内密な調査なので表立った支援はできない。

サイモン…こつそり裏権力を使えるってことだな。

GM…内容としては以上かな。

サイモン…よし、任せろ！……ちらっ。

タチキリ…あの、家紋みたいなのを貸していただけませんか？

GM…「いや、すまないが表向きは神殿の依頼とするので許して欲しい」

タチキリ…「こちらにおわすお方をどなたと心得る」とかやりたい。

サイモン…それはやるなって話だろ！（笑）

ウォルロツク…だいたいその本人いないから！（笑）

GM…それに申し訳ないが、貴族といっても強い権力を持っているわけではない。五〇〇年以上前……グランフェルデン王国として隆盛を誇っていた時にはたくさんの貴族が権力を持っていたが、現在はパリス同盟の一国に過ぎない。私たちレーヴエン家も含めて爵位が残っているものもいるが、実質的な権力を持つ貴族はもはや少ない。ほとんどは王族に連なる貴族だけが実質的な権力を持っている」とグランは説明してくるね。

サイモン…つまり、ハハーと平伏する、とはならない。

GM…そうはならないね。直接頼ってる貴族なら「ハハー」となるかもしれないけど、そ

ちらっ
ギルドメンバーの
意向を確認するギルドマス
ター。ちょいちょい心配性。

こちらにおわすお方をど
なたと心得る。時代劇「水戸
黄門」の名台詞。どんな悪役
も一度は平伏して聞いてく
れる魔法の言葉。

うでなければ「あー偉いんですねー」くらい。

タチキリ…己が無知を恥じるばかりです。失礼しました。

サイモン…というわけで…受けてもいい感じかな？

タチキリ…受けない理由は無いとして…消されない？ おいらたち。

サイモン…それは受けない理由では？（一同笑）

GM…「本当に危険なことに晒されることになれば、いつでも依頼を中止してもらって構わない。その場合も前金を返すように言うつもりもない」とのこと。

タチキリ…よし。

GM…「このようなグランフェルデンの問題を本来無関係の冒険者に頼むのは心苦しくはあるのだが…どうか協力してもらえないだろうか」とグランは依頼をします。

サイモン…我輩たちしかないのだろう？ では致し方あるまい！

ソルビット…いいんじゃないかな。

タチキリ…妖魔や魔族が関わっている以上…剥ぎ取れるかもしれない。（一同笑）
ウォルロック…心の声が漏れすぎだろう（笑）。

サイモン…では、受けよう！

GM…受けると言う回答を聞くと、「本当か！ すまないがよろしく頼む」と感謝してくる。

「調査の方法は任せるが…情報の流れを追うのがいいだろう。食糧の輸送状況を知るこ

剥ぎ取れるかもしれない
目に映るはドロップ品。

とができるものを追っていけば、黒幕に辿り着くはずだ」

タチキリ…この辺りでの目星のついてる貴族をまとめていたいただきたいのですが。

GM…「そうだな。それについては今のうちに話をしておこう」

サイモン…これはメモが大事なシナリオ。

アフターグローが教えられた有力な貴族は次の通り。

- ・レーヴェン家、家長はボルデラート伯爵
- ・フェルモード家、家長はノルテマンド伯爵
- ・シルベリア家、家長はアルキムル伯爵
- ・デンシウス家、家長はデンシウス子爵
- ・コロナド家、家長はコロナド子爵

GM…「これらが『王族に関わらない』主要な貴族だろう。王族に連なる貴族にはまだ有力な貴族もいるが、彼らは城の中にいるので調査は難しいだろう。もしそこが怪しくなれば報告だけで構わない」

タチキリ…えーと……シルベリア家……。 (↑頑張つてメモをしている)

GM…「このうちコロナド家については我々レーヴェン家の手伝いをしてくれている子爵

の家系だ」と追加してきます。「他にも貴族はいるが、今でも国の行政等に多少なりとも影響を持つ貴族ならこの辺りが有力だろう」

ウォルロック…ふーむ。

ソルビット…一軒一軒貴族の家を訪ねてみるか。

サイモン…「あなた犯人ですか？」（一同爆笑）

タチキリ…「あなた、もしや妖魔や魔族と関わりを持っているのではありませんか？」「何を言っているんだキミは」「そうですか。失礼しました」（爆笑）

ソルビット…最後のところは「なぜ分かった!」「知られたからには生かして帰さん!」と。

（爆笑）

サイモン…——ちなみに、これから貴族たちは得意分野とかあつたりするのか？

GM…「ああ、そうだな……我がレーヴェン家とフェルモード家は警護騎士団（レインブランド）の一部部隊の実質的な運用を任されている。シルベリア家は錬金術に造詣が深い家系だな。グランフェルデンにある錬金術師協会との繋がりが深い。デンシウス家は商人の家系だな。グランフェルデン内の商売や商人たちについてある程度の管理を任されている」

ソルビット………そこだな！（一同笑）

GM…「コロナド家については、我々レーヴェン家と一部協力して警護騎士団と協力した衛兵活動や神殿と協力して冒険者の活動や依頼のまとめを行なっている。コロナド家はもと

「あなた犯人ですか？」
推理放棄。

そこだな！
即決。

もと他国出身の兵士たちをまとめる部隊の管理を行なっていた家系なんだ。ゆえに冒険者等の他国と関わりのあるところを見てもらっている」

タチキリ…まずはデンシウス家に行きましよう。

サイモン…まあ、怪しいっちゃ怪しい。

タチキリ…いやいや、そんな家系なら顔売ってにおいて損はないでしょう。（一同笑）

ウォルロック…依頼ついでにコネクションを繋ごうとしている（笑）。

GM…さて、今聞かれたのはそんなところですが。

サイモン…他に聞いておくことはあるか？

ウォルロック…そうだなー。

ソルビット…んー、まあわかんないな。

GM…では、よろしく頼む。それと、時々報告に戻ってきてほしい。こちらからも何か新しい情報を出せるかもしれない。ああ、途中で困ることがあれば言ってくれ。それも可能な範囲で対処する」とグランは言ってきました。

ソルビット…はい。

GM…では、キミたちが外に出て行ったところでオープニングフェイズを終了しよう。

そんな家系なら、犯人探
しでも顔売るとは豪気
な。

◆ MIDDLE PHASE

▼ミドルフェイズⅠ　～ 調査開始 ～

妖魔による食料強奪事件の黒幕は貴族かもしれない——国の信頼にも関わる内密な調査をすることになったアフターグロウ。果たして黒幕にたどり着くことはできるのか。全ては……プレイヤー達の言葉にかかっていた。

GM…ミドルフェイズはシティアドベンチャーということで、情報収集だ。始める前にも言っただけど、調査は今のような会話がメイン。聞き出すとか隠れて調査するとかの特殊な場合は判定もするけどね。——というわけで、ここからはどこに行くも何をするもキミたちの発言で決めていくよ。一応言っておくと、さっき話した五ヶ所の貴族の家は行ける。

他にも今までのシナリオで行った場所にも行けるね。神殿や運送屋組合、警護騎士団の本部、市場、竜の骸骨亭とか。

タチキリ…始まりの村。

ソルビット…前回の砦。

GM…行きたければレスト村や砦にも行けるよ。——さて、まずはどこに行こうか？

サイモン…とりあえず貴族関連ということさえ隠せば、最近多発している食糧強奪事件に

始まりの村 第一話で登場したグランフェルドンの東にある小村のこと。名前は無いが、通称はレスト村。

前回の砦 第二話で登場したアダマン砦、バヌリス砦、ケイバル砦のこと。グランフェルドンの南の平原に点在している。

ついて調べてるつてのは言っても大丈夫なのであるよな？

GM…表向きは神殿から調査依頼が出されてるからね。それはわかってもらえる。

タチキリ…GM、プレイヤー質問。デンシウス家が商人に繋がっているという情報は神殿とかでも手に入る情報？

GM…ああ、一般的にもデンシウス家がそういう役割を持つ貴族であることはグランフェルデン内では常識だから大丈夫。

ソルビット…じゃあ行くか。

サイモン…でも実際どうする？ 直接赴いてもあまりやることないのでは？

タチキリ…さすがに商人のまとまりなら、どれくらい事件があるかはわかるかなと。

ウォルロツク…被害状況とかね。

サイモン…そういうことを聞くと。それならいいな。

タチキリ…神殿の依頼なら無下には断らないでしょ。何よりこれでデンシウス家が黒幕で無くても積極的に動いていることがアピールできれば少しは顔が売れると思う。(一同笑)

GM…では、デンシウス家に行きますか？

サイモン…異論なければ。

ソルビット…御用改めである！(一同笑)

▼ミドルフェイズ2 〵 商人の家系で出会う者 〵

食料強奪事件の主な被害者は商人。そこで商人と関わりのある貴族、デンシウス家をまずは訪ねることにした一行。しかし、そこで出会う意外な人物が？

GM…今はまだ朝。高級住宅街の西側に向かうと、目の前にはレーヴエン家ほどではないけど大きい建物が建ってます。ここがデンシウス家の邸宅のようです。玄関の前では使用人らしきフィルボルの女性が掃除をしているのが見えます。

サイモン…では……そこのお嬢さん！

GM…「はい、なんでしょうか？」

サイモン…我々は神殿からこういう依頼を受けている者である。……で……で？（一同笑）
ソルビット…で？ じゃない（笑）。

タチキリ…ここが商人のみなさんに関わりのある貴族の方の屋敷だと聞いたので。

サイモン…デンシウス子爵殿の家で間違いないだろうか。

GM…「はい、こちらはデンシウス子爵閣下の邸宅でございます。……先ほどの依頼というので面会を希望ということでしょうか？」

ウォルロック…その通りです。

……で？ あまり考えずに
突っ込んだギルドマスター
！。いつものサイモンだ。

GM「では、こちらで少しお待ちいただけますか？ 旦那様に確認してきます」

タチキリ「よろしく願います」。

ソルビット「ヨロシコ」。

GM「しばらくすると使用人の女性が戻ってきます」「お待たせしました。旦那様がお会いになるとのことです。ご案内いたします」と言つて中に案内してくれます。……中に入ると、手入れの行き届いたエントランスです。何点かある美術品は数こそ少ないけど質が良さそう。特にタチキリは「あ、これ良い物だな」とわかるような感じ。

タチキリ「フーンという感じで。……アイテム鑑定取つてないけど。(一同笑)」

GM「他にも何人かの人が行き交っています。使用人もいますが、中には商人らしき平民の姿も見えます。使用人の女性は「こちらです」と廊下を案内してくれますが……途中でフィルボルの若い男性が歩いてきます。知つてる顔ですね」。

ソルビット「まさか！」

タチキリ「お前は！ ……えーつと、どこのやつだつて」。

GM「クラフトワークスのメイジ担当、フィルボルのキルトです」。

一同「……」。

ウォルロック「……あー、キルトね」。

ソルビット「あー、キルトだ」。

キルトね 全員記憶を掘り起こすのに時間がかかった。

GM…一瞬、誰だったかな？ という顔をしない！（一同笑）

サイモン…パーティにフィルボルがいることは覚えてたのだが（笑）。

GM…彼はキミたちに気が付くと、へうつとした顔付きで話しかけてきます。「ん？ キミたちはアフターグローじゃないか。こんなところに何しにきたんだい？」

タチキリ…露骨に舌打ちします。（一同笑）

サイモン…やあやあ、キルト殿ではないか。我輩たちは前回の食糧強奪事件について調べているところである。

ソルビット…追加の依頼があつたんでな。

GM…「そうなのか。それは別に構わないが……この家になんの用があるんだい？」
ウォルロツク…商人と縁があるということだったので。

タチキリ…商家に繋がる貴族の方の家だとか。

GM…「ああ、僕の親父は確かにそういうことをしているね」

タチキリ…は!?

ソルビット…親父!? ——おっと、お坊ちゃん肩にゴミが……。 （一同笑）

タチキリ…ちよつと姿勢を正します。

サイモン…キルト殿は貴族だったのか。

GM…「ああそうか、きちんと挨拶していなかったね。僕はキルト・デンシウス。ここデン

露骨に舌打ちします 忘れていたのに、誰だったか思い出した瞬間にこの対応である。

お坊ちゃん肩にゴミが……
お金持ちへの気遣いに余念が無いソルビット。
ちよつと姿勢を正します
舌打ちからの手のひらく

シウス家の次男さ」と言ってます。

ウォルロック…お前も次男坊か！（一同笑）

ソルビット…なんだ次男か。長男が冒険者だったらヤバイよな。

タチキリ…長男冒険者はダメだな。怒られるわ。

GM…「なんだい、ウォルロックも貴族なのかい？」

ウォルロック…ゴフツ!? あ、いや、あう……。

サイモン…ウォルロック殿は決してアルディオンの貴族だったりしないぞ！（一同笑）

ウォルロック…うっかり口が滑った感じに（笑）。

ソルビット…どう見ても貴族って顔じゃないでしょー。

タチキリ…こんなのが貴族だったら貴族の恥さらしだよ！（一同笑）

ウォルロック…肩書きは元貴族だから！ 現貴族じゃありません。

GM…キルトはその様子を見てニヤニヤしますが、「まあいいさ。で？ キミたちはさつき

の調査とやらで親父に会いに来たのかい？」と聞いてくるよ。

サイモン…うむ。

GM…「そうかい」と言うと、今まで案内してくれていた使用人の女性の方に「ガーナ。彼らは僕の知り合いだね。父上のところへの案内は僕がやるから、キミは仕事に戻っていいよ」と声をかけます。すると女性はキミたちに一礼をして玄関に戻っていくね。

お前も次男坊か！ 親近感
マックス。

ウォルロック殿は、ギャグ漫画のような暴露。口が堅いと言っていたのはいつのことか。

貴族の恥さらしだよ！ みんな揃ってこのひどい言い様はフォローなのか本音なのか……。

ウォルロック…おや。

タチキリ…つゆ払い。軽く頭を下げておこう。

サイモン…貴族っぽい。

GM…で、ガーナが離れていった後にキルトはキミたちの方を見て言ってくる。「——で、キミたちは本当は何しに来たんだい？」

ソルビット…さっき言った通りですが……。

GM…「ここはその程度のことで一介の冒険者が来るところじゃないと思うんだけどねえ？」

サイモン…あちゃー。

GM…さて、なんて言います？ もちろん同じことを繰り返してもいいですよ。

サイモン…言っちゃう？

ソルビット…いや、言わないよ（笑）。

タチキリ…今の食料の強奪事件は商人が一番悲鳴をあげているだろう？ おいらたちが商店街に行った時も聞いたし、関係ありそうな貴族のところが一番知ってそうだと思ったからね。（目を逸らしながら）——何より顔は売っておきたいし。（一同笑）

サイモン…キルト殿も知っているだろう。最近の食糧強奪事件は本当に多発しているのだ。

一刻も早く解決しなければ。

GM…「それはそうだけどねえ……」と言いながらも、「でも、冒険者だったら調査の後の

妖魔退治とかを優先したほうがいいんじゃないかい？　こんな調査はキミたちが本当にやることなのかい？」と聞いてきます。

ソルビット…確かに、言われてみれば。——どう言うべきか。輸送の関係や情報がどつから漏れてるのかなという話は……あんまり言っちゃうとまずいかな。

サイモン…いや、それくらいはいいのでは？

タチキリ…貴族から漏れてるって言わなければいいから。

ウォルロック…情報の流れを追ってたらここに来た、っていう感じでいいのかな。

タチキリ…前回の砦に行く前にもおいらたちが調べた情報だと、食糧の輸送ルートが妖魔たちに漏れてるっていう話を聞いたんだ。

サイモン…デンシウス子爵なら流通にも詳しいだろうと思っただ。お話を伺いたいのだ。

GM…「ふーん、そうかい」と言いながら……サイモンでいいか。キルトはサイモンの方を鋭い目でジツと見つめてきます。——ここでキルトからサイモンに本当のことを言っているかどうかを見抜く対決判定をしよう。【精神】で対決だ。

ソルビット…大丈夫大丈夫。うちのパーティで一番【精神】高いから。

サイモン…8あるぞ。任せろ。我輩のブラフ力を見せてやる！

GM…こっちの【精神】は6だね。ただし、スキルで《インサイト》を持っているので、ハタタリや嘘を見抜くダイスに＋1Dする。

《インサイト》 洞察力に優れ、相手の隠し事の有無を見抜くのに長けたことを表す一般スキル。ただし、有無を見抜くだけで内容まではわからない。タチキリも取得している。

ウォルロック…伏せてる情報はあるからな。

タチキリ…情報を隠していることがバレる感じか。

GM…こつちが能動で、先に振ります。(ダイスを振る) 5・5・6。……達成値22。

ウォルロック…目が高い！

サイモン…アカーン。これは66を出さないと無理。(ダイスを振る) 13！

GM…こつちの勝利だね。「……キミたち、何か隠し事をしているね。こう見えても人のウソや心の中のことには敏感なんだよ」とキルト。「本当のことを話してくれないなら親父に会わせるわけにはいかないよ。仮にも貴族の一人だ。信用できない相手は通せない」

ウォルロック…あー、そうなるよなー。

タチキリ…はー……。出直すか。この反応から少しは察してほしいけどなー。

サイモン…いきなり特攻は難しかったか。

ソルビット………こいつなら言ってもいいかと思うけど。

タチキリ…困るなー。信頼に関わるから依頼人との約束は守りたいし。とはいえ、**商人に疑われるのはおいらとしてはとても良くない。**(一同笑)

GM…「だいたい、僕ら商人を管理しているデンシウス家も知っていることはあるが、商人たちの運送経路で襲われたかどうかは運送屋の仕事の話だ。グランフェルデン内の商人の管理をしているデンシウス家にはそう大きく関わり合いのあることじゃないしね」

商人に疑われるのは、冒険者としての仕事と商人としての血が矛盾してしまっ

ウォルロック…うーむ。

GM…「それに、教えて欲しいことがあれば、然るべきルートで聞いてくれればちゃんとした情報は出さ。ただ、直接親父に聞きたいことなんて冒険者には無いだろう？」

タチキリ…なるほど、一理ある。……困ったなあ。

サイモン…——事情があるんだよ、とだけ言っただけです。 (一同笑)

GM…キルトも多少は察したような顔だけど、「なににもキミたちのことを悪いように疑っているわけじゃあないさ。ただ、何か隠し事がある状態で親父に会わせることはできないよ。特に商売は情報が命だ。完全に信用できないやつを会わせるわけにはいかない」と。

タチキリ…まあ、悪いように思われてるわけではなさそうだなあ。言ってることも正しいってわかるし。

ウォルロック…もつともな話だもんな。

ソルビット…個人的には打ち明けてもいいかなとも思うけど……パーティ的によろくなさそうならやめとこう。

GM…一旦出直してまた来るでも大丈夫よ。

ソルビット…——ちよつと打ち合わせしてもう一回出直してきます。(一同笑)

タチキリ…ある程度こちでも整理が付いたら改めて出直すよ。

GM…「そうかい。何をしようとしてるか知らないが……本当に協力すべきことだったら、

事情があるんだよー
せぶりな感じで下がって
くスタイル。 思わ

ちゃんと言いに来てくれよ」と言うと、キルトはちよつと鋭い目つきをへらつとした顔に戻して、「じゃあ、しつかり頑張ってくれよアフターグロー」と言つてキミたちを追い返します。「さあ、帰った帰った」

* * *

サイモン…やつぱり貴族に直接突っ込むのはマズかったか。やはり先ずは下の組織からいって、関連性が分かつてから突っ込もう。

タチキリ…やはり運送屋に行くべきというヒントはもらえたかな。

GM…さて、次のシーンはどこに行きますか？ 次はお昼くらいだね。

サイモン…運送屋行く？

ソルビット…でも、何聞く？ 運送屋で。

タチキリ…この間妖魔拠点ぶつ潰して二週間だけど、まだ事件が起きてるか。

ウォルロック…その後どうですかー、と。

サイモン…秘密裏につて難しいなー。コネクションパワーでどうにかしてもらおう。

GM…じゃあ運送屋組合に行くでいいかな？

一同…はい。

▼ミドルフェイズ3 〽 運送屋組合にて 〽

予想外のキルトとの遭遇で、残念ながらデンシウス家を追い返された一行。いきなり貴族に話を聞くのは難しいと考え、話ができそうな運送屋組合へ向かう。さて、誰から話が聞けるのだろうか？

GM…では、二週間前にも訪れた運送屋組合です。見ると、運送屋同士が様々な話し合いをしている。中には前と同じく顔役のバーネットの姿が見えるね。ネヴァーフの男性だ。
サイモン…やあやあバーネット殿。二週間ぶりである。

GM…「この前の冒険者たちか。よく来たな。この前はイースのやつを妖魔の襲撃から助けてくれたそうじゃないか。運送屋の仲間としてわしからもお礼を言わせてくれ」

ソルビット…いいえ、偶然居合わせただけです。結構やばかったけど。(一同笑)
サイモン…待ち伏せた感じで居合わせたのにな。

GM…「経緯はどうでもいいさ。守ってくれたという事実が重要だ。——それで、何か用か？ 無下にする気はないが、商売上の秘密も多くてな。聞かれたくないこともある」

タチキリ…釘を刺してくるねえ。

サイモン…実は神殿からの依頼で食糧の強奪事件について未だに調べているのである。

バーネット 第二話で登場した運送屋組合の顔役。年長者なだけで、特に組合で権限を持つわけではない。

結構やばかったけど アフターグロウ随一の防衛要員であるサイモンが倒れたのは記憶に新しい。

タチキリ…拠点らしき場所是我々とクラフトワークスとで妖魔と魔族は撤退させましたが、あれから何かありました？

GM…「ああそうだな。お前たちが妖魔たちを倒してくれたことは聞き及んでいるよ。それからだいぶ被害については減っているな。ただ、まだ散発的に何件かは起きているよ」

サイモン…発生箇所は似たような感じ？

GM…「いや、以前は南側が多かったが、最近はどこが多いとかの傾向は無いな」

ソルビット…ちなみにその後もルート変えたりはしてますか？

GM…「ああ、もちろんだとも。それ以前から運送ルートは妖魔の情報を集めて安全なルートを考えるようにしてきたからな」

タチキリ…「……その情報を集めてるところでここであつてましたっけ？

GM…「ああ、そうだな……」バーネットはちよつと考えた顔をして、「まあ、これくらいのことは教えてもいいだろう」と説明を始めます――。

バーネットによると、運送ルートを検討するため、運送屋組合では警護騎士団と妖魔の出没情報を共有しているとのことだった。各地を巡る運送屋が見かけた妖魔の情報をグラフフェルデンの防衛のため警護騎士団に報告する際に、騎士団の持つ妖魔情報を共有してもらい、協力して安全な運送ルートを策定している、という。

GM「ちょうど向こうの机で広げているのも騎士団からもらった情報を記した地図だ。

どこで妖魔が最近出たとか、そういった情報を警護騎士団と協力して集めている」

ソルビット「その話し合う相手は警護騎士団のお偉いさん？ 下っ端の人？」

GM「いつも相談してるのは警護騎士団の部隊長をしているシグルという男だ。このシグルという男の部隊はグランフェルデン周辺の警らを行う部隊でな。そこそ協力してやっているよ」とバーネットは教えてくれるね。

ソルビット「なるほど。

サイモン「ふむ。……この事件が起きたのは最近だったか？」

GM「強奪事件についてはここ一ヶ月か二ヶ月くらい前から頻度が増えたな」もちろん昔から妖魔の襲撃そのものはあるからね。

ウォルロック「うーん。

タチキリ「まだ起きていたとはいえ、妖魔を殲滅してるわけではないからなあ。起きるといえば起きるのかな。……宝石商の方は全然狙われないけど食糧の運送ばかり狙われたと前に市場で聞いてたんですが、それも変わりないんですかね？」

GM「食糧の方が被害が多いのは今も変わらないな」

ウォルロック「傾向に変化はなしと。

タチキリ「根城は潰したけど残党はいる感じかな？」

警ら いわゆるパトロールのこと。グランフェルデン周辺を巡回している部隊のようだ。

ウォルロック…根元は断ち切れてないんじゃないかな。……とはいえ、どこに突っ込めばいいのか。とりあえず警護騎士団に向かつてみるか？

サイモン…——とりあえず、ここは一旦これで？

ソルビット…また何かあつたら来るかもで。

サイモン…——なるほどよくわかつた！ では、また何かあつたら来るかもしれない！

GM…「ああそうか。話せることなら話すからな」とバーネット。

タチキリ…おいら的にも商人のみなさんには頑張つていただかないと。市場が潤っていることはいいことなので。

* * *

GM…続いてどこに行きますか？ 次は夕方くらい。

サイモン…警護騎士団にこのまま行くか？

ソルビット…カチコミ。看板をもらい受ける！（一同笑）

サイモン…たのもー！（笑）

タチキリ…ボコボコにされるわ（笑）。

▼ミドルフェイズ4 部隊長の正体

運送ルートの情報の流れを追い、続いて警護騎士団へ。部隊長のシゲルという男が相談相手のようだが……アフターグロウはここで意外な事実を知ることになった。

GM…前回も来た警護騎士団本部に來ると、前回も見た衛兵が立っています。

ウォルロック…こんにちは。

タチキリ…おいら見たっけ？

GM…タチキリとサイモンは会ってないね。ウォルロックをめっちゃ怪しそうな目で見たけど、ソルビットを見て「ああ、いいよ」って通してくれた衛兵です。（一同笑）

ウォルロック…胡散臭い兄ちゃんですいません（笑）。

GM…キミたちの方を見ると、「おや、キミらはこの前も来た冒険者たちじゃないか。何か用か？」と聞いてきます。

ソルビット…実は………という依頼だっけ？

ウォルロック…食糧強奪事件の調査を追加で依頼を受けてまして、と。

ソルビット…ちょうど運送屋組合で話を聞いたシ、シ、……（ウォルロックのメモを見て）

……シゲル？

シゲル
かな？

サトシのライブ

GM…シグルね。(一同笑)

ウォルロック…俺の字が汚いね(笑)。

ソルビット…シグルさんという方に会ってお話を聞きたいと思うんですが。今います？

GM…「シグル隊長に用？ ……ああ、アフターグロ―ってのはキミらのことだったのか」

ウォルロック…そういえば前回衛兵にはギルド名は言ってなかったか。

サイモン…そう、我々がアフターグロ―！ 覚えておいてほしい！

GM…「それなら聞いているよ。どうぞ中に入ってくれ」

タチキリ………おや？ なぜ聞いているんだらう？

GM…中に案内されると、前回砦の情報を教えてくれた部隊長の部屋に通される。

ソルビット…まさかあの人は！

GM…そうすると前と同じ部隊長が迎えてくれます。「やあよく来てくれたね。——案内ありがとう。コフィン様は下がってくれ」と言われて衛兵は下がっていく。部隊長はキミたち

に向き直って、「さて、父上から話は聞いている。食糧強奪事件の内通者について調べてい

るんだらう？」と言ってくるよ。

ソルビット………うん？

ウォルロック…父上？

サイモン………父上とは？

俺の字が汚いね 他人のメモ
ソツて読めないこと多いよ
ね。

我々がアフターグロ―！
営業活動。冒険者には知
名度が必要なのだ。

……うん？
ざわつき始め
る心が見えるような声。

ソルビット……ざわざわと殺氣立つやつ。

GM…「ああ、申し遅れたね。僕はシグル・レーヴェン。レーヴェン家の長男でキミたちの依頼主のグラン・レーヴェンは僕の父だ」

ソルビット——先に言えやあのおっさん!! (一同爆笑)

タチキリ…怒り。

サイモン…まあ、警護騎士団との関係もあるという話はあつたしな。

ウォルロック…なるほどな。そういえばフェルモード家と共同で警護騎士団の運用に云々
 って言ってたわ(笑)。そりや縁あるわ。

ソルビット…やられたわー。こいつは一本取られたな。先に言つといてくれ……。

GM…(笑)「ああ、すまない。父上から聞いていなかったのか。それはすまない」

ソルビット…いやー、いきなりあの話言われたら戦闘態勢になるでしょ(笑)。

ウォルロック…不穏な笑みを浮かべられたらアウトな感じな流れだった。後ろでドアが閉
 まるやつ(笑)。

タチキリ…まずイニシアで殴るやつ。(一同笑)

GM…「すまないね。父上もまあまあ話を忘れることがあつてね」とシグル。(一同笑)「父
 上からキミたちに協力するように頼まれているんだ。何か聞きたいことがあるのかい?」

サイモン…知っているなら話が早い。

ざわざわと殺氣立つやつ

背後に『ゴゴゴゴゴ』と
 か文字が浮いてる。

先に言えやあのおっさん!!

手に持ってたクラブを地
 面に投げつける姿が目に見
 えるようだった。

ソルビット…何でも聞けるからな。

タチキリ…隠す必要もない。気軽だ。

サイモン…最近の食糧強奪事件で運送屋組合と協力して運送ルートを決めているのか？

GM…「ああ、バーネット殿から聞いてきたのか。確かに僕は彼らの運送ルートの策定に協力しているよ」

サイモン…しかし、運送ルートを変えても毎回妖魔に襲われてしまう。これはどこからか情報が漏れているのではないかと考えているのだ。

GM…「なるほど……」とシグル。「僕の部隊の任務は周辺の町村での妖魔情報の収集でね。国の警備計画を決めるための調査活動を主としているんだ」

バーネットから聞いた話と変わらず、平原での妖魔情報を集めるため運送屋に協力をお願いしていること、その際に安全なルートの検討もしていることを明かす。しかし――。

GM…「……ただ、実際にどのルートで何が運ばれるかまでは知らないな。あくまで妖魔情報の共有だから、それが実際にどう運用されているかまでは関与していないよ」

ウォルロック…ふむ。

GM…「実際に情報共有に使った地図はファイルにまとめてこの部屋で保管しているよ。妖

カットされたやり取り

「PLがシグルになってそれはな……俺が漏らしているからだよ」「そこまでわかってるのなら話が早い。キミたちには消えてもらうことにしよう」というようなやり取りをシナリオ中で誰かに会うと定期的に行っている。本文ではくどいのでカットしたため、ここに記しておく。

魔情報の履歴にもなるからね」とシグルは説明してきます。

サイモン…こちらからは情報提供してるだけでルートを決めてるわけではないと。

ウォルロック…候補は知ってるけど、どこにどれがという運用には関与してないのか。

サイモン…妖魔も候補に対して数撃ちや当たるをやってるのかもな。

タチキリ…そう言われると今回の依頼キツイな。破綻している。

ソルビット…ちなみに、その話し合いの結果とか地図がファイリングされていふことだったけど、それは誰でも見れる状態で？

GM…「ファイイル自体はこの部屋で普通に棚に入れてあるよ。そこにあるようにカギとかも無いね。ただ、僕自身がない時は部屋にはカギをかけているよ。機密情報もあるからね」とのこと。「扉のカギはそこまで強固じゃないけど……アラーム装置を二つ付けてるんだ。

片方はわかりやすく、片方は巧妙に隠してね」

タチキリ…とりあえず解除するか。(一同笑)

とりあえず解除するか
そこに山があるからくらの
ノリ。シーフの性か。

GM…「今のところは作動したことはないね。見てみるかい？」
サイモン…では見せてもらおうではないか。

ソルビット…せっかくだし。今後の参考のために。(一同笑)

GM…怪しい(笑)。——で、実際に扉を見ると、カギはかけられるようになっていて、アラーム装置が二つ付いているのがわかる。タチキリが見ると、そのカギもアラームも簡単

に解除できそうなものだ。メタ的に言えば**難易度8**くらい。

タチキリ…は？

GM…ただ隠された方のアラームについてはその存在に気付くこと自体は難しそうだとわかる。これを発見するにはトラップ探知で**難易度20**くらいは必要かなということだね。ソルビット…今は教えてもらったからわかりはする？

GM…もちろん。ここにあるよと教えてくれるからね。

サイモン…どうやったら作動するんで？

GM…「単純にカギがかかった扉で正規のカギ以外で解除しようとして、扉を壊そうとしていたりするとアラームが作動するようになっていく」

ソルビット…この部屋のカギを他に持っている人は？

GM…「カギそのものは僕しか持っていないよ」

サイモン…うーむ、解除は簡単だから存在を知っている人なら解除できるのか。でも解除されていないのか？

GM…シグルは作動したことはないと言ってるけど……それについて調べるなら判定にしよう。アラームに解除された形跡があるかどうかを【感知】判定で。難易度は秘密。

タチキリ…それはトラップ探知は使える？

GM…トラップ探知は使えない。単純に装置を調べるだけ。

難易度8 ルールブックによると「とても簡単な行動」に分類される。

難易度20 ルールブックによると「極めて難しい行動」に分類される。

タチキリ…クリティカル出せばええねん。(ダイスを振る) ファンブル。(一同笑)

ウォルロック…逆の36分の1(笑)。(ダイスを振る)……俺も。何一つわからない。

GM…二人してファンブル(爆笑)。

ソルビット&サイモン…(ダイスを振る) 10。

タチキリ…大丈夫でしょ。だって見つけられなかったもん。おいらが見つけられないものが作動するわけがない！

サイモン…タチキリ殿、そこはそもそも罠がある場所では無い！(一同爆笑)

GM…(笑) えー、サイモンとソルビットが10ね。タチキリがアームも何も無い場所をゴソゴソしてる間に、サイモンとソルビットはアーム装置にちよつとしたキズが入っており、解除、再設定された形跡があることがわかります。

サイモン…ピローンと証拠品を見つけた時の音楽が鳴るやつ。

ソルビット…シゲルさん！……違う、シゲルじゃない。(一同笑)

タチキリ…いい加減にして！(笑)

ソルビット…シグルさん！これをよく見てください！

ウォルロック…つまり、シグル隊長の知らないうちに出入りがされていると？

GM…それを伝えるとシグルは、「え、まさかそんな……」と言いつつ、言われたところを確認して「……確かに」と言ってくる。「このアーム装置はかなり巧妙に隠したものだし、

ファンブル 即座に自らフ
ラグを回収する。

俺も 仲良しファンブル。

おいらが見つけられないもの
が作動するわけがない！
自分の目で見たものしか
信じない。でも確かにそこ
にあるのだ。

そこはそもそも罠がある場
所では無い！ そこには無
かった。

シゲルさん！ オーキド博
士の孫かな？

とても気付かれるものではないはずだが。それにこの部屋以前に騎士団本部自体にもセキュリティはあるし、そうそう侵入されるはずは無いと思つていたんだが……」

サイモン…内部犯か。

ソルビット…騎士団所属以外で定期的に入出入りする人つています？

GM…「警護騎士団そのものは国の騎士団だからね。国の人は来るし、さつき言つた運送屋の人が来ることはあるが……それ以外に特に定期的に来るようなことはないね」

ソルビット…となると——言いにくいけど……。

タチキリ…大変申し上げにくいのですが。……父上の話を聞いているなら我々が何をしているのかはご存知かと思ひます。この情報から疑わしきは……レーヴエン家とフェルモード家とコロナド家を疑わざるを得ないかと。

GM…「つまり、警護騎士団の内部に内通者がいると、そういうことかな？」

ソルビット&ウォルロック…可能性があるくらい。

サイモン…この畏の存在はどの程度の隊員が知つているのだ？

GM…扉のアラームのことだね。「このアラームについては僕の部隊の人間には伝えているよ。アラームが作動した時や定期的なメンテナンスのこともあるからね」

ソルビット…警護騎士団以外で知つている人は？

GM…「いや、それはいない。警護騎士団内部でも基本的には僕の部隊の人間だけだ」

タチキリ…‥‥貴族自体がリークしているというよりは、部隊の中の誰かがやってる？

ソルビット…いやー、雇われだと思うが。

サイモン…貴族から唆されて、シグル殿の部隊の人が背信行為を働いてるとか。

タチキリ…シグルさんの部隊で最近来た方ってどれくらいです？

ソルビット…あー、ここ2、3ヶ月とかで追加された新人とかか。

GM「それは何人もいるな。新しくというか、騎士団内で部隊の再編成とかはあるからね。

事件のタイミングでということだろうけど…‥‥それで怪しいと言えるのはいないね」

サイモン…なんにせよ、この地図が盗み見られたことがわかった。ここから情報が漏れて

いたのか。——しかし、有力情報だがこの先に繋がらないな。一旦この情報は心に留めて、

また新しいところに繰り出すか？

ソルビット…一回報告しに戻るか？ 夕方だし。

サイモン…それはありであるな。

ソルビット…一日の進捗状況の報告と、ついでに向こうから情報がもらえないかを。

タチキリ…それと文句を言いに。

ソルビット…——そうね！

タチキリ…それでは、我々はここら辺でああなたの父上に文句を言に行くのでお暇させて

いただきます（一同笑）。

そうね！ 晴れやかな顔。

あなたの父上に文句を言
に行くので 堂々と宣言さ
れても困ります。

GM「じゃあその前に……」さっきの話の内容だと、僕の部隊の人間も怪しいということかな？」とシグルが聞いてくるよ。

サイモン「状況をみるとそう言わざるをえないな。

GM「シグルは少し考えた顔をして一つだけ言ってきました。」「……最近、一つ気になる報告は受けているんだ」

ウォルロック「と、言うത്？

GM「先日、東にある小村……冒険者にはレスト村と呼ばれてるとか。その村長が妖魔襲撃の報告にここを訪れてね。それ自体はキミたちの活躍でその場で解決したことだが」

ウォルロック「だね。

GM「その時に、村長さんが村を発つ前に村のすぐ近くで騎士団員を見たことを伝えられたんだ。それで小村にも警備の目が来ていることを感謝されたんだが……僕の部隊はその時はレスト村の付近にはいないはずなんだ」

サイモン「あの辺も前の皆みたいに妖魔どもの拠点があつたからな。何か下見をしていたのかもしれない。

ウォルロック「騎士団員を見たというのは複数人？ 一人？

GM「話によると一人で行動していたようだ。他の部隊の可能性はあるが、あの辺りは僕の部隊の管轄なんだ。何も証拠はないが、最近気になったことといえばその件があつたな」

ソルビット…基本的に騎士団員が一人で外を出歩くことつてないですよね？

GM…「あまり無いはずだよ。特別な任務でも受けない限り、通常は複数人——三人とか四人の単位で行動するのが普通だ」

サイモン…単独の特殊作戦だった可能性も無いのか。——こんなところか。

タチキリ…おいらたちは一旦報告しに行きます？

ソルビット…夕方だし、一旦戻るか。

サイモン…名前付きの騎士団員を探すんだ。(一同笑)

ウォルロック…話しかけて「騎士団員A」とかじゃなくて**固有名が出るやつ**を探すと(笑)。

サイモン…こいつは今後のイベントに関わるに違いない！

GM…シグルは「また何か必要な情報等があったら言ってくれ。表立って話すことはできないだろうから、話すときはこの部屋で頼むよ」と言つて送り出してくれます。

サイモン…では、またよろしくお願いするのである。

最後にタチキリはシグル以外の部隊でレスト村付近に派遣された騎士がいないかどうか
 彼の隊長に確認してほしいことをシグルに伝え、一行はレーヴェン家へ戻ることに。

固有名が出るやつ “農作業をする村人”とか “景色を見る男女”とかじゃないちゃんと名前が出るやつ。

▼ミドルフェイズ5 貴族、登場

文句を言うため一日の報告のためレーヴェン家に戻った一行。しかし、グランの前に出会ったのは新たな貴族で――？

GM…では夕方。レーヴェン家に戻りましたが……少し慌ただしい様子です。

サイモン…なんだ？

GM…使用人の女性が話しかけてくるね。「あ、アフターグローのみなさま。旦那様はご来客の方とお会いになつておりまして。二階の応接間でお待ちいただけますか？」

ソルビット…そこそこ偉いさんか。

サイモン…ちなみにどなたと？ 聞いてもいいのであろうか。

GM…「他の貴族の伯爵の方です」

タチキリ…デンシウス家だとワンチャンやばいな。

ウォルロック…いや、伯爵なら違うな。他の2つかな？

GM…キミたちはそのまま二階に案内されます。突き当たりのグランの部屋の少し手前にある部屋の前に案内され、「こちらになります。すいませんが少しお待ちを――」と言われたところで、グランの部屋から大きな声が聞こえてきます。

伯爵なら違うな デンシウスは子爵。伊達にメモは取つてない。

「なぜわからない！ 国力を上げることこそ貴族の務めだろう！ 王立騎士団（ロイヤル ナイツ）だけでなく、警護騎士団も強化すべきだ！」

「軟弱者めが、話にならん！ 貴様のような奴がグランフェルデンをパリス同盟の属国などに成り下がらせているのだ！」

屋敷中に響くかのような大きな怒鳴り声。その直後、グランの部屋のドアが開き、出てきたのは見知らぬヒューリンの男だった。

GM「明らかに高価とわかるきらびやかな服装をした男が、大きな身体で太った腹を揺らしながら歩いてきます。でふんでふん。

ソルビット「とりあえず、頭を下げてやり過ごします。

GM「ヒューリンの男はキミたちに気が付くと声をかけてきます。「ん？ なんだ貴様らは。このような貴族の家で何をしている？」

タチキリ「いや、あつしらはしがいない商人でございます。（一同笑）
ウォルロック「こんな怪しい商人がいるか！（笑）

タチキリ「ウソは言っていない！」

GM「こんな建物の中でフルフェイスの鎧を着込んだやつに……こっちは妖魔みたいなやつではないか」

あつしらはしがいない商人で
ございます 急に背景が西
洋の屋敷から江戸の平屋に
変わった。

ウソは言っていない！ アフ
ターグロウが商人だったこ
とはない。

サイモン…人を見かけで判断してはいけない！

GM…「ん？　なんだ強気に出てくるな」とサイモンの方を睨んできます。

タチキリ…サイモンに蹴りをくれます。

ソルビット…蹴りをくれます。ガン。ガンガン。

サイモン…ぐわー。

ウォルロツク…俺はとりあえず顔を背けておこう。（一同笑）

ソルビット…ばかばか、頭下げろ！　——失礼しました。どうも世間知らずなもので。

タチキリ…おいらたちは田舎もんなんで。

GM…ふん、レーヴエン家も堕ちたものだ。こんな田舎者どもが簡単に上がり込むなど。

——まあいい、そこをどけ。私は忙しいんだ。邪魔をするな」

サイモン&ソルビット…スス。（横にどく）

GM…キミたちが横にどけたところドスドスと歩いて行きます。

ソルビット…（小声で）銃撃で銃撃で。後ろから撃つんだ。

タチキリ…（小声で）足払い足払い。

サイモン…（小声で）パンチ。

ソルビット…一人ならバレないって。階段から突き落とせ。（一同笑）

ウォルロツク…ここで事故死は明らかに怪しいだろ（笑）。

ぐわー 本日はタチキリとソルビットのWキックをお送りしました。

銃撃で足払い／パンチ
すぐに荒事に出ようとす
る慎重派アフターグロウ。

GM…玄関に向かった男を使用人たちが追いかけて行く。——で、少しするとグランの部屋から執事のゼスターが出てきます。「アフターグローのみなさま、お出迎えできず申し訳ありません。旦那様にご用事でしようか？」

ウォルロック…ああ、はい。経過報告というか。

GM…「かしこまりました。どうぞお部屋へ」と部屋に入ると、机でグランが腕を組み考え込む顔をしている。ゼスターが「旦那様、アフターグローのみなさまがお越しです」と声をかけると、グランが顔を上げてくる。「ああ、申し訳ない。考え事をしてしまつてな」

ウォルロック…えーつと、先ほどの来客の関係で？

GM…「ん？ ……ああ、先ほどの声が聞こえてしまつていたか」

サイモン…何やら穏やかではありませんでしたな。

GM…「見苦しいところを見せて申し訳ない。彼はギルガル・フェルモード。ノルテマンド伯爵の爵位を持つ、グランフェルデンでも有力な貴族であるフェルモード家の家長だ」

ソルビット…あいつが犯人だなー。(一同笑)

ウォルロック…さっき騎士団云々つて言つてたからそうなんだろうなーと思つたけど(笑)。

GM…「数百年も前の話だが、フェルモード家は北部地方に広大な領土を持つ侯爵の一族だったのだ。今はグランフェルデンの縮小で伯爵となつたがね」

ソルビット…おつと、格下げ？

あいつが犯人だなー
の即決。
毎度

GM…侯爵だったのは五〇〇年前の隆盛を誇った頃のグランフェルデン王国の時代のことだね。パリス王国に負けて一度滅亡したけど、その後復興した時に領土を持つ状態じゃなくなったから伯爵として復権したということ。「だからか、彼自身はかつての強いグランフェルデンを取り戻したいという思いが強いのだ」とグランは説明してきます。

サイモン…なるほどー。

GM…「この国には主戦力たる王立騎士団があるが……彼は警護騎士団も主戦力となれるよう軍備を増強すべきだと主張しているんだ。私は反対しているのだが、最近はその動きが顕著でな。今日は直接乗り込んで来て文句を言いに来たのだよ」

サイモン…争いからは何も生まれないというのに。

タチキリ…軍備の増強……難しいね。妖魔に好き放題されていると思うと軍備の増強もすべきかと思うんですけど。ちなみになぜ反対で？

GM…「主戦力として軍備を増強するのは警護騎士団の役目ではない。私はあくまで王立騎士団と警護騎士団できちんと役割を分けるべきだと言っているんだ。……それに、安易な軍備増強は周辺諸国を刺激しかねないしな」

ウォルロック…余計な火種になるだろうな。

ソルビット…戦争の準備でもしてるとか言われたら困るからな。

GM…すまない。余計な話をしたね。報告に来てくれたのか？ それとも何か問題かね？」

ソルビット…——息子さんの話です。（一同笑）

GM…「ん？ ああ、シグルに会ったのか」

タチキリ…言つとけやー！（一同笑）

GM…「ああ、すまない。説明していなかったか。それは大変申し訳ない」とグラン（笑）。
ウォルロック…それはさておき……。

まとめも兼ね、アラーム装置や怪しい騎士の目撃情報など、一通り調査結果を報告する一同。それを聞いたグランからはシグルのようにレーヴェン家の者が一部の部隊を任されているだけで警護騎士団の細かい内情は把握していない、国の管轄する騎士団だが様々な人が集まる以上は「そこに何か怪しい点があるなら調査を進めてくれ」との返答があつた。

また、タチキリはデンシウス家でのキルトとのやり取りについても報告し、今回の調査依頼の詳細についてキルトに話してしまつてもよいか相談するが——。

GM…「そういうことか。——それについての判断はキミたちに任せよう」とグラン。

タチキリ…ぐぐつ。

ソルビット…そりやそうだよな。

GM…「あくまでレーヴェン家が他の貴族を調べているという話が回つてしまうと、キミた

息子さんの話です いっつも増して真剣な声音だ。
言つとけやー！ タチキリも思わず丁寧語じゃなくなる勢い。

ちの調査に支障が出るだろうと考えて止めているだけだ。もしそれを説明しなければなら
ない状況であれば、キミたちの判断で説明してもらっても構わない」と話してくるね。
「もちろん、慎重にはしてほしい」と付け加えてはきます。

タチキリ……では、もしもの場合は彼の力も頼らせてもらうかも……はあ。(一同笑)

サイモン……まあまあ、しばらくは下側を固めてからであらう。

ソルビット……さて、ネクストデイの方針として……例のレスト村に行くのもありかなと。
(グランに)それで馬車か何かを貸してもらえると移動時間が短縮できるのですが……。

GM……それならもちろん手配させてもらおう。うちの馬車というわけにはいかないが、運
送屋組合の方に私の方からお願いをしておこう」

ソルビット……絶対に知り合いが来るよこれ。(一同笑)

サイモン……行くところも知り合いばかりだしな。

GM……新キャラばかりだと管理が大変だからな！ 使い回すのが楽なんだよ！(一同笑)

サイモン……実際、これまでに関わってきた事件のまとめだからな。

ウォルロック……縁のある人間で固めた方がいいや。

GM……それでは、言われた馬車については手配をしておこう。今日は遅いからキミたちも
ゆつくり休んでくれて構わないからな」と言ったところでシーンを変えよう。

一同……はい。

はあ 残念そうなため息。

新キャラばかりだと管理が
大変 それに同じキャラが
出た方が話しやすい。知
り合いというのは便利。

▼ミドルフェイズ6 〴〵再度の邂逅 〴〵

翌日の方針も決まり、ギルドハウスに戻ろうとする一行だったが、部屋を出たところで
 ともや知り合いと遭遇する。微笑ましい光景になると思ったが……？

GM…部屋の外に出ることになるけど……廊下の奥、階段の上くらいから話し声が聞こえ
 ます。どちらも聞いたことのある声だね。廊下を歩いていくと、見えてくるのはフィオナ
 とミカ、そしてクラフトワークスのメリルの姿だ。

タチキリ…おや。……誰だっけ？ 常識的な人？

ソルビット…常識ではない。常識人ではない。(一同笑)

GM…というわけで、3人の姿が見えます。

ソルビット…鎧の後ろに隠れます。

サイモン…何をするソルビット殿！

GM…フィオナとメリルが話していて、ミカが最初にこちらに気が付くね。「あ、この前の
 冒険者さん！」と勢いよくキミたちのところに走ってくるよ。

サイモン…ミカ殿ー！ バッ (両手を広げるポーズ)。

GM…そのまま飛び上がるようにサイモンのところに飛び込んで行く。

ミカ 第一話で妖魔のアジ
 トから助けた小さな少女。
 フィオナの娘。

メリル クラフトワークス
 のシーフ担当。ヴァーナ(猫
 族)の女性で、ソルビットの
 幼馴染。

常識ではない なかなかの
 パワーワード。幼馴染にひ
 どい言い様である。

サイモン…ガシッ。

GM…その勢いでサイモンを突き飛ばします。(一同笑)

サイモン…なにー！　ぐはー！

GM…はい、2Dの貫通ダメージです。(ダイスを振る) 8点ダメージ。

サイモン…なんだってー！

ソルビット…え、マジで!? 《ヒール》をしようとダイスを握る)

GM…「ああ、ミカ！　すいません！」とフィオナ。それとすぐ近くの使用人が《ヒール》をかけてくれます。全快。

ソルビット…じゃあいいや(笑)。

サイモン…うわー！　ガッシャーン！　くつ、ミカ殿強くなったな。(一同笑)

GM…サイモンの上でミカは顔を上げながら「冒険者さんたちこんにちは！」と元気に言っています。

ウォルロツク…あ、ああこんにちは。

タチキリ…今、完全に鎧にマウント取ってる状態だな(笑)。

GM…フィオナは「ミカ、まずは謝りなさい！」と言いますが、横ではメルルが「はは、こんな子どもに突き飛ばされるなんて軟弱だなあ」と笑ってるよ。

サイモン…はっはっは。よいよい。

ガシッ 大きな鎧の身体で小さな体をしつかりと抱き留め――。

サイモンを突き飛ばします――られなかった。

2Dの貫通ダメージです
有無をいわさぬダメージ
ロール。GMパワー。

タチキリ…ドン引き。

ウォルロック…鎧が硬いのと受け止められる足腰があるかは別の話だからな。

サイモン…中身軽いし、筋力無いから。

GM…まあまあ突き飛ばした。壁にぶつかるくらい。

ソルビット…壁にめり込みましたと。

ウォルロック…ギャグみたいに人型の凹みができるやつ（笑）。

GM…フィオナが声をかけてきますね。「子どもの成長は早いというか、最近すっかり力が付いてしまって……夫の遺伝なのか……」

タチキリ…これ、おいら死ぬのでは。

ソルビット…元気なのは良いことだ。

GM…「どうもすいません」とフィオナは深々と謝ってきます。

サイモン…そのままたくましく育つが良い。この通り我輩はピンピンしておる。

GM…そこでメリルが「しかし、お前からこんなところで何してるんだ？ 冒険者が貴族に用事なんて滅多にないだろう？」と聞いてきます。

タチキリ…その言葉、そっくりそのまま貴様に返してやろう。（一同爆笑）

ソルビット…その通り（笑）。

GM…「そりやそうだけだよ。私はしばらく前からレーヴェン家の護衛依頼を受けてんだ」

ドン引き タチキリの小さな体も若干震える出来事。

鎧が硬いところ このギャグ空間で冷静なコメント。さすがツツコミ役。

我輩はピンピンしておる
使用人から《ヒール》をもらったので。

そっくりそのまま貴様に返してやろう GMもそう思います。

ソルビット…一人で？

GM…「ああ、一人だよ」

ウォルロック…じゃあ、結構ギルドメンバーはバラバラに行動してるのか。

GM…「もともとクラフトワークスに入る前からこの護衛依頼はやっているんだ。その後にミゼルのやつから誘われてな」とのこと。「ま、そんなに危ないことは起きたことはないけどな。フィオナさんが来た時はミカの遊び相手とかもしてるし」

サイモン…ほうほう。

GM…「いやー、子どもって可愛いよな！ 元氣だしよく笑うし！」

サイモン…うむ、子どもは宝だ！

GM…「……どっかの誰かみたいに引きこもりにはなつてほしくないもんだな」と言いながら、ソルビットの方をチラッと見てくる。

サイモン…全くだ！

ソルビット…そうだよなー。外でのびのびと暮らすのは大事だよなー。でも遊び過ぎて脳筋になられても困るよねー。（一同笑）

サイモン…全ての子どもは**貫通ダメージを出せる程度**にはたくましくなるべき。（一同笑）
GM…フィオナが聞いてきます。「ところで、お父様から依頼を受けているのですか？ 先ほども何か話をされていたようですが」

全くだ！ 全面的な同意をいただきました。

貫通ダメージを出せる程度
高レベルの冒険者くらい
だろうか。

サイモン…うむ、その通り！

タチキリ…（サイモンを蹴るポーズ）

サイモン…ぐはー！

タチキリ…ダメでしょ！ お父様からの依頼とは言っちゃダメでしょ！

ウォルロック…まあ、一応神殿から食糧強奪の追加調査を依頼を受けてて、たまたま顔を
出させてもらったところです、と。

GM…「ああ、そうなんです。まだ困っている人もいますから、よろしくお願いいたします」と小さく頭を下げてきます。

ウォルロック…ええ、もちろんですよ。

GM…メルルは「お前から働きもんだな。大変そうだなあ。ハハ！」と笑ってるね。

ソルビット…家買ったからね。

GM…「お!? 家買ったのか！ 今度遊びに行くからメシ食わせろよ！」

サイモン…まだローンが残っているの。（一同爆笑）

ウォルロック…世知辛い（笑）。

GM…そんな話をしていると、ミカがメルルに話しかける。「メルル、外に遊びに行こう！」
と言、フィオナは「ミカ！ メルルさんでしょ！」と言うけど、メルルは「いいって
いつて！ よし、市場まで競争するか！」と言って、メルルとミカが走っていくよ。

その通り！ 口が堅いと言
っていたのは（以下略）

まだローンが残っているの
だ ガチガチの鎧が急にへ
たったビジネススーツに見
えてくる言葉

外に遊びに行こう！ この
シーンは夕方過ぎだったこ
とに今気が付いた。子ども
が出歩く時間じゃない。

サイモン…たくましく育った。

ウォルロック…元氣だ。

GM…フィオナも「もう、ミカは……。すいません、それでは私も失礼しますね」と言つて去っていきます。——それでは、この日は自分たちのギルドハウスに帰つてグースカピ―することしよう。

タチキリ…何も無いギルドハウスで寂しく寝る。

サイモン…床の上で掛布団だけかけて。

ソルビット…野営道具くらい持つてゐるだろ。

ウォルロック…室内で寝袋はそれはそれで辛過ぎる（笑）。

▼ミドルフェイズ7 始まりの村へ

怪しい騎士を見かけたという目撃情報を聞きに、一行はお互いが出会った場所でもある小村——レスト村へと向かう。さて、次に再会する意外な人物は誰なのやら？

GM…翌日になりました。朝です。

ソルビット…村の中央には誰の死体が？（一同笑）

GM…ゲーム違う（笑）。キミたちはグランが用意した馬車に乗って朝からレスト村へと向かうけど、その前にタチキリがシングルに聞いてたことについての連絡がありました。

連絡は、やはりレスト村周辺にいる他部隊は見つけられなかったとのこと。さらに――。

GM…それとレスト村に行くことを聞いたようで、「僕の部隊も予定通りならちょうど今レスト村にいるはずだ」との情報を付け加えてきました。

ウォルロック…なるほどな。

タチキリ…その部隊は何人ほど？

GM…えー……その情報は連絡には入ってなかったね。

村の中央には誰の死体が？

この村は人狼が紛れてたりはしません。意味がよくわからない人は「汝は人狼なりや？」で検索してね！

その情報は連絡には入ってなかったね。聞かれてなかった情報なのでしょうがない。

タチキリ…無能ー！（一同笑）

ウォルロック…部隊の規模まではわざわざ言わないか（笑）。

タチキリ…まあ一人ではないか。ソロで歩いてたら「貴様どこの所属だ！」と聞けるな。

GM…通常通りに部隊としてレスト村にいるはずだよ。——では、東に馬車で半日ほど進むと、キミたちはお互いの出会いの場所でもある小さな村、通称レスト村に到着しました。

ウォルロック…お久しぶりです。

ソルビット…やっぱり解散するならここだね。（一同笑）

タチキリ…お金にならなかったの。

サイモン…家まで買ったのに。（一同爆笑）

GM…ギルドハウス買ってローンも残ってるのに（爆笑）。……前に来た時と同じで少ないながらも人が談笑する姿や子どもたちが遊ぶ様子が見える、いつもの村の風景だね。すると、村長がキミたちに気付いて近付いてきます。

サイモン…村長！ 久しぶりである！

ウォルロック…どーも。

GM…「おお、あの時の冒険者のみなさんではないですか。また来ていただいてありがとうございます。おかげさまでみな元気に過ごしております」と声をかけてきます。

ソルビット…そいつは良かった。

無能ー！ 情報をくれたのにひどい言い様である。

やっぱり解散するならここだね。始まりと終わりの村になってしまふ。

家まで買ったのに、ようやくみんなの居場所ができたと思ったら一人に。悲しい。

GM…「本日はどうかされたのですか？」

サイモン…今回は仕事で来たのだ。

GM…「おや、どのような仕事でしょうか」

タチキリ…それは秘密にしろと依頼主から……。 (一同爆笑)

ソルビット…じゃあ言うなや！ (笑)

ウォルロック…お約束なセリフを (笑)。

サイモン…えーっと、不審な騎士についてでいいよね？

タチキリ…でも不審って言うのと、「わざわざ来てくださった」とか言ってた村長に無駄な心配を与えるのでは。

ソルビット…ああそうか。単独の騎士を見かけたくらいでいいか。

GM…「先日見かけた騎士団の方ですか。ええ、グランフェルデンに向かう際にこの近くでお見かけしました。このような小さな村にも調査や警備に来ていただいて感謝しているところです。今も騎士団の方に駐屯していただいていますしね」

ウォルロック…ちなみに人相と違って……覚えてないですよ？ 背格好とか。

GM…「見かけた方ですか？ いえ、特に声はおかけしませんでしたし、服装から騎士団の方だとわかっただけです」

ウォルロック…ですよー。

GM…「ああ、その時に私と一緒に騎士団の方を見た方がいらつしやいますよ」

タチキリ…おや。

GM…「今は奥に見える家に住んでおられるので、聞いてみてはいかがでしょう？」と言つて、村長は村の奥の家を指し示してくれます。

サイモン…では、聞いてみるとしよう。ガシャンガシャン。

* * *

GM…村長に言われた奥の家に着きました。他と変わらない普通の家だね。

サイモン…ごめんくださいーい！

GM…すると中から声が聞こえてくるよ。「はい。誰ゴブー？」

サイモン………ゴブ？

ウォルロック…ゴブー？

GM…「勧誘ならお断りゴブ……あつ」と言いながらドアを開けて出てきたのは、この村で解決した食糧強奪事件で妖魔のアジトにいて、カギを落としてモーティンに怒られていた

ゴ布林です。（一同爆笑）

ウォルロック…あー！（笑）

カギを落としてモーティンに怒られていたゴ布林
第一話のクライマックス
参照。

タチキリ…お久しぶりです。(ナイフを構える)

ソルビット…全然攻撃を当てられなかったゴブリンか(笑)。

サイモン…む、貴様は！

GM…モブグループの中で最後に一匹だけ生き残って逃げていったあのゴブリンだ。そして、家の中からもう一つ声が聞こえてくる。「ホブル？ 誰か来たの——あつ！」と声を出したのは、その時にその場にいたフォモールメイジ。彼女はキミたちを見るとすぐに近くにあった杖を手に取るよ。

サイモン…いたなー。

タチキリ…お久しぶりです。(ナイフを構えたポーズのまま)

ソルビット…これはガチで戦闘態勢になるな。

ウォルロック…大丈夫大丈夫、まだ抜いてない。

GM…ソルビットやタチキリが完全な戦闘態勢を取り、中のフォモールメイジも杖を手に取ったあたりで、間にいるゴブリンが「ま、待つゴブ！ グライナもやめるゴブ！」と声を出す。(二同笑)

ウォルロック…挟まれてる位置だもんな(笑)。

GM…「やめるゴブ！」と両手を広げて止めてくるよ。

ウォルロック…大丈夫、流石にこの場でおつ始める気はないから。

(ナイフを構える)
なく。正しい反応。
迷い

フォモールメイジ こちら
も第一話クライマックスを
参照。推定彼女。

挟まれてる位置 外の冒険
者—玄関のゴブリン—家の
中のフォモールメイジ。こ
のまま戦闘になったらマズ
イ位置。

サイモン…貴様ら一体。

ソルビット…何者だ。

サイモン…何者かは知ってるけど。(一同笑)

GM…ワタワタしながら「こ、これはその……………説明させてほしいゴブ！」と。

サイモン…よからう。説明しろ！

GM…「ゴブの名前はホブル。彼女はグライナというゴブ。ゴブたちは一般的な妖魔ではなくて、邪神との関わりが無くなった種族、**ホブゴ布林**と**グライアイ**なんだゴブ。そのジェルボアさんと同じゴブね」と説明してきます。

タチキリ…なるほど。じゃあここで武器を取めよう。理解した。

GM…「もともと、ゴブとグライナは各地を旅していたんだゴブ。で、今から一ヶ月くらい前にこの辺りまで来たゴブが……………あの時のフォモールの隊長を覚えてるゴブ？」

ソルビット…あの……………**髪**の毛を筆られた…………。(一同笑)

サイモン…モートインさん？

GM…「そうゴブ。モートインと名乗ってたやつゴブ」

ウォルロツク…危うく叩つ斬られそうになったからな。

サイモン…奴は強敵だった。

タチキリ…髪**の毛**しか記憶に残ってない。(一同笑)

ホブゴ布林 フィルボルが原型の妖魔種族。『地の時代』に邪神信仰を捨てダナンの加護を得たゴ布林の末裔とされる。

グライアイ ヒューリンが原型の妖魔種族。『フォモールの王』が封印された時に自我が解き放たれ、邪神の下を去ったフォモールの末裔。グライアイの中には隠れ里で集団生活しているものもいると言われる。

髪**の毛**しか記憶に残ってない叩つ斬られて倒れたのはタチキリだったのだが。

GM「ホブルは言いにくそうにもごもしながら、「その……グライナが……モーティンに一目惚れしてしまつて……」と言つてくる。

ソルビット「まあ……元氣出せよ。（一同笑）

GM「そう言うのと、奥にいるグライナが恥ずかしそうな顔で、「だ、だつてあんながつしりした身体の人、私の里にはいなかったから……」と話してくる。「よくないとはわかつてたのよ？ でも好きになつちやつたのはしょうがなくつて。そばに居たくて……」

ウォルロック「おう（笑）。

サイモン「……まあ恋愛なら仕方ないな！（一同笑）

GM「ホブルが続けてくるよ。「それで、妖魔のフリをしてモーティンのところに行つたんだゴブ。ホブゴブリンとグライアイは妖魔の時と姿が対して変わらないゴブからね」

タチキリ「なるほど。おいらも人のことは言えないな。

サイモン「元々ホブゴブリンだったのか。

GM「その……悪かつたと思つてゐるゴブ。でも、グライナを止めることはできなくて……。

あ、でも人々にできるだけ迷惑がかからないように頑張つたゴブよ？ 村に來た時も食糧を取るだけで人に攻撃をしないように誘導したゴブ」

サイモン「ほほー。

GM「あの女の子が馬車に紛れてた時も、殺されないようにグライナが食糧と一緒に奥に

まあ恋愛なら仕方ないな！
話のわかる男（？）だ。

入れるようにしたんだゴブ。妖魔たちが忘れた頃にこっそり逃がせるようにゴブね」

ウォルロック…わざわざ別になつたのはそういうことか。

GM…グライナはそこで「そ、そうなの！ だからあの子を助けたのは私と言っても——」

サイモン…過言。(一同笑)

GM…(笑) という反応を見て、グライナも「……冗談です。その、本当に悪かったと思つてます……」と背中を丸めながら小さく頭を下げてきます。

サイモン…ま、過ぎた話はよい。

GM…ホブルが続けるよ。「その後、みんなが来てモーティンを倒して生き残つたゴブたちは逃げたんだゴブが……しばらく途方に暮れた後に空腹が限界になつてこの村に来たんだゴブ。罪悪感でいっぱいだったゴブが、村長さんに全部話したらこの村に居てもいいと言つてくれたんだゴブ。村のみんなも怒るところか快く迎えてくれて……それで今はここに住みながら村の手伝いをしてるんだゴブ」

ソルビット…おお、いい話だなー。

GM…「——というわけで、ゴブたちは敵じゃないゴブ！ わかつてくれたゴブか？」

ソルビット…バニツシュ！ (一同笑)

ウォルロック…とりあえず構わないけど(笑)。——とりあえず騎士の話を聞かないとな。

GM…「わかつてくれてよかったゴブ。あ、それで何の用ゴブ？ 勧誘はお断りゴブよ？」

過言 一刀両断。まっすぐ
に刺さるサイモンの言葉。

バニツシュ おなじみ「ソ
ード・ワールド」(グループ
SNE)に登場する神聖魔
法。不浄なるものとして蛮
族とアンデッドに悪影響を
与える。アリアンでは蛮族
と妖魔と考えると、妖魔種
族は「分類…妖魔」に変わ
らないで影響する。サイモ
ンも「分類…アンデッド」な
ので、この場にいる六人中
四人が対象になるかな？

サイモン…聞きたいことがある！ 少し前にこの辺で一人で行動している騎士らしき人を見かけなかったか？

GM…「騎士……？」 ああ、グライナが村長さんと一緒に見たやつゴブね」とホブル。グライナは「ああ、それなら覚えてるわよ。一人だし、足取りが変な感じだったから気になったのよね。少し人目を避ける雰囲気というか」と説明してくる。

サイモン…その騎士を追っているのだ。何か覚えていることはないか？

ウォルロック…背格好なり、見た目の特徴とか些細なことでもいいから。

GM…それを聞くと、「フィルボルの男だったわね。平均よりちよつと細めで丸顔な感じ。

……んー、でも説明が難しいわね。本人を見ればわかると思うけど」と言ってくるね。

サイモン…うーむ。……絵心は？

GM…「絵なんて描けないわよ！」とちよつと怒ってる。

タチキリ…フィルボルの男は今のところ一人しか該当しないな。締め上げるか。

サイモン…足取りがおかしかったというのは？

GM…そんな雰囲気を感じた、というだけね。実際には歩いてたのを見ただけなんだけど、旅をしてれば怪しい人を見る機会もあるから、同じような雰囲気を感じたのよ」

ウォルロック…挙動不審な人間に感じたよ。

タチキリ…依頼主は伏せてある程度のことは伝えるか。事件が終わってなさそうと。

絵心は？ 無い人には辛い言葉。

締め上げるか キルト逃げてー！

サイモン………というわけで、その騎士が怪しいと思ってるのだ。

GM…「んー、それならその騎士を実際に見たいわね。説明するのは難しい顔だわ」

ウォルロック…駐屯してる部隊に面通ししてみる？

ソルビット…いいんじゃないかな。

サイモン…とりあえず横に並べて顔面を精査していこう。(一同笑)

ソルビット…並べなくていいよ！ こっそり見てもらえばいいよ！ (笑)

サイモン…今ちょうど騎士団の一部が来てるのだ。ちよつと顔を見てくれないか。

GM…「え？ 村に騎士団が来てるの？ 本人がいればわかるかもしれないわね」と。

サイモン…陰ながらこっそりでいいので、該当する人物がいらないか調べてもらえないか。

GM…周りの村人に聞くと酒場に騎士団がいるみたいですわね。

タチキリ…サボりか。

GM…休憩中です。サボりじゃないです。

ウォルロック…これは食事休憩だから！

サイモン…これはちょうどいい。酒場に行くぞ！ ここは穀物が絶品なんだ。(一同笑)

タチキリ…一話(笑)。

横に並べて顔面を精査していこう。グライナによる顔面審査会……ホストクラブかな？

サボりか 働く人には休憩が必要なのです。

ここは穀物が絶品なんだ
酒場のおばちゃんが腕によりをかけて作った穀物がレスト村の名物なのだ。

▼ミドルフェイズ8 〵 怪しい騎士を探して 〵

第一話で逃した妖魔とまさかの再会を果たしたアフターグロー。ホブル、グライナと共に怪しい騎士を探しに酒場へ向かう。

GM…では、グライナとホブルと共に酒場を見に行くことになります。——酒場に行くと、七人の騎士団員がエール片手に、**穀物つまみに談笑してます。**（一同笑）
 ソルビット…穀物はつまむもんじゃないんだよな。ひもじい。

GM…騎士団員は見た目としてはヒューリンが三人、フィルボルが二人、ドウアン、エルダナーンが一人ずつの七人がいるね。

サイモン…普通に顔見れそうで？

GM…普通に見えるよ。中ではエール片手に談笑してるだけなので。

サイモン…グライナ殿、どうだろう。あそこのフィルボルの騎士二人は。

GM…「んー、そうね……」とグライナはよく見ると、「……あ、奥に座っている方のフィルボル、アレね。右目の下にホクロがあったのを思い出したわ」と言ってくる。

サイモン…ほほう、アレか。なるほど。

ソルビット………うん、もう帰っていいよ。（一同爆笑）

穀物つまみに トウモロコシとかならアリかな？

もう帰っていいよ
 の扱いが雑な一同。 NPC

タチキリ…マジか。おいらいらないと思つてたわ。なるほどねー。

サイモン…どうする？ ちよつといいかな、ポンポン、つてやる？

ソルビット…俺らのこと知らないし、普通に飯を食いに來たていで一緒に酒飲んで仲良くなつて話を聞か。

サイモン…コミュニケーションを取りに行くのである。やあやあやあ、騎士団の方々。

GM…中に入つて声をかけるとキミたちの方を見てくるよ。「ん？ なんだお前たちは」

サイモン…我輩たちは……。

タチキリ…この村でギルドを結成したアフターグローです。それ以上でも以下でもない。

よろしくお願いします。(一同笑)

ウォルロツク…完全に酔つ払いの妄言では(笑)。

GM…「お、おう。そうなのか」

サイモン…我輩たちはこの村を**“偶然”**通りかかった冒険者である。(一同笑)

GM…(笑) えーつと、挨拶すると「ああ、冒険者の人か。どうもどうも」と言ってくるね。

タチキリ…えつと、最近の妖魔の事件は落ち着いたと聞きましたが、ここの辺ではどうかと。ここの辺でも事件はあったので……**まあ我々が解決したんですけどね！**(一同笑)

GM…ヒューリンの一人が、「ああ、食糧強奪事件のことか。この村で起きたのは解決してくれた冒険者たちがいたとは聞いていたが、お前たちのことなのか」と。

それ以上でも以下でもない
その通りではあるが、ど
う返答すればいいのか。

“偶然”
しました。 大事なので強調

我々が解決したんですけど
ね！ 下手に出たと思わせ
てからの渾身のドヤ顔。

ウォルロック…その後はこの近辺で被害とかは無いのか？

GM…「特に大きなことは起こってないよ」

ウォルロック…そりゃよかった。

タチキリ…わざわざ騎士団がいるってことは何かあったのかと思って声をかけたんですが。
GM…そう聞くとドウアンの男が返答してくる。「ああ、そういうわけじゃない。俺たちはもともとこの辺りの妖魔たちの調査が担当だから。戦うこともあるが、基本は調査だから何かあったから動くわけじゃない。今日ここにいるのも通常の警備ルートの一つだよ」
サイモン…一人で来ることもあるんですか？　みたいなカマかけするか。

GM…それを聞くとフィルボルの一人が「いや、一人で動くことなんてないよ」と言うね。

サイモン…おや、そうなのであるか？　でも、村長がこの辺で一人でいた騎士団の方を見たと言っていたが。

GM…騎士団員たちは顔を見合わせますね。「ん？　そんなはずは無いけどなあ。ここらで最近活動しているのは俺たちだけのはずだし、一人で出かけることなんて無いはずだよ？」

「誰かを見間違えたんじゃないか？」

ウォルロック…それならいいんだけどな。

サイモン…右目の下のホクロがあるフィルボルドって言っちゃおうか。

ソルビット…いいんじゃない？

サイモン…右目の下にホクロのあるフィルボルの方だと言っていたが……おやあ？

タチキリ…一人のフィルボルを下から見上げるように見つめる。

GM…フィルボル背低いから（笑）。

ソルビット…（ものすごい腰を低くして）あれれー？ おかしいぞー？（一同笑）

ウォルロック…這いつくばってるくらいの状態になってる（笑）。

GM…（笑）えーっと、右目の下にホクロがあつた話をする、フィルボルの一人——グライナが示したやつだね。騎士団員もそいつに「うん？」と目を向ける。「ジャン、何か一人で出かけてたのか？」と聞いてますね。

ソルビット…ジャン！

GM…ジャンと呼ばれたフィルボルは「いやいや、そんなことしてないですよ！」と言つてきます。「だいたい、いつも一緒にいたじゃないですか！」とも。周りの団員も「確かに分かれて行動した記憶も無いなあ」と言ってるね。

タチキリ…え、怖。ドッペルゲンガー。

サイモン…そういう魔物もいなくはないけど。

ウォルロック…めっちゃ高レベルやん。

GM…「何かの間違いじゃないですか？」とジャン。「だいたい、ホクロがあるフィルボルなんてまだまだ他にもいますよ」

おやあ？ 急にニタニタし始める一同。ホー！

（ものすごい腰を低くして）わざわざ無茶な姿勢になつてまで見上げる。やっぱりホー！

ドッペルゲンガー ちなみに「エネミーガイド」に記載のドッペルゲンガーはレベル37の上位魔族。どう考えても勝てない。

ウォルロック…この近辺で見かける騎士団の格好をしたフィルボルで？ たくさん？

GM…「そりゃ、騎士団に限れば少ないでしょうけど……本当に騎士団だったかも分からないんじゃないですか？」

タチキリ…村長を疑うのか！（一同笑）

GM…「そ、そういうわけではないですけども」と発言を取り繕う感じで。「なににせよ、僕は何も知らないですよ」とジャンは言ってくるよ。他の騎士団員も「俺たちもよくわからないなあ」とのこと。

サイモン…お主らはずっと一緒に活動してるのであるか？ 同じ部隊の方なので？

GM…「ああ、もちろんだ。シグル隊長の部下でな。基本的にはこの七人でチームを組んで、この東側一帯を見回っている」

タチキリ…七人で東側は大変ですね。広いでしょうに。

GM…「そりゃもちろんだ。だからこそ俺たち騎士団員だけじゃ見れないところは色んな人たちと協力してやつてるしな」とドウアンの騎士。

サイモン…ウソ言ってるかを見抜くとかってできるつけ？

GM…できるよ。【精神】で対決判定だね。

サイモン…これって、それ（ウソを見抜くこと）を試みてることは相手にわかる？

GM…あー……まあ怪しげな顔で見たことくらいはわかるかもね。それくらい。

たくさん？ だんだん怖い
お兄さんに尋問されてる気
分になつてきた。

村長を疑うのか！ 謎の責
められ方。

ウォルロック…まあ、さっきまでの発言の時点でそれなりの目で見てる気はする(笑)。

GM…別に魔法をかけたりするわけじゃないから探知されたりとかはしないよ。ただ、じーつと見てれば「なんすか?」くらいにはなるだろうね。

サイモン…じゃあ……鎧が見てる。(一同笑) ジャンの「知らないっすよ」という発言に對してウソかどうかを。

GM…それじゃあ【精神】で対決しよう。

サイモン…鎧の奥の目が赤く光るぜ! (一同笑)

ウォルロック…怖いわ! (笑)

サイモン…(ダイスを振る) 達成値18。

GM…高いな。ジャンは……(ダイスを振る) 達成値11。負けた。

サイモン…サイモンアイ!

GM…ジャンは「な、なんすか?」という顔をしてるけど、その様子が何かウソを吐いている、隠し事をしているように感じることができね。どんなウソかはわからないけど。

サイモン…なるほどー。——おやジャン殿、何を隠しているのです?

ソルビット…ドストレート(笑)。

サイモン…謙遜せずとも良い。一人でこの周辺を守っていたのでしょうか?

GM…「はあ? 何言ってるんですか。そんなことしてませんよ!」とジャンは対抗。

それなりの目で見てる気はする。というか、最初に腰をかがめて下から見上げた時点で十分危ない人。

魔法をかけたりするわけじゃない。グリーブSNEの『ソード・ワールド』では相手の敵意や信仰を調べる魔法がある。それらは行使すると相手に察知され、調べたことがバレるようになった。直前のサイモンの発言はこれを気にしたのでろう。

サイモンアイ! その赤い目に見つめられた者は精神の全てを暴かれるという。…レムレスならアリか?

何を隠しているのです?

実際隠し事をしてると、こう真つ直ぐ聞かれるのが一番動揺する。…いや、隠し事なんてないよ?

サイモン……まあ、ぶっちゃけここで解き明かすのは結構厳しいのである。

タチキリ…(騎士団員になって)「てめえ、俺たちの仲間を疑おうつてのか!? ふてえ野郎だ! 叩つ斬つてやる!」

GM…そこまでは言わないけど、そんな雰囲気にはなり始めてるね。「なんだなんだ?」と、警戒する雰囲気に変わり始めました。

タチキリ…そりやそうだよなー。

サイモン…じゃあこの辺にしとくか。他に何かあるか?

ウォルロツク…突っ込める要素と言ってもなー。あんまり突っ込みすぎた内容もまずいし。

ソルビット…うん。

サイモン…ま、ジャンが怪しいということさえ分かればあとはシグル隊長とかに話を通せば。それじゃあ——おっと、失礼失礼。こちらの勘違いであつた。

GM…騎士団員たちは訝しげな目をしてましたが、エールの方に視線を戻します。

* * *

GM…というわけで外に出たところです。どうしますか?

ソルビット…グライナを連れて見たつて場所まで行つてみるか。場所覚えていれば。

グライナに騎士を見かけた場所まで案内してもらったが、そこは平原が広がるだけ。何をしてたか聞いても「うーん、北の方に歩いて行っていたとしか」という回答だった。

タチキリ…変なことを聞いたな。難しすぎない？

サイモン…とりあえず収穫はあったし、もういいかな。

GM…ここでホブルが聞いてくる。「みんなは食糧強奪事件について調べているゴブか？」
一同…その通り。

GM…「ゴブたちも二週間前には一度この村の食料を襲ってしまったゴブし、ぜひ解決してほしいゴブ」と言ってくるね。グライナも「こんなこと言える立場じゃないけど……私たちも人々の助けになりたいの。何か他に手助けできることがあったら言ってね」とのこと。

サイモン…お前たちは何のために食料を集めてたのかは知らないのか？

GM…それを聞くとホブルが、「んー、詳しいことはよく知らんゴブね。ただ、村を襲う三日前からいに全身ローブで顔を隠したやつがああのアジトに来たんだゴブ。身長は低かったゴブね。フィルボルくらいだゴブ」と話してくるよ。

サイモン…怪しい。

GM…「モーティンはそいつから紙を受け取ったんだゴブ。その紙にこの村に食料が運ばれてくることが書かれてたゴブよ」

タチキリ…モーティンに髪の話をするんじゃない！（一同笑）

GM…その髪じゃない（笑）。「モーティンはその紙を見てこの村を襲う計画を立てたゴブ。集めた食料で強くなるとか何とか言ってたゴブが、目的はよく知らんゴブ」

サイモン…なるほど。やはり妖魔に情報を渡しているやつがいるのは間違いないようだ。

GM…「……あ、確かその紙まだ持つてるゴブよ」

サイモン…見せるんだー！

ソルビット…何でそれ最初に言わないの。

GM…そんなこと聞かなかったもの。

ソルビット…聞かれなくても出すものでしょー!?（一同笑）

ウォルロツク…とりあえずそいつを出してくれ！（笑）

GM…「それじゃあ家に戻るゴブ」と言つて家に戻り、ホブルはゴチャゴチャした棚を探し始める。すると、クシヤクシヤになつた紙を出してくるよ。「これゴブ」

ソルビット…名前が書いてたりとかは？

GM…無いね。広げると確かに村への食料の輸送予定が書かれています。

タチキリ…筆跡鑑定！……このゲームには無いか。

サイモン…そもそもジャンの筆跡分からないし。

ウォルロツク…比べようが無い。

髪の話 リブレイの紙面上だと一目瞭然なのに、同音異義語って難しい。

聞かれなくても出すものでしょー!? そこまで気の利く男ではないのだ。

このゲームには無いか 他のゲームでも筆跡鑑定はそう無いのでは。

GM…紙を見ると、あまり街中では見ない上質な紙だとわかる。それと紙の四方があちこち破られているね。周囲が破られて真ん中だけになつてゐる感じ。「この予定を見て、モーティンはあの日に村を襲うと決めたゴブよ。必要ならあげるゴブよ？」

サイモン…うむ、もらつておこう。

ウォルロック…四方が破り取られてゐるねえ。

サイモン…これは四方に紋章とかが入つてゐるに違いない。

ソルビット…だろうね。

サイモン…とりあえずこれをゲットして帰るとしますか。

GM…「もういいゴブか？ ……あの時は本当に悪かったゴブ。もしあの時の女の子に会うことがあつたら謝つておいてほしいゴブ」

タチキリ…気を付けて。むしろ会わないほうがいいかな。

ソルビット…お前一人じゃワンパンで倒されちゃうかもしれない。(一同笑)

サイモン…彼女はたくましく成長している。心配は無用だ。

タチキリ…この鎧に貫通ダメージ8点与えるくらい成長している。

GM…「そ、そんなゴブか!？」とだいぶ驚いてゐる(笑)。

サイモン…このセッションで最初の戦闘だからな。

GM…ダメージがあつただけで戦闘ではない(笑)。——ではグランフェルデンへ戻ろう。

ワンパン 一発の攻撃のこと。ミカはそんなことしな
いよ？

▼ミドルフェイズ9 〽 続く調査 〽

レスト村でジャンのこと、妖魔へ流れた紙など、多くの手がかりを得た一行。真相に近付くため、シグルとグランのところに報告と確認へ向かう。

GM…では馬車でグランフェルデンへ戻り、翌日の朝に到着しました。どこに行きますか？
サイモン…とりあえずシグルさんに会いに行くか。紙を調べてもらうのはグランさんかもしれないけど。

GM…じゃあ警護騎士団の本部へ。衛兵もすぐにシグルのところへ通してくれます。「アフターグロウのみな、よく来てくれた。何かわかったかい？」とシグルが聞いてくるよ。

サイモン…実は、前回話にあつた一人で行動していた騎士のことなんだが、どうやらジャンという人物が人相が一致するそうなのだ。

GM…すると驚いた顔で「ジャンが？ まさか……」と言ってくる。

サイモン…まだ確定したわけではないが、ジャンについて教えてくれないだろうか。

GM…「ジャンは腕利きのシーフだ。隠密行動は彼の得意とするところではある」

サイモン…ほほー。これは役満くらい来てますな。

ソルビット…いやー、まだ三倍満くらいじゃない？（一同笑）

役満 麻雀の点数基準の一つ。一般的には最大点数が得られる。国士無双や大三元が有名な役。一度は上がつてみたい。

三倍満 麻雀の点数基準の一つ。満貫の三倍という意味。役満は四倍満と同義なので、役満よりは低いということ。

GM…「ジャンであればいろいろなことができるのは確かだろう」

ソルビット…この街の出身なのかな？

GM…「ああ、そうだと聞いているよ」

サイモン…フルネームは？

GM…それは考えてな……ああ、付けてた。ジャン・フォートです。「……見かけただけでは証拠にはならないか。だが、彼の行動を監視する必要があるな。こちらでも注意はするが、キミたちも独自に調査を頼む」とシグルは言ってくるね。

ウォルロック…それと、さっきの四方を破った紙についてを。

サイモン…あ、騎士団についてまだ聞きたいのだ。彼ら7人は常に一緒に行動していると
言っていたが、それは間違い無いだろうか？

GM…「基本的にはそうだよ。部隊の活動の中で何組かに分かれることはあるが、それでも一人で行動することはないはずだ。——それと、彼らもこの後は一度本部に戻ってくるはずになっている。今日の昼くらいには戻ってくるはずだ」とのこと。

ソルビット…なるほど。……じゃあ紙を。

サイモン…スッ。これを見て欲しい。

ウォルロック…前回の襲撃にあたって妖魔側に情報をリークしたっていう人間が持ってきた紙らしい。

GM…それを渡すと「これか」と言いながら注意深く見えます。「……確かに食料の予定が書かれているね。それと、この上質な紙はおそらく貴族階級で使われている紙だろう」

サイモン…四方が破られているのは何かあるのだろうか？

GM…「貴族たちは自分たちの紙に紋様を付けていることが多いから、それを破りとつたのかもしれない。僕ではどこのものかはわからないが、もしかしたら父上であれば書簡等をよく見てから何か分かるかもしれない。一度父上に見せたらどうだろうか？」

サイモン…では、ジャンが戻る前に一度グラン殿のところに行くとするか。

ウォルロック…紙のことを確認しに行こう。

* * *

GM…グランのところに戻るといつも通り通してくれます。今日は来客とでもないね。

サイモン…「グラン殿ー！ 聞きたいことがあるー！ スカズカズカ！ バーン！」

タチキリ…執事を通せ！（一同笑）

GM…「おお、アフターグローのみなか。何かわかったのか？」とグランも前のめりに聞いてきてくれるよ。

タチキリ…こいつを見てもらおう。

バーン！
サイモンはいつも
も一直線。
覚えてない。
なかなか礼儀は

ソルビット…こいつを見てくれ。どう思う？

タチキリ…(グランになつて)「……紙だねえ」(一同爆笑)

サイモン…そう、紙だ！ 妖魔への情報のリークに使われていた紙を入手したのだ。スッ。

GM…「何、本当か!?」と言いながら渡された紙を見えます。それを見るとグランは「確かに村への食料輸送について書かれているな。それに……」と少し考えた顔をして……やがて顔を上げてキミたちの方に言ってくる。「——この紙はフェルモード家のものだ」

ソルビット…すげえ。よくわかるな！

タチキリ…どうしてわかった。

ウォルロック…前回怒鳴り込んできたデブ——ゲフン。(一同笑) もとい恰幅の良いヒューリンの男性がフェルモード家の人だったな？

GM…「ああ、先日の彼のところだな。まずこの紙は主に貴族階級以上で使われている上質な紙だ。そして、ほとんど破られているが……右下に少しだけ虎の意匠が残っている」

ソルビット…あら。もうちよつとよく見ておくべきだったか。

サイモン…お粗末！

GM…いや、かなり微妙な残り方で知らない人には気付きようの無いレベル。虎の耳みたいなところがちよつと残つてるとか、元を普段から見てるからわかる。

タチキリ…家紋オタクかよ！

「……紙だねえ」 単にどう思う、と聞かれたらこういう返答になるね。

ゲフン ウォルロックも思つたより敵対心高め。

家紋オタクかよー 日常的に見てるから覚えてるだけです。

サイモン…元の形を知っていると、もしかして？ くらいか。

GM…「まさかフェルモード家から情報が？ しかし……」とグランは考え込みます。

サイモン…フェルモードさんもだんだん怪しくなってきたな。……いや、最初から怪しかったけど。（一同笑）

ウォルロック…だいぶグレーだったね（笑）。

GM…情報をありがとう。ただ、これだけでフェルモード家を犯人と決めることはできません。

この紙自体はフェルモード家に関わっていれば手に入れることはできる」とグラン。内外とやり取りする紙だから、やり取りさえあれば手に入れるのは容易だろうね。

サイモン…ミスリードの可能性が。

GM…「だが怪しいのは確かだ。少しフェルモード家にも探りを入れてほしい。ただ、あまり話を聞いてくれることは期待できないが……」

サイモン…そうなんだよな。事情を隠しながらあの人と話すのすごいしんどそうだなぞ。

ソルビット…——カチコミを入れよう！ 潰そう！（一同笑）

タチキリ…気に入らないから選択肢としてないわけではないが。

サイモン…昼にはジャンたちも戻ってくると言ってたけどどうするか。

GM…ちなみにジャンたちは戻ってきた後、すぐに出発する予定はないことも聞いてます。

タチキリ…シグルさんの部隊の中の一人が怪しいことはグランに伝えておこう。

最初から怪しかったけど
悪役的登場だったフェル
モード。ミスリードか否か
が問題だ。

潰そう！ 慎重派かと思え
ばすぐに荒事に（以下略）

サイモン…三倍満程度には怪しい。(一同笑)

GM…「そうかわかった。もちろんレーヴェン家に関わっている者だからといって怪しいことはない。怪しいところは全て調べてもらって構わない」と言ってくるね。

サイモン…フェルモード家を問い詰めるにしてもどうするかだな。難しいのである。

ここで次の一手に悩むアフターグロウ。警護騎士団と関わりのあるコロナド家や魔法陣のことが聞ける可能性で錬金術に詳しいシルベリア家に行くことも考えるが、どうにも決めに欠けて二の足を踏んでしまう。しばし相談が続くが……。

GM………さて、どうしますか？ このシナリオ、情報収集だからどんどん色んなところに出かけて話をしていっていいですよ。

ソルビット…——キルトに会いに行こう。俺たちの事情を明かして話を聞こう。

タチキリ…素性も必要があれば伝えていって言われたしね。

サイモン…じゃあ、デンシウス家に突っ込んで、後はそのまま流れで適当に話すか。

ソルビット…それで。

ウォルロック…強く当たって、後は流れで。

三倍満程度には怪しい
サイモン覚えた！

▼ミドルフェイズ10　　ゝ　信じて話す、まずはそこから　　ゝ

様々な手がかりを得たものの、黒幕を捕まえるには決め手に欠けることばかり。迷った末に、アフターグローは貴族の一人であるキルトに事情を明かし、話を聞くことに。果たしてキルトは助けになってくれるのか、デンシウス家に向かう一行の命運は――？

タチキリ……そうだ、次男坊がいなければ直接通してくれるかもしれない！

ソルビット…それだ！

GM…というわけで高級住宅街の中、デンシウス家の前に来ました。屋敷の前には前も見
たファイルボルの女性が掃除をしていますが……その横にはキルトもいます。（一同笑）

ウォルロツク…はい、こんにちはー（笑）。

サイモン…また会ったなお嬢さん。うおーキルト殿ー。ガシャンガシャン。

GM…キミたちに気付くね。「おや、アフターグローじゃないか。また何か用かい？」

タチキリ…はー、会ってしまったか、みたいな顔をちよつとする。（一同笑）

サイモン…あれから色々と考えた結果……正直に話そうと思う！（一同爆笑）

ソルビット…潔い（笑）。

ウォルロツク…ま、変に誤魔化すくらいならブチまけた方が信じてもらえそうな気はする。

次男坊がいなければゝ
の次男坊に話を聞きたいん
じやなかったのか。

その横にはキルトもいます
手っ取り早く会えまし
た。

会ってしまったか　だから
会いに来たんじゃ（以下略）
正直に話そうと思う！　真
っ直ぐな気持ちの人が人を動か
す時もきつとある。

タチキリ…一瞬、何言っただこいつみたいな顔を。

GM…キルトは若干面喰らった顔をしますが……なんとなく察した雰囲気で「……ああ、まあわかったよ。ここで話すとあれだからちよつと離れるかい？」と言ってくるよ。

サイモン…うむ、そうしよう！

タチキリ…お願いします。マジで聞かれないし。お前は何を言ってるんだとサイモンにウサギキック。

サイモン…ええー。

GM…キルトは使用人に「じゃあガーナ。僕はアフターグローと少し出かけてくるよ」と声をかけて少し離れたところに移動します。

* * *

GM…少し離れたところに来ました。「で、何を話してくれるんだい？」と聞いてきます。
サイモン…うむ、実は我々が受けている依頼だが……。

アフターグローは食糧強奪事件で妖魔への情報漏洩が疑われること、それに貴族が関わっていることなどを正直に話す。それらを調べていることを聞いたキルトは――。

GM…キルトはまたサイモンの方をジッと見つめてくるけど、「……今度は隠している様子は見られないね」と言ってくる。「事情は理解したよ。それで、親父に会うのは構わないが何を聞きたいんだい？」と聞いてきます。

サイモン…それなんですよ。（一同爆笑）

ソルビット…さすがに草生える（笑）。

タチキリ…思っても言っちゃダメだろ（笑）。

サイモン…言つてない言つてない。あくまでプレイヤー発言。

ウォルロック…どこまで突っ込むか。

タチキリ…まあ、商人と貴族がどこまで関わっているかを聞きたいな。デンシウス家以外に直接関わっていいそうなおところがあるかを聞きたいのが一つかな。

GM…「ふむ、そういうことかい。商人についてはうちのデンシウス家以外に関わっている貴族は大してないだろうね」とキルト。「じゃあ、その商人たちのことを聞きたいということではないかな？」

サイモン…うむ。今はとにかく情報が欲しい。

GM…「わかった。それならキミたちを親父に会わせてあげるよ。付いて来てくれ」と言つて屋敷の方に戻ります。

それなんですよ その通り
だけど、そう言われても困
ります。

* * *

GM…屋敷に入って歩いて歩いていくと、少し大きなドアの前で立ち止まります。キルトは中に「親父。来客を案内して来た。入るよ」と声をかけたら遠慮なくドアを開けます。

その部屋は様々な書類が仕舞われた棚が並ぶ、整えられた仕事部屋だった。手前には来客用と思しき椅子や机、奥には大きな事務机がある。——そして、事務机には落ち着いた雰囲気で見目な印象を受けるフィルボルの男性が座っていた。

「——キルト、部屋に入る時にはノックをしろと言ってるだろう」

GM…キルトは「別に親子なんだからいいだろう？ それより来客を連れて来たよ。彼らは僕の知り合いでね。冒険者ギルド、アフターグローの連中だよ」と説明する。

ソルビット…知ってるだろう？（一同笑）

サイモン…知らないでしょ（笑）。絶賛売り出し中。

ウォルロック…どうも初めまして。

GM…男性の方はキミたちの方をチラッと見た後に、キルトに目を戻して「言い方考えろ。どんな間柄であつてもゲストの前で失礼な態度は慎め」とキルトをたしなめてきます。

知ってるだろう？ 謎の自信だが、あまり知られてないから今回の依頼を頼まれているのだ。

ソルビット…おお、素晴らしい。

GM…そしてキミたちの方を向き、「見苦しいところを見せた。私はここの家長を務めるフォルバ・デンシウスだ。アフターグロウと言ったか。何の御用だろうか？」と聞いてくる。

サイモン…どうしよう。この人相手には喋っちゃってもいいのか？

タチキリ…まあ子どもに知られれば筒抜けになるだろうし。**実例はあるし。**

ソルビット…いいんじゃない？

サイモン…じゃあ……いきなりの訪問で申し訳ないが他言無用でお願いしたいのだが――。

GM…そうするとキルトが後ろから「おい、いきなりか？」と聞いてくるよ。

サイモン…交渉術が無いのだ。

ソルビット…え、だつてキミどうせ言うでしょ？

GM…「言うわけがないだろう」とキルト。

タチキリ…おや。あれ、という顔を。

GM…「そりやそうだ。こんな問題、気軽に口に出したら大問題になりかねない。これですったことがただの濡れ衣だつたら、街から追い出されてもおかしくない話だぞ」

ソルビット…じゃあやめておこう。プランBで。

サイモン…今のはカットで。当初の予定通りのことを聞こう。……………それじゃあ、さっ

き言つてた感じの質問をしてください。(一同爆笑)

実例はあるし シングルがク
シヤミをする音が聞こえて
きた。

交渉術が無いのだ 真っ直
ぐな気持ちの人が動かすこ
ともあるけど、もう少し考
えてくれたら大丈夫です。

さっき言つてた感じの質問
をしてください 丸投げ質
問法。GMも思わず笑う。

ソルビット…雑！（笑）

タチキリ…覚えてないけど！ おいからも思い付きで喋ってるから覚えてないけど。

ソルビット…えーつと、実は神殿からの依頼で食糧強奪事件について調べているのです。

GM…「ふむ、だいたい被害は減っていると聞いているがね。まだ問題になる程続いているのか？」と逆に聞いてくるね。

ソルビット…ご存知ない？

サイモン…元を断たねば安心できぬということですね。

GM…「妖魔の襲撃というのは今に始まったことじゃない。どこの地方、どこに行ってもそんなことは起きている。確かにここしばらく被害が多かったことは確認しているが、また最近被害は元に戻っていると聞き及んでいる」

サイモン……貴族関連じゃなくても（情報が）漏れてるっぽいことは言ってもいいよね。

ソルビット…それはいいでしょ。貴族のことは伏せて。

タチキリ…さっきの紙は見せてもいいか？

ウォルロック…それはまだ伏せておいていいと思う。

サイモン…最近発生していた食料強奪事件であるが、どうも食料の輸送ルートが妖魔側にバレてるようですね。それがどこから漏れているのかを調べているのである。

GM…すると、フォルバも厳しめな目つきになって「……ほう、そうなのか？」と。

おいからも思い付きで喋ってるから覚えてない。いつばい喋っているとよくあることではある。

サイモン…あまりグランフェルデンの民を疑いたくはないのだが……商人たちの中で何か怪しい動きはなかっただろうか。

GM…幾分訝しげな目で見てきますが、答えてはくれます。

フォルバの回答を概説すると次のようなものだった。

- 豪商の家系であるデンシウス家では、国から一定の権限を任せられてグランフェルデンの商人の管理や監督を行なっている。
- 商人たちの円滑かつ公平な商いを守るために販売実績や輸出入の実績について監督しており、これによって不当な廉売や違法な品の売買を禁じている。
- 特に輸出入の管理は重要視しており、どこから運んでくるか、どこに運び出すかについては申請書類で厳重な管理をしている。また、書類上の確認だけでなく実際の出入りでは門の警護騎士団の協力の下で申請の物が輸出・輸入されるのか確認している。
- これらの中で特別怪しい商人がいるとの報告は受けておらず、ここ最近で怪しい申請等は一切無い。

サイモン…ふーむ。そうであるか。

ソルビット…ルートを変えたりしてたことは知らなかったということでは？

GM「そもそも私たちはどのルートで運ばれるかは管理していない。こちらで確認しているのはどの品がどこに届くか、というだけだ。」

タチキリ「マップある？ この街の出入り口っていくつある？」

GM「四つあるね。北東、北西、南西、南東。」

タチキリ「……うーん、聞き辛いなー。なまじ知ってるだけ、そういうことを外部のお願いたちが聞くのもちよつとアレだけど……次に食料が出入りする場所って聞ける？」

GM「それを聞くとフォルバは厳しい目でタチキリを見ながら、「商売にとつて情報は命だ。そんなことを軽々と教えることはできぬよ」と言ってくる。」

タチキリ「まあ、それはもちろん当然のこと……申し訳ありません。」

GM「私たちが管理しているのは、グランフェルデン内外での輸出入の物の管理だ。食料が来るのか、宝飾類が来るのか、それらを申請書類で確認し、さらに実際に警護騎士団が門での確認も行なう。申請そのものは我がデンシウス家で受け取り、その情報を門の警護騎士団に伝え、その情報をもとに衛兵たちに実際の確認をお願いしている」

タチキリ「……やっぱり警護騎士団か。」

サイモン「煮詰まってきたな。」

ウォルロック「突っ込んで聞ける内容がこの場であるかと言うとちよつとなー。」

サイモン「関係性自体は今わかってる情報だけでも完結はしてるからな。」

次食料が出入りする場所って聞ける？ 前回のよう
に食料を運ぶ商人が襲わ
れるところに出食わせ
ればと考へての質問だ
った。商人を大事にする
タチキリ。

タチキリ…あのデブが怪しい。

サイモン…デブが怪しくてジャンが怪しい。ミスリードかもしれないけど、特にとつかかりは出てこないしな。

GM…それならそれを調べればいいのさ。真っ直ぐに。

ウォルロツク…それじゃあ、すいません失礼しました、かな。

ソルビット…貴重な時間をありがとうございました。

GM…フォルバは「そうか。すまないが仕事があるので私もすぐに失礼させてもらうよ」と言い、キミたちはキルトと共に部屋を出ることになります。

* * *

GM…外に出てちよつと歩くとキルトが話しかけてくる。少し真面目な顔付きだ。「……僕は子爵の次男で大した力はない。それでもグランフェルデンの貴族の一人で生まれた責務は果たすつもりだ。もしキミたちが言っていたこと——貴族が妖魔に情報を流していることが本当なら許されることじゃない。……だから、少しは協力させてもらおうよ。何か助けが必要なら連絡してくれ。多少のことならできるはずさ」

ソルビット&ウォルロツク…ありがとう。

サイモン…有事には頼らせてもらう。

GM…で、そう言い終わるとまたヘラつとした顔に戻り、「ま、そういうことでまずは頑張ってくれよ？ それじゃ、用が終わったなら帰った帰った」と言い、キミたちは追い出されるように屋敷を出ることになります。

サイモン…どうしますかねー。

GM…外に出ると、「ああ、何か親父に聞けないような内容があれば僕に聞いてくれてもいいよ。全部はわからないけど、分かることもあるだろうからね」と言ってくるよ。

ソルビット…こっちに聞いた方が早いのでは。

サイモン…こっちに聞いてしまった方が早い説。あると思います。

タチキリ…こっちに通した方が吊し上げられる心配だけはない気がする。

サイモン…じゃあ、どうしよう。何かあるか？ 今すぐはないか？

ソルビット…——フェルモード家の当主さんはなんであんなに軍拡にこだわってるんだ？

あそこまで。異常に。

GM…それをキルトに聞くと？

ソルビット…聞いてみたい。この間かくかくしかじかと。

GM…「それについては僕に聞かれてもわからないなあ」と言ってくるね。

ソルビット…わからないかー。

こっちに聞いた方が早いのは
気付いてしまった。

GM…「……そういうことならミゼルに聞けばいいんじゃないか？」

ソルビット…「……ミゼルって誰だっけ。(一同笑)」

GM…クラフトワークスのリーダーだよ！(笑)

サイモン…ミゼル殿がフェルモード家と何か関わっているのか？

GM…「それなら、ミゼルに会いに行ってみるかい？」とニヤニヤしながら言ってきます。

タチキリ…こいつ(笑)。

ソルビット…「——せっかくだし行くか！ ストッパーもいてくれるし！

ウォルロツク…果たしてストッパーなのか(笑)。

サイモン…久しぶりに挨拶しに行くか！

GM…では、シーンを変えて移動しよう。

ソルビット…いま、会いにゆきます。

ミゼルって誰だっけ
リーダー
ミゼルなのに覚えてもらえて
なかった。しょんぼり。

▼ミドルフェイズ11　ミゼルの正体　↓

「そういうことならミゼルに聞けばいいんじゃないか？」

キルトの提案に、一行は少し不安を感じながらも、キルトと共にミゼルに会いに行くことにする。フェルモード家のことを知るのに何故ミゼルなのか？　——すぐに明らかとなるその理由は、予想を超えた事実だった。

GM…キルトと共に移動すると……高級住宅街の中心、中でも一際大きな屋敷に着いた。

ソルビット…やばい予感しかない。

GM…とても豪華な意匠が施された門構えに衛兵のような人も立っているね。

タチキリ…その門構えのところに虎の紋様とか見えたりしない？

GM…ちよつと見える気がしますねー。

一同…なるほどー（笑）。

サイモン…なかなか立派な屋敷に住んでるんだなー。

ソルビット…いい家だなー。で、なんでここに来たの？

GM…「まあまあ、見てなつて」と言いながら前の衛兵に声をかけます。「ちよつと待つてな」とキミたちに言つて少し待つと……門の奥から一人の若者が出てくる。ミゼルだ。

やばい予感しかない
な予感は当たるのが常。

ウォルロック…はい（笑）。

タチキリ…はー。（深いため息）

GM…衛兵は敬礼して見送るね。ミゼルは門を出たところでキミたちに気が付いて声をかけてくる。「キルトに呼ばれて来てみれば……お前たち、こんなところで何をしている」

ソルビット…こっちが聞きたいわ！（一同笑）

タチキリ…本気で頭を抱える。

ソルビット…なんでこんな豪華な家から出て来てるんだ？ 雇われてるの？

GM…「俺はミゼル・フェルモード。ここフェルモード家の長男だ」（一同爆笑）

ウォルロック…長男だったー!?

ソルビット…またまたー、そういうのいいから。で、どうしたの？ なんでここにいろの？

GM…「何度も言わせないでほしいな」と睨んできます。

タチキリ…え、冗談でしょ？

ソルビット…ちよつとキルトの方に、え、マジで？ という顔を。

GM…キルトは声は出さないようにめちゃくちゃ笑ってるけど、「ああ、何もウソはついてないよ」と言ってくるよ。

ソルビット…あ、これマジなやつだ。

タチキリ…冗談でしょ。なんで長男が冒険者なんてやってるの。

こっちが聞きたいわ！
そ
ちちから訪ねてきたのに。

長男だったー!？ 最初の方
で散々「長男で冒険者はや
ばい」と言われたのでちよ
つとドキドキしてたGM。

サイモン…ミゼル殿、貴族だったのか！

GM…「何か話があるならここじゃやりにくい。場所を変えるぞ」

ウォルロック…まあ門前でする話じゃないな。

* * *

GM…というわけで、少し離れた広場へやってきました。「――で？ 何か用なのか？」

サイモン…話はいっぱいあるが、めっちゃ話し辛い。

タチキリ…とても疲れたような顔をしてる。こいつ苦手なんだよなー、みたいな顔。

GM…キルトは後ろでまだ笑ってます。「ふふふ（笑）」

サイモン…どうするか。せつかくの機会だから何かしら色々話したいところだが。

ウォルロック…どこから話したのか。

ソルビット…使えるってこいつは。長男だから。

タチキリ…でも、お前んち怪しいんだけど、って言ったらぶった斬られてもおかしくない。

ウォルロック…まだ関係者くらいだから。暫定。

タチキリ…お前の父ちゃんム力つくんだけど。

サイモン…それはある。

ふふふ（笑） だいたいGM
の心の中もこんな感じ。

お前の父ちゃんム力つく
んだけど、それはそれで斬ら
れかねないか？

それはある ギルマスもだ
った。アフターグロウの統
一見解。

ソルビット…とりあえずこの間の調査の続きをしているって話から始めよう。

サイモン…食料強奪事件について神殿から引き続き依頼を受けて調査をしているのだ。

GM…「ふむ、そうなのか。——それで、なんだ？」

サイモン…ミゼル殿たちも前回は同じ依頼を受けていただろう？ 何か知らないか？

タチキリ…あれから何か別の依頼とかは無かった？ おいらたちが見落としてた依頼とか、

今度はそっちが先に取っちゃった依頼とかもあるかもしれないしね。

GM…それを聞くと「いや、特にそういった関連の依頼は受けていない」と言ってきます。

「そもそもクラフトワークスとして依頼を受けた数もそんなに多くはないしな」

サイモン……そうだ、まずそれを聞いておきたかったのだが。なぜ貴族の長男であるミ

ゼル殿がギルドとして冒険者の活動をしているのだ？

GM…ミゼルは少し黙った後、「……色んな事情があるんだ。俺がやりたいと思っているか

らやっている」と言ってくる。

タチキリ…趣味か。

ウォルロック…地元愛が強いなー。

サイモン…うーん、どうしようかなー。

GM…——そういう話をしていると、キルトが後ろからミゼルに声をかけます。「ま、要す

るにこいつらは貴族のことを黒幕だと疑っているという話さ」

趣味か 端的に言えばそう
かもしれないけど、言い方
つてのもあると思う。

ソルビット…あー、バレちゃった。言っちゃったかー。

タチキリ…ゲツ、みたいな顔をする。

サイモン…てへへるー。

GM…ミゼルは少し厳しい目をして「……それは本当か？」とキミたちに聞いてくるね。

サイモン…バレてしまったなら仕方ない。全部言ってしまうか。

ウォルロツク…貴族が、なのか貴族に縁のある者かはわからないけど、情報が漏れたルートに関わっているのじゃないかと。

ソルビット…この場で紙見せちゃおう。この紙に見覚えは？

GM…「これはなんだ？」

サイモン…食料強奪事件で妖魔側に輸送ルートの情報をリークしていた紙である。

GM…それを聞いて紙をじっくりと見てくる。「……この紙はフェルモード家が使用している紙だろう。——それで、お前たちはフェルモード家を疑っているということか？」

サイモン…フェルモード家だと確定したわけではない。だが、その紙を使って誰かが妖魔に情報をリークしたのは確かなのだ。情報を集めている。

タチキリ…この紙を使った交渉とかをしている経路の方が気になるかも知れない。

GM…「この紙自体は内外とのやり取りでは頻繁に使用している。特定の誰かしが入手できないものではない」

てへへるー テヘッと笑ってペロツと舌を出す動作のこと。……フルフェイス鎧の姿じゃどつちもできないような。

タチキリ…つまり我々でも。

サイモン…然るべき入手ルートがあればな。

GM…確かに一般の者が簡単に手に入る物ではないが、ある程度のルートがあれば手に入ることはそこまで難しいことではない」

一同…ふーむ。

タチキリ…まあこの紙を見つけたからまずフェルモード家に来ただけで……と、隠している以上そういう言い方になつてしまうなあ。

GM…お前たちのことは悪く思っていない。何か言いたいことがあれば率直に言えばいい」

タチキリ…お前が犯人だろー！

ソルビット…お前の親が怪しいー！ ……それはさておき。(一同笑)

GM…キルトは「ミゼルは信用できる男だよ。ここで何か言つたからつてキミたちに害なすことはしないさ。そうだろう、ミゼル？」と話してくる。ミゼルも「ああ」と答えるよ。

サイモン…GMからの大丈夫だよアピール。(一同笑) ま、ここはグイグイ聞いてしまうか。

タチキリ…じゃあ、キルトには話したけど――。

ここでグラン・レーヴェン直々の依頼であることなど、これまでの経緯を正直に話すことにしたアフターグロー。ミゼルはそれを黙って聞く。

お前が犯人だろー！
そうだった。なぜ

お前の親が怪しいー！
つちはわかる。こ

GM「——そうか」とミゼルは納得した顔です。「一介の冒険者が調べることじゃないと思っただが、そういうことか」

ソルビット「そうです。私たちも今でもそう思っています。(一同笑)」

GM「本当に貴族が関わっているのなら許されざることだ」

サイモン「ただ、相手が貴族だということもあつてなかなか情報が集まらなくてな。苦戦しているのだ。今のところは先ほどの紙を入手した場所の周辺で単独で行動していたフィドルが怪しいと睨んでいるのだが……」

タチキリ「そのフィドルを村で見たといい人物がいるんだけど——」

サイモン「そう、そいつの名前はジャンという！」

タチキリ「——見たという人物の名前がジャンはウソだ。(一同笑)」

サイモン「違う、そうじゃない(笑)。えーつと、そのフィドルがジャンと言うのだ。」

ソルビット「言いたいことはわかる(笑)。」

GM「それでは、そのジャンというやつを調べた方がいいのではないか？」

サイモン「全くですな。(一同笑)」

GM「何か怪しい行動をしていないのか、確認をした方がいいだろう」

ソルビット「とりあえず、シグルに頼んで警戒はしてもらっているが。」

タチキリ「今はその彼も含む部隊は報告に戻ってきているらしい。」

今でもそう思っています
信用こそ冒険者の財産。
謙遜しなくてもいいのよ？

ウソだろ 交互に喋った結果、色々と間違えた。

全くですな ぐうの音も出なかつたらしい。

GM…「それならば、今からでもその騎士団のところに戻ればいい。所詮騎士団の中で見てもそれは身内だ。外側の人間が調査した方がわかることも多い」

サイモン…なるほど、確かに！

タチキリ…あの隊には目をつけられているというか、あまり良い顔をされないのよ。

GM…「調査なら真正面から行くことも無いだろう。隠れて見てもいいんじゃないか？」
タチキリ…確かに。これは盲点。

サイモン…身辺捜査。相手からの心象を気にしていたら捜査はできない。……よし、撤退！
ソルビット…また何かあつたら来るわー。

GM…「ああわかった」とミゼル。

ウォルロツク…邪魔した。本当に（笑）。

ソルビット…いやー、持つべきものは友だなー！

サイモン…全くだ。コネってのは最高だぜ。

GM…ミゼルは「……ふん」と言いながらも、「何かあればまた来ればいい」と言ってくる。
タチキリ…ありがとうございます。

サイモン…——では、警護騎士団の本部に戻りますか。

ソルビット…スニーキングミッションだ。

持つべきものは友だなー！
友と思ってもらえて嬉しいよ。

コネってのは最高だぜ
こちが本音か。

▼ミドルフェイズ12 〵 スニーキングミッション 〵

ミゼルからの助言を受け、一行は現時点で最も怪しいジャンを調べべく警護騎士団本部へ戻る。確実な証拠は掴めるのか？ スニーキングミッション、開始だ！

サイモン…とりあえずシグルさんに、何か分かりました？ と聞くか。おそらく何もわかってないので、そこからスニーキングミッションに。

タチキリ…みんな帰ってきたー？

GM…シグルは「ああ、ジャンたちは戻ってきたよ。だが、特別分かったことはまだないな。すまない」とのこと。

サイモン…じゃあスニーキングミッションで見張りを。

タチキリ…我々が？

ソルビット…お前だよ！

タチキリ…おいらかよ！ ……おいら隠密振ってないんだけど。

GM…隠密は【感知】だね。

サイモン…ちなみに【感知】は？

タチキリ&ウォルロック&サイモン…4。

おそらく何もわかってないので、聞く前からこの扱い。シグルの信用の無さ。

特別分かったことはまだないな サイモンが正解。

おいらかよ！ こういうのはシーフの定番なので。隠密振ってない ここでいう「振る」は「割り当てる」の意。隠密に能力（の上昇）を割り当ててない＝隠密を強くしてない、という意味。パラメータを振るって言う方は一般的なのかな？

サイモン…同じじゃん。

タチキリ…今回【感知】減っちゃったからね。

サイモン…ふむ、どうするか。シグルさんの部屋の前で見張る？ 夜とかに。

ソルビット…でも、あいつが今のタイミングで部屋に入ってくる理由は無いかも？

ウォルロツク…出入りをしてる可能性はあるのでは？

ソルビット…定期的に入ってる可能性はあるか。

サイモン…——とりあえず日常の行動を見張ろう。彼のこの後の予定はどうなってるのだ？

GM…「しばらくは報告書等の事務作業だけのはずだ。外に出て何かする任務はないよ。部

隊の部屋はこの隊長室の近くだから、その辺りで見張っていれば姿を確認することはできるだろう」

サイモン…事務作業の時間にスツと出てきたら怪しいとつけていくとかそんな感じかな。

タチキリ…トイレとかかもしれないだろ！

GM………いや、それを確認するためにつけていくんじゃないのか？（笑）

サイモン…というわけで、作業している部屋で……出入り口は一つしかないのかな？

GM…出入り口は何箇所があるね。

サイモン…では、分担して各出入り口を見張りながら何か怪しい動きがあったらスニーキングする感じで。

【感知】減っちゃった
—トルに転職したことで
【感知】の能力ボーナスが
無くなったため。シーフと
しては痛い。

トイレとかかもしれないだ
ろ！「おや、休憩ですか？
まだ職務時間中のはずです
が？」「トイレですか？先
ほども行つてましたよね。
またですか？」と嫌味な上
司的妄想トークで盛り上が
ったのは内緒。

GM…了解です。シグルは「それならば僕は少し席を離れていよう。用事がある体で離れたところにいるから、キミたちはジャンのことを見張っていてくれ」と言ってくる。
 タチキリ…怪しまれないように適当にうろちよろしながら見張ってます。

GM…というわけで、キミたちはシグルの部隊の人たちが作業をしている部屋の近くで待機しています。——一時間くらい待つと、中からジャンが出てきます。ガチャコン。

サイモン…はつ。

GM…じゃあここでジャンに気付かれないか【感知】判定だ。難易度は……13だな。

サイモン…キツイなー。

ウォルロック…9以上必要かー。

GM…ここでは誰か一人でも成功すればうまいこと誤魔化せたことにしよう。

最大の【感知】が4と厳しい判定だったが……サイモンが出目で10を出して何とか成功。他は失敗する。

GM…ジャンは部屋を出ると少しキョロキョロしてキミたちの方を見そうになるけど……。
 サイモン…それじゃあサイモンの隠密スキルで——壁の鏝に成りすまして……ニヤーンと言いながら……。 (一同爆笑)

ガチャコン ジャンがドアを開けた音。実際のセッジョンではジェスチャー付きだからいいけど、文字だけにするとわかりにくいな。

壁の鏝に成りすまして……普通の鏝は壁に立ってないと思う。

GM…壁の鎧がニヤーンと言うって（笑）。

ウォルロック…中に猫入ってる（笑）。

ソルビット…（ジャンになって）「何だ。鎧の中に猫が入ってるのか」

タチキリ…出してやれ！（一同笑）

GM…——サイモンは壁の鎧に成りすまし、みんなはサイモンの影に隠れることで見つかることなくやり過ごすことができた。そしてジャンは歩いていく。テコテコ。

サイモン…そのまま壁沿いに移動していこう。

GM…そのまま人目をはばかるようにように進んでいき……シグル隊長の部屋の前で立ち止まった。そして周囲を確認した後、慣れた手付きでドアのアラーム装置を解除し始めます。ガチャガチャ。

ウォルロック…はい、クロ。

サイモン…どうする？ これは中に入ってから、何をしているー！ バタン！ ってやる？

ソルビット…まあ中には入れないとダメだね。

ウォルロック…入った事実を作らないとな。

ソルビット…入って外から押さえつけよう。どっち開きですか!?（一同笑）

サイモン…内開きだったらボタンと中へ（笑）。

GM…（笑）さて、そんなことを考えている間にもジャンはあつという間にアラーム装置を

解除して部屋の中に入っていきます。扉も閉めてね。

タチキリ…これ、アラーム装置鳴らしてみんな集めた方がいいのでは。

ソルビット…俺たちは部屋の前で待機してか。

GM…あ、言い忘れてたけど隊長室の裏は窓ね。

ソルビット…——入ろう！ エンゲージするんだ！

サイモン…バーン！ 何をしている！

GM…中ではちょうどシングルに見せてもらった妖魔の出没情報と運送経路をまとめたファイルを書き写そうとしているね。

ウォルロック…おやおやー？ 何をしているのかなー？

タチキリ…おやおや、今時アナログですかー？（一同笑）

ソルビット…何でカメラを持ってないんですかー？

ウォルロック…世界が（笑）。

サイモン…《アースノウリッジ》を持ったシーフ（笑）。——尻尾を出したようだな！

GM…当然、部屋の中に躍り込んできたキミたちにジャンはすぐに気付いて、反対側の窓からダッシュで逃げようとする。

サイモン…止めに行く！

ウォルロック…止めに入るぞ！

今時アナログですかー？
エリンでの今時はアナログしかないの。

《アースノウリッジ》 異世界である『現代地球』に付いての知識を持っていることを表す一般スキル。実のところ現代アイテムとしてスマートフォンも存在するので、カメラもありえない話ではない。

GM…それなら【筋力】で対決だ。ジャンの達成値に一人でも勝てば捕まえられるぞ。

ソルビット…こっちが受動？

GM…ジャンが逃げる方でキミたちが追いかける方だけど……今回は逃げるのが能動ということで先に振ろう。(ダイスを振る) 達成値は11。

タチキリ…この世界って対象を硬くする魔法ってあったつけ？ ジャンがガラスを割り抜けようとしたところでガラスを硬くして、バーン！ みたいな。(一同笑)

ソルビット…そういう使い方のは無いかなー(笑)。

この判定に、ウォーリアらしく【筋力】の高いウォルロックは余裕で成功。さらにサイモンがまたもや出目に恵まれて成功する。

ウォルロック…逃すわけないだろうが！

GM…逃げ出そうとしたジャンだが、ウォルロックの素早い行動によって組み付かれ、そこにさらにサイモンが覆いかぶさる。ウォルロックごと。(一同笑)

ウォルロック…いいだろう！(笑)

サイモン…フーン！ 確保ー！

ソルビット…じゃあ外に向かって、御用改めである！——違う(笑)。誰かー！ 隊長ー！

こっちが受動？ 能動側が先に振る、同値なら受動側が勝利、というのがあって、どっちが能動／受動かはとても重要。

御用改めである！ 部屋に乗り込む時のセリフだし、どちらにせよ外に向かっていうセリフではない。

GM…捕まえると、「く、くそ。何だお前たちは！ 騎士団本部で何を……」と暴れてくる。

サイモン…ふふふ、とうとう尻尾を出したな。

GM…するとシグルも来ます。バタバタしたのに気付いたようだね。

サイモン…シグル隊長、やつぱりジャンでした！

ウォルロツク…限りなく黒のグレーから黒になっただけけど（笑）。

GM…ジャンはシグルを見ると「シ、シグル隊長!? これは……」と言いますが、シグルは「残念だよ、ジャン。キミがこのような裏切りを働くとは」と言い放ちます。さすがにシグル隊長の姿を見てジャンも観念した様子です。

サイモン…終わりだな、ジャン。

GM…シグルはキミたちに声をかけてくる。「ありがとう、アフターグローのみんな。ジャンへの取り調べはこちらで行おう」

ソルビット…えっ。

サイモン………大丈夫ですか？（一同笑）

タチキリ…疑うんじゃないよ（笑）。

GM…「それについては任せてほしい」

ソルビット…いやー、今日は戦闘が一回も無いセッションで平和だったなー。

ウォルロツク…まだ終わってないから（笑）。

……大丈夫ですか？
り信用のないシグル。

やは

GM「ただ、ジャンを捕らえたことはまだ内密にしてほしい。黒幕が別にいると逃げられる可能性がある」

ソルビット「あの人もやめといった方がいいか？ 依頼主。

GM「いや、それはさすがに大丈夫。

ソルビット「それじゃあ、グランさんにだけは伝えさせてもらおうよ。

GM「ああ、それはもちろん構わない。ただ、この件——内密な調査であることを知らない人に対しては伝えないでほしい」

タチキリ「それじゃあ、あの二人とグランさん以外か。

ソルビット「あの二人には一応伝えた方がいいかな？ ——ま、とりあえずグランさんに報告しに行くか。

タチキリ「父上に報告させていただきます。

ソルビット「尋問は任せても？」

GM「ああ、任せてくれ」

サイモン「じゃあ報告して回って、また尋問待ちかな？ ぶっちゃけやることないよね。

GM「それじゃあシーンを変えて報告に戻ろう。

▼ミドルフェイズ13　　報告　　〵

アフターグローの活躍により、第一容疑者のジャンは捕まった。尋問はシングルに任せ、一行は現状を報告して回ることに。

GM……レーヴェン家です。目の前にはグラン。「何か報告があるとのことだが、どのような内容だろうか？」

サイモン…実は単独行動していた騎士が、警護騎士団のジャンだとわかったのだ。

タチキリ…わかったというか捕まえました。

サイモン…彼が輸送ルートの情報を盗もうとしているところを現行犯で押さえたのである。

GM……「……そうか」と少し残念そうな顔をするグラン。「これで一つ情報がわかるかもしれない。だが、一介の騎士団員であるジャンにこの件全てが仕掛けられたとは考えにくい。

黒幕はまだ別にいるのではないかとわしは思っている」

ソルビット…俺たちも報告が終わったら向こうに戻ろうと思っています。

サイモン…今は騎士団が尋問しているので、きっと何か新しい情報が出てくるであろう。

裏に繋がる情報が出ると良いのだが。

GM……「ああ。引き続き調査を頼む」とグランは言ってくるね。

ソルビット……で、戻ったら多分襲撃されてるから……。 (一同笑)

タチキリ…襲撃されてるか逃げられてるか。

ソルビット…最中かな。連れ去られてて、残党戦をやつて……。

サイモン…メタ読みは止めるんだ！ (一同笑) ——では、二人にも言つとく？

ソルビット…キルトとミゼルか。

グランへの報告を終え、続いてキルトとミゼルにも報告に向かうことに。前に話した広場に来てもらい、ジャンを捕らえたことを伝える。

GM…「ふむ、そうなのか」とミゼル。ただ、キルトは「所詮一人の騎士団員だろう？ 関

わつたのは間違いないだろうけど、大掛かりなことができたとは思えないね」との意見。

ウォルロツク…裏に誰かはいるだろうな。

タチキリ…というわけで絶賛尋問中だよ。

GM…ミゼルは「内容がわかつたらまた知らせてほしい」と言つてきます。

ソルビット…任された。

タチキリ…一応、このことを知つて二人への報告だからね。

GM…「ああ、わかった」

戻ったら多分襲撃されてるから…… もはやシグルの信用とかいう問題じゃなくなつた。

タチキリ…まじでお前たちしか知らないんだからな!? 言うなよ、絶対言うなよ!?

サイモン…絶対だからな!

ソルビット…フリじゃないからな! (一同笑)

GM…「あ、ああ。そんなに言われなくても分かっている」とミゼルはちよつとムツとした顔(笑)。

サイモン…——じゃ、戻るか! わざわざ来てもらったけどね!

タチキリ…進展はあったしね。本当に内通者がいたことは確実になったし。

サイモン…犯人はまだだけど、確定情報を掴んで動きやすくなったのである。

ソルビット…では戻ります。騎士団本部に。

GM…別れて騎士団本部に戻ると。そろそろ夕方ですけど。

サイモン…まだ何も起こってない?

ソルビット…メタ読みすぎでしょ! 俺もさつき言ったの悪かったけどさ! (笑)

GM…まだ尋問中だね。シグルも「そんなにすぐには話は出てこない。明日くらいまで待ってくれ」とのこと。

ソルビット…じゃあ一回帰るか。そして夜に襲撃が……この下りはもういいや。(一同笑)

サイモン…じゃあ帰りますか。ギルドハウスへ。

GM…じゃあシーンを変えましょう。

言うなよ、絶対言うなよ!?

ダチ○ウ倶楽部か。

フリじゃないからな! 現実で言われると対応に困るセリフの上位だと思う。

まだ何も起こってない?

あとで何か起こるのは前提らしい。

▼ミドルフェイズ14 〵 闇夜に紛れし者たち 〵

尋問結果は翌日。そう聞いて一行はギルドハウスに戻って朝を待つことにする。すぐに朝を迎えると思っていたようだが……残念ながら夜はまだ終わらない。

ソルビット…次の日の朝、街がざわついて――。

GM……というわけで、まだ夜です。

タチキリ…はい。……はい？

ウォルロック…そうだな、〃シーンが変わった〃って言ったもんな(笑)。

GM…キミたちはギルドハウスへ戻るべく道を歩いている。通りは夕闇に包まれて人もおらず店も閉まっている状態だ。――というわけで【感知】判定をしてもらおう。

サイモン…危険感知？

タチキリ…トラップ探知？(一同笑)

GM……ま、危険感知にしようかな。難易度は14。

サイモン…じゃあ3Dだー！ 生まれで《サーチリスク》もらったからな！

この判定にソルビット、ウォルロック、タチキリが惜しくも失敗。しかし――。

生まれで《サーチリスク》もらったからな！ サイモンの出自は「事故」。その時の経験が危険に敏感にさせたのだ。

サイモン…(ダイスを振る) クリティカル!

GM…サイモンがクリティカルか! —— 夕闇の中の通りを歩いていると、サイモンは背後の建物の上から殺気を感じる。

サイモン…む、なにやつ!

GM…高さ5mの建物の屋根の上に、キミたちに向けて弓矢を向けている人影が見える。

そしてその矢が即座に放たれた。シュン。……あ、判定成功はノーダメージで弾けるのでご自由に演出どうぞ。

ソルビット…良い演出でかばってくれ。

ウォルロック…風で弾くなり鎧で弾くなり。

サイモン…じゃあ演出カバで飛んできた矢をバツと掴む。クリティカルだからな。

タチキリ…かつこいい。

サイモン…ふん、このサイモンにこんな矢が効くと思ったか。

GM…飛んできた矢を素早くサイモンが掴む。それで周りのみんなも奇襲に気付くね。

ソルビット…あれ、サイモンさん矢なんて持ってたっけ?

タチキリ…弓は? どうしたの?

サイモン…いや、これは今拾って……。 (一同爆笑)

ウォルロック…受け止めたじゃなくて!?

サイモンさん矢なんて持ってたっけ? 「奇襲に気付く」というGMの宣言を完全にスルーしてコメディ空間へワープ。

これは今拾って……。直前のかっこいい演出はどこへいつてしまったのか。

ソルビット…何でもかんでも落ちてる物を拾っちゃだめだよー。

サイモン…いや、あそこからこっちに向かって飛んできたのである。

タチキリ…じゃあしょうがないな。――敵襲――！（一同爆笑）

サイモン…（笑）というわけで、貴様何者だ！

GM…すると、キミたちの前の通りから何人かの人たちがザザッと出てくる。剣を持った奴らと杖を持った奴らだ。

ソルビット…挟まれてるのか。めんどくさいな。

GM…前から現れた剣を持った男は「ちっ。弓矢だけではやれないか」と言ってくる。

ソルビット…それは当ててからいうセリフだぜ？

GM…男は「おい、あれを」と後ろのローブの魔術師に向かつて声をかける。そして後ろのローブの男は杖を掲

げて知らない呪文を唱え始めます。――すると、杖の先

から青白い瘴気が立ち上り、傭兵たちの身体を包む。

ソルビット…は？

ウォルロック…あれは、あの時の！

GM…青白い瘴気を薄く身に纏った男たち。「悪いがここで死んでもらう」



剣の傭兵

サイモン…やめるのだお前ら！ その瘴気は危ないぞ！

ソルビット…また【精神】判定するのか？

タチキリ…パツと見は人間？

GM…完全に人間だね。敵は全員2〜3人で1グループのモブだ。前には剣を持った奴ら2グループと杖を持った魔術師系が1グループ。後ろには弓を持った奴が1グループ。距離は両方5mだけど、後ろの弓のやつは高さ5mの屋根の上にいる。

サイモン…屋根の上はルールのにはどうなるので？

GM…行くのなら「登攀」で壁を登る必要があるね。

ウォルロック…キミには風の魔法があるじゃないか。

サイモン…OK。殴り倒してやるぜ。

GM…では、戦闘開始前は？

ソルビット…《ハンスオブライトI》！ フェイトを1点使用。ナメてかかるとヤバそうだ。

サイモン…《スペシャリストI…風》！

GM…了解です。では戦闘開始！ 第一ラウンドのセットアップに移ろう！



弓の傭兵



魔術師

● 第一ラウンド

■ 行動値

魔術師…

剣の傭兵 A …

剣の傭兵 B …

タチキリ…

弓の傭兵…

ウォルロック…

サイモン…

ソルビット…

4 6 8 9 10 11 11 13

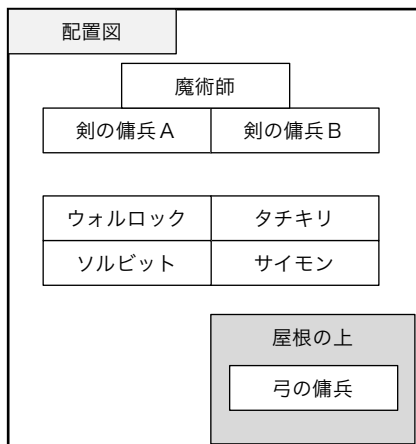
GM…【行動値】は剣持ちが11。弓が9。魔術師が13。

タチキリ…はー、負けた！

ソルビット…まあウォルロックが先に接敵してくれるから大丈夫。

サイモン…《カリキュレイト》パワーを見せていくのである。

GM…まずセットアップ。こっちは四人全員あります。そっちはー？



ソルビット…俺は《エンサイクロペディア》だけど……全部の敵の方が早い。一番早いやつ俺の三倍以上ある。

サイモン…激しい（笑）。我輩もありまーす。

ウォルロツク…【行動値】もちよつとずつ上げていかなきゃなー。

GM…では行動順に。まず魔術師から順番にスキルを使います。

——魔術師は瘴気を形作り、杖の先に集めていく。剣の傭兵も自身が纏う瘴気を剣にも纏わせ、弓の傭兵は矢の先に瘴気を集めた。

GM…セットアップスキル、《制御下の瘴気》を全員使用するぞ。魔術師は自身のあらゆる判定の達成値に＋2。剣の傭兵と弓の傭兵は全員ダメージロールに＋1Dだ。効果はこのラウンド中持続だ。

サイモン…制御下に置かれているのか。

タチキリ…今回は暴走しないのか。してくれてもいいのに。

GM……これでこっちは終わり。続いてサイモン。

サイモン…《コネクトアイ》！ 魔法ダメージと魔法防御力が3点ずつ上昇するぞ。鎧の奥で目が赤く光る！ ギン！

ソルビット…《エンサイクロペディア》でエネミー識別。(ダイスを振る) 17!

GM…全員識別成功だね。剣の傭兵の名前は「精鋭兵」、弓の傭兵は「アーチャー」、魔術師はそのまま「魔術師」だ。

内容は下記コラムを参照ください。

タチキリ…精鋭兵の物防高い。おいらどうしようもないかも。やっぱり火力が低い。げんなりしてきた。

GM…そして全員が《制御下の瘴気》というスキルを持っています。ま、付けられたというべきかな。もちろんオリジナルエネミースキル。

ソルビット…防御アップは厄介だなー。

GM…識別結果は以上。——では、セット

エネミー識別の結果

・精鋭兵

分類：人間 属性：—

レベル：7（モブ） 防御：11／6

《精鋭の連携》1：パッシブ。白兵攻撃のダメージに＋［同じエンゲージに存在する精鋭兵の数×2］する。

オリジナルエネミースキル：

《制御下の瘴気》1

タイミング：セットアップ、対象：自身。次の効果から一つ選ぶ。『あらゆる判定の達成値に＋2』『あらゆる攻撃のダメージに＋1 D』『物理・魔法防御力に＋5』『【行動値】＋3、【移動力】＋5 m』。この効果はラウンド中持続する。

・アーチャー

分類：人間 属性：—

レベル：7（モブ） 防御：8／4

《範囲攻撃：射撃》2、《制御下の瘴気》1

・魔術師

分類：人間 属性：—

レベル：7（モブ） 防御：9／8

《魔力ブースト》1：ムーブ。そのメインプロセスであなたが行なう魔法攻撃のダメージに＋1 Dする。

《魔術攻撃：地》1、《制御下の瘴気》1

※《トゥールースサイト》の効果で防御は値まで判明している。表記は【物防／魔防】。

エネミーについて これらは全て『エネミーガイド』に記載のエネミーを少し修正して使用している。名称も記載のままで。なお、少し前のページで剣の傭兵として使ったイラストは『精鋭兵』ではなく『ソードマン』のもので精鋭兵のイラストが女性兵士だったが、描写で敵を男と発言していたため描写に合わせイラストだけ変更した。

アップは終わりでイニシアチブ。何もしなければ魔術師の行動になりますか？

サイモン…《カリキュレイト》で前に突っ込んでいいのでは。

タチキリ…シナリオ一回じゃないよね？

ウォルロック…シーン1回。——弓の方はサイモンに任せて俺は前に出よう。《カリキュレイト》！

GM…イニシアチブでメインプロセスを行うスキルだね。どうぞ。

ウォルロック…ムーブ移動で接敵。マイナー無しで……メジャーで《バッシュ》。誰殴ろう？

サイモン…魔術師かな？

ウォルロック…精鋭兵を減らしたい気もするけど、魔法ダメージの方が痛いので……魔術師、お前だ！《バッシュ》！（ダイスを振る）出目が15で命中は24！

サイモン…高い！……でもクリティカルしない。残念。

GM…魔術師はもちろん回避で。回避は $2D+3$ ……（ダイスを振る）13で失敗。ダメージをどうぞ。

ウォルロック…（ダイスを振る）ちよつと低いかな？ 33点物理ダメ。

GM…そうはいうてもな量（笑）。防御は言った通り9点なので、24点くらいます。

ソルビット…【HP】わからないから計算しても意味ないか。あと何点？

GM…それは教えない。（一同笑）それじゃあ続いて魔術師の行動。ムーブは《魔力ブース

ト》で魔法ダメに+1D。メジャーで《魔術攻撃…地》を……目の前に突っ込んできた男に向かつて撃とう。

ウォルロック…こいやー！

GM…命中判定は《制御下の瘴気》の+2を合わせて2D+11。（ダイスを振る）17。

ウォルロック…何が出ててもどうせクリティカルオンリーだ！（一同笑）6ゾロ振ればよし！（ダイスを振る）うーん、1足りない！出目が5・6の11で達成値は13。

サイモン…惜しい、残念！

タチキリ…なんでそういうことするのー。

ソルビット…おいしいけどさー、避けるなら避けようよー。（一同爆笑）

ウォルロック…避けられるなら避けたいよ！（笑）

《魔力ブースト》も加わった魔術師の攻撃は35点魔法ダメージを出す。《プロテクション》をもらってHPダメージは19点、残り【HP】は35点となった。

続く精鋭兵Aの攻撃も命中。《精鋭の連携》と《制御下の瘴気》によって強化された攻撃を叩き込むが、ソルビットが《プロテクション》で6・6・5を出し、さらにウォルロックの高い【物理防御力】と合わせてダメージが大きく軽減。この攻撃は3点のHPダメージに終わる。

1足りない！これが妖怪『いちたりない』。ボードゲームやTRPGを遊んでいると頻繁に遭遇するお邪魔者である。このセクションでは何回登場するかな？

おいしいけどさークリティカルやファンブルに次いで出ると楽しい妖怪『いちたりない』だが、当の本人はとても悔しい。

ウォルロック…《プロテクション》ありがてえ。

ソルビット…ウォルロックは【HP】高いなー。

ウォルロック…いきなりこのラウンドで沈むことは無いと思いたい。

GM…3点だけか。——精鋭兵Bも全く同じ攻撃で。命中は4D+9。(ダイスを振る) 19。

ソルビット…出目が悪いけど……そういう出目はダメージで出してほしいなー。命中はク

リティカルしなければいくら高くてもいいよ。5・5・5・5とかでも。

ウォルロック…本当にな(笑)。おら！(ダイスを振る)回避は無理！。

GM…ではダメージは4D+22。(ダイスを振る) 6・6・6・5！

ウォルロック…出目が高い！ ほぼ最大値！

ソルビット…大丈夫かこれ！？

GM…また出たなー。第一話でソルビットを殺しかけたやつだな。(一同笑)

サイモン…あの時はほぼほぼ殺してたからな(笑)。

GM…えーつと……(計算中) 45点、物理。死にはしないか？

ソルビット…それなら気楽に《プロテクション》。(ダイスを振る) ダメだな。9点軽減。

サイモン…気楽過ぎた(笑)。

ウォルロック…21点くらって残り【HP】11点！

GM…ちつ、耐えられたか。では次は【行動値】10のタチキリ。

5・5・5・5とかでも
命中判定でそれ出たら、高い
けどなんか悔しい。

第一話でソルビットを殺し
かけたやつだな 第一話で
もイルネスの攻撃で同じ出
目を出している。その時は
ソルビットを倒せそうだった
が、《蘇生》の光に阻まれ
て倒しきれなかった。

タチキリ…マジやばいなー。

サイモン…タチキリさんやつちゃってください！ ハイパーワイドアタックチャンスだ！
 ソルビット…サイモンさん、アーチャーはお願いしますよ。……あ、でもアーチャーがど
 っち撃つかわからないか。

タチキリ…こっち（ウォルロック）撃つかもしれない。

ソルビット…ウォルロック撃たれたらそのままアウトだもんな。

ウォルロック…そうだな。

ソルビット…やつば《クイックヒール》ほしいなー。

タチキリ…——ムーブ接敵、メジャーで《ワイドアタック》。それ以外ないね。

精鋭兵2グループと魔術師を巻き込んだタチキリの《ワイドアタック》は全員に見事に命中。タチキリの双剣により精鋭兵が11点、魔術師が13点のダメージを受ける。

タチキリ…《ワイドアタック》のスキルレベルをやつぱり上げとけば良かったかなと一瞬思
 いつつ……魔術師の物防が9つてなんでそんなあるの。 **おいらよりあるじゃん。**

GM…まだまだ死なないよ。続いてアーチャー。——前は精鋭兵と魔術師に任せてるので
 後ろを足止めしよう。

おいらよりあるじゃん
 たくのメイジは物防21もあ
 るんですよ？

サイモン…ふん、このサイモンが受け止めてくれる！　と言ってさつき手に掴んだ矢をボキッと折る。

ソルビット…おおー、イケメン！　顔見えないけど。（一同笑）

GM…夕闇なのであまり顔は見えないけど、アーチャーからは悔しそうな「チツ」という舌打ちが聞こえた気がします。

サイモン…ふふふ。

GM…では《範囲攻撃…射撃》で。命中判定は2D+9。（ダイスを振る）5・5で19。

ソルビット…固定値で7も差があるのに10なんて出されたら勝てないじゃないですかー。

GM…そりやそうです。（一同笑）

ソルビット…（ダイスを振る）出目6なので達成値8！

サイモン…（ダイスを振る）出目8なので達成値7！（一同笑）

タチキリ…どういことだよ（笑）。

サイモン…回避がマイナスにいつてるのだ。

GM…命中だね。ダメージは《制御下の瘴気》で+1Dされてるので3D+21。

ソルビット…（サイモンに）助けてくださいお願いします。

サイモン…かばいます。《カバリング》！

GM…（ダイスを振る）……32点ダメージ！

さつき手に掴んだ矢をボキッと折る。拾った矢の有効活用法。

顔見えないけど 見えるのは《コネクタアイ》で赤く光る目だけ。

ソルビット…《プロテクション》! (ダイスを振る) 弾いた気がする! 15点軽減!

サイモン…じゃあ弾いた! 物防21で合計36点軽減。カーン!

GM…完全に弾かれたか! アーチャーたちが放った複数の矢はソルビットとサイモンを狙うが、全てサイモンの身体で弾かれる。カンカンカーン。

サイモン…ふん、痛くも痒くもないぞ!

ソルビット…こいつ、戦闘中だけは敵煽るよなー(笑)。いいんだけど、壁だから。

GM…アーチャーからはさつきよりも大きな音で舌打ちが聞こえてきます。(一同笑)

タチキリ…むしろヘイトはどんどん買ってくれ。

GM…これでアーチャーも終了。ウォルロックは行動したから……サイモンで。

サイモン…はい。というわけで……殴り返してやるぜ! アーチャーにとりあえず――。

タチキリ…ロケットパンチ!

ソルビット…パンチ!? (一同笑)

サイモン…(笑) とりあえずマイナーで今回から新採用の《ウィルパワー》! メジャーで

《エアリアルスラッシュ》! 命中判定は…… (ダイスを振る) ……20!

ウォルロック…お、目が高いな。

GM…アーチャーの回避は2D+3。(ダイスを振る) ……クリティカル! (笑)

サイモン…ふ………そ、それは聞いてないのである。(一同笑)

じゃあ弾いた! ソルビットの感覚を受け止める見事な連携プレイ。

ロケットパンチ! とりあえずで腕を飛ばさないでいただきたい。

そ、それは聞いてないのである。言っていないからね。

ソルビット…2個でクリティカルはしょうがない（笑）。

GM…サイモンは風を放つが、アーチャーは上手く屋根の陰に隠れて回避します。

サイモン…くつ、貴様卑怯だぞ、降りてこい！（一同笑）くそー、引き撃ちしやがって。

GM…隠れた後にまた出てきて弓を構えたところでソルビットのターン。

ソルビット……アーチャーって屋根の上にいるんだよね。この屋根って庇（ひさし）みたいなのない？

GM…あー、まああるかな。

ソルビット…その下まで行ったら（アーチャーの射撃の）対象にならなかったりしない？

GM…今は壁際の真下は狙えないだろうけど、屋根の端つこまで来て狙えば撃てるかな。

サイモン…それに高さ5mなら冒険者が判定すれば降りられるレベル。

ソルビット……かばってもらう方がいいな。ムーブ無しでウォルロックに《ヒール》。

ソルビットの《ヒール》でウォルロックは21点回復、【HP】は32点となった。

GM…これでクリンナップ。…何も無しだね。

サイモン…くー、ダメージ与えられなかったのはキツイのである。

庇（ひさし）　ここで指しているのはおそらく軒（のき）の方。軒は屋根が壁より飛び出た部分、庇は窓や出入口の上に取り付ける小型の屋根のことを言う。GMも今知りました。

● 第二ラウンド

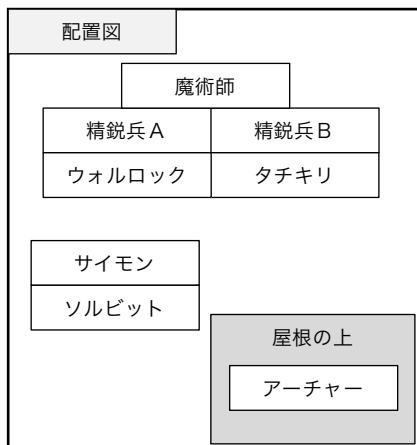
■ 行動値

魔術師…	13
精鋭兵 A…	11
精鋭兵 B…	11
タチキリ…	10
アーチャー…	9
ウォルロック…	8
サイモン…	6
ソルビット…	4

GM…第二ラウンドのセットアップだ。《制御下の瘴気》は……さつきと同じ内容で。魔術師が判定に+2、精鋭兵とアーチャーがダメージロールに+1Dするぞ。

サイモン…我輩も《コネクトアイ》を使う！

GM…では魔術師から。変わらず目の前に攻撃かな。タチキリもきたので対象はランダムで決めよう。(ダイスを振る) 対象はタチキリで。ムーブは《魔力ブースト》、メジャーで



《魔術攻撃…地》。命中判定は……（ダイスを振る）あ、低い。15。

ソルビット…避けられるんじゃない？

タチキリ…固定値7スタート。3Dだからギリギリだな。（ダイスを振る）……16！

GM…お、避けたか。地面からトゲがぶしゅつと出てくるけど……。

タチキリ…避けるけど尻もちついちゃう。被ってる三度笠を貫かれる感じだな。出目的にギリギリだからね。

サイモン…神回避。

タチキリ…危なかった。

GM…次は精鋭兵も同じくランダムで。（ダイスを振る）ウォルロックへ。

ソルビット…避けてー！

GM…命中は……（ダイスを振る）出目15で24。

ウォルロック…危ない、クリティカルはしてない。回避判定。（ダイスを振る）うーん、片

方は6出るけどなー。失敗。

サイモン…さつきから惜しいのである。

ソルビット…1個は出るのになー。実質クリティカルなのは？（一同笑）

GM…そのネタ！（笑）では、ダメージロール。（ダイスを振る）えーつと、39点。

ソルビット…《プロテクション》。（ダイスを振る）14点軽減！

実質クリティカル 第一話
の流行語。何が実質なのか
は不明。

ウォルロック…物防15点あるから10点ダメージか。生きてまーす。

サイモン…これはもう一発も耐えられるか。

GM…もう一体の精鋭兵もランダムで。(ダイスを振る) またウォルロック！

ウォルロック…俺かー！

タチキリ…やべえ。

GM…命中判定。(ダイスを振る) 28。

ウォルロック…回避！(ダイスを振る) さっきと同じ出目ー！(一同笑)

タチキリ…さっきのと合わせてクリティカルでは？(笑)

サイモン…ちよつと(6が出た) その白いダイスを複製した方が良いのでは？

ソルビット…いや、さっきは黒いダイスが6だった。

サイモン…なかなか息が合わないなー(笑)。

GM…命中だね。ダメージロール。オラー！(ダイスを振る) えーつと、34点。

ソルビット…《プロテクション》。(ダイスを振る) お、やる気がいっぱい。19点軽減。

ウォルロック…えーつと物防15だから…お、ピタリ弾いた！

サイモン…おおー！

GM…「ガン！」と精鋭兵のソード——片手剣は《プロテクション》の魔法の光とウォル

ロックのアーチャーに止められます。

なかなか息が合わないなー
ダイスにもコミュニケーションが求められる時代。

ソルビット…ウォルロックさん危ない！　なんとか生きてー！　【MP】がー！

ウォルロック…危ねえ！

GM…「くっ、通らぬか！」——では続いてタチキリ。

ウォルロック…やるんだタチキリ！

タチキリ…《ワイドアタック》だー！　ウォルロックもだー！　（二同笑）

GM…殴らせるよ？　（笑）

タチキリ…サイモンなら威力アップのために入れるのもあるかもしれないけどね。

サイモン…ええー（笑）。

タチキリ…対象は敵三人で。（ダイスを振る）出目が14で達成値21。

GM…まず魔術師から回避。（ダイスを振る）11で失敗。精鋭兵は……（ダイスを振る）12

で失敗。もう一体は。（ダイスを振る）14で失敗。全部命中！

タチキリ…よし、ダメージロール。（ダイスを振る）おお、6・6！　めっちゃやる気あつ

た。26点ダメージ。

GM…魔術師が17点、精鋭兵たちが15点くらう。——タチキリの剣術により魔術師が斬り裂かれた。「グハッ」と言つて倒れます。

ソルビット…ナイスー！

タチキリ…おや？　（一同笑）

【MP】がー！　ウォルロックを心配してるのかしないのか。

サイモンなら《ワイドアタック》は二体以上を対象に取ればダメージが増加する。それが味方であつてもだ。

GM「おや？」って、あんたが斬ったやろ（笑）。

ウォルロック「手応えありのはずでは（笑）。

タチキリ「でももうちょつと硬いかと思ってたな。

ソルビット「確かに。もうちょつと魔術師も生きるかと思っただけだね。

GM「【HP】は48点でした。累計ダメージが54点で倒れた。でも、まだ精鋭兵は生きてるぞ。——続いてアーチャーの手番。同じく後ろの二人に攻撃しよう。

サイモン「へいへいへい。

ソルビット「やめて、煽らないで！……でも前が狙われたら困るか。むしろ煽って！

GM「命中は2D+9。（ダイスを振る）うわ、1・1でファンブル！（一同笑）

サイモン「お、やったぜ！

ソルビット「動揺してやがる！

ウォルロック「さつきクリティカルで回避したからおあいこだな。

GM「さつきクリティカルで屋根の陰に隠れた後、また出てきて弓を引こうとしたけど手が滑る。……アーチャーの行動は終わりです。（一同笑）

続くウォルロックは精鋭兵Aに《バッシュ》の銃弾を放つ。銃撃は見事命中、敵の肩を撃ち抜き18点のHPダメージを与えるが、倒しきるには至らず。

むしろ煽って！ 攻撃されてもサイモンがかわる。

サイモンは再びアーチャーに《ウィルパワー》を乗せた《エアリアルスラッシュ》を放つ。命中判定は出目が振るわず達成値は14。アーチャーは再び回避成功を狙うが――。

GM…(ダイスを振る)――ファンブル。(一同笑)

ソルビット…あのアーチャー、運が無くなってきたぞ(笑)。

サイモン…どうした、動揺しているようだな！

GM…アーチャーダメだぞ!! ――手が滑った次は足を滑らせた！ 転倒！

サイモン…今だー! (ダイスを振る) 36点〈風〉魔法ダメージ！

GM…強いな！ アーチャーの魔防は4なので32点くらう。

サイモン…新たに神竜王セフィロスの力が乗った風パンチ！

GM…神竜王セフィロスのことをちよつとだけ思い出した風パンチ! (笑)

サイモン…そんなこともあつたなー。……ファン! (一同笑)

タチキリ…ひどい(笑)。

ソルビット…本当に(笑)。

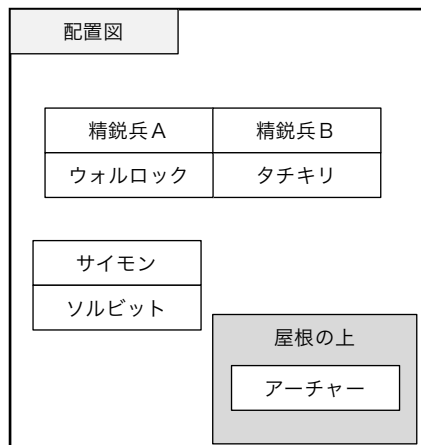
GM…二人いたアーチャーのうち、一人がその風で吹き飛ばされた。バーン。もう舌打ちでなくて「くそっ!」という声が聞こえてくる。

サイモン…よしよし。良い感じである。

……ファン! ふわつとしか
思い出していないくても、セ
フィロスはしっかり力を貸
してくれる。懐が深い。

精鋭兵 A ..
 精鋭兵 B ..
 タチキリ ..
 アーチャー ..
 ウォルロック ..
 サイモン ..
 ソルビット ..

4 6 8 9 10 11 11



● 第三ラウンド

ソルビット…続いて。ウォルロックに《ヒール》を。魔術判定、(ダイスを振る) クリティカルはなし。(ダイスを振る) うーん、ダメだなー。このダイスはクビだな。19点回復。ウォルロック…ありがたい！残り【HP】41点。
 タチキリ…幸運のトレーニングでもするか。一週間ダイスを振り続ける。
 GM…乱数調整(笑)。——では、第二ラウンドも終了です。

乱数調整 コンピュータゲームでは真の意味でランダムな数字は出せないため、様々な数式等を用いて擬似乱数を生成している。その隠れた規則性を見出し、狙った乱数を出すことを乱数調整と呼ぶ。TRPGは現実だが、一週間もダイスを振り続けば“物理法則”という規則性を操れるかもしれないね？

このダイスはクビだな 成果主義の波はダイスの世界にも。

第三ラウンドのセットアップもこれまで同様、精鋭兵とアーチャーが《制御下の瘴気》でダメージに＋1D。サイモンは三回目の《コネクトアイ》を使用して打点と防御をさらに向上させた。《コネクトアイ》の効果の重複は三回までなので、これで最大だ。

GM…では行動はダメージを受けた方の精鋭兵Aから。対象は……両方殴ってきてるからランダムで。(ダイスを振る) タチキリだ。命中は4D＋9。(ダイスを振る) 20！

ソルビット…避けれるかな？

タチキリ…3Dで13出さなきゃいけない。(ダイスを振る) ……お、13出た。20。

GM…あ、同値で回避か。避けられた！ ソードを振るうがタチキリステップで回避。

タチキリ…これ以上は三度笠がズタズタになりそうだから真剣に逃げるか。(一同笑) さっきからギリギリの回避が多いな！

ソルビット…でも避けてるのは素晴らしい。

サイモン…回避は1か0だから！

ソルビット…そう、当たるかくらうかだから。

タチキリ…割と余裕の無い感じで逃げてる。

GM…「くそ、ちょこまかとー」と言ってくるね。ではもう一体の攻撃。(ダイスを振る)

タチキリに攻撃！(ダイスを振る) 命中はまた20。

当たるかくらうかだから

『はい』か『イエス』で答えてね？

ソルビット…大丈夫、また13出せばいい。

タチキリ…(ダイスを振る)……12。1足りない。

一同…あー。

今度は命中した精鋭兵Bのダメージロールは出目が走り、41点の物理ダメージを叩き出す。一瞬焦るタチキリだが、ソルビットの《プロテクション》と自身の《ナイフパリイ》での軽減でHPダメージは12点に抑える。残り【HP】は28点とまだまだ健在だ。

タチキリ…次はおいらか。うーん、ダメージ12点ならポジションは飲まなくていいかな。メジャー《ワイドアタック》。(ダイスを振る)やばいやばい。15しかない。

ウォルロック…相手も回避高いわけじゃないから。

サイモン…そこそこ当たるさ。いけるいける。

タチキリ……甘えちゃうか。

GM…いいかな？ じゃあ回避判定。先に【HP】がより減ってる精鋭兵Aから。(ダイスを振る)10。失敗。もう一体。(ダイスを振る)出目9で14！失敗。

タチキリ…弱ってない方元気だな！でも命中か。よし。

GM…「くそう、ちょこまかと！」

弱ってない方元気だな！
だが結果は『いちたりない』。回避は1か0なのだ。

タチキリ…ダメージは2D+14！ こっちもわりと精一杯なんでね。オラー！（ダイスを振る）出目9。なんでこっちの出目はいいんだろうね。23点ダメージ。

サイモン…全て成功してるのだから別に問題ないのである。

GM…両方12点くらいな。……精鋭兵Aが落ちる。斬られて「ぐわ！ くそっ……」と倒れ伏します。——続いてアーチャーの手番は変わらず後ろに射撃。

サイモン…よつしやこーい。

GM…「やるしかねえ！」と命中判定。（ダイスを振る）ファンブル。（一同爆笑）

ソルビット…あのアーチャー三連続なんだけど!?（爆笑）

タチキリ…敵ながらガツカリ（爆笑）。

ウォルロツク…マジでどうしたんだ（爆笑）。

GM…このアーチャー、最初の命中判定除くと、回避クリティカル、命中ファンブル、回避ファンブル、命中ファンブルって。……どういうこと?（一同笑）

ウォルロツク…俺たちが聞きたい（笑）。

ソルビット…手元が震えているぞ?（笑）

GM…本当だよ！ もう矢が抜けない。

サイモン…あいつ2Dしか振ってないしな。《アームズマスタリー》すら持っていない素人めが。練度が足りないようだなあ！（一同笑）

ファンブル。アーチャーの動揺具合はもはや制御不能のレベルに。GMは心で泣いた。

……どういうこと? 思わず本音が出してしまった。さすがに36分の1が四連続になるとGMも混乱。ダイスの女神は確率を越える。

GM…「くそ、矢が取れない！」とめっちゃテンパってる。……次はウォルロック。

ソルビット…ウォルロックさん、やってしまってください！

ウォルロック…どうしようかなー。……目の前に《バッシュ》！（ダイスを振る）目が低いぞー。16。

GM…出目が低くても16はいくんだよなー。

ウォルロック…【器用】の高さでどうにかしてるのさ。

GM…精鋭兵の回避。（ダイスを振る）9。失敗。

ソルビット…今日はGMの出目が悪いな。でも、ミドルだからなー。クライマックスで走り出すとなー。

サイモン…クライマックスで本気出すのはやめてほしいのである。

ウォルロック…ダメーじ。（ダイスを振る）——30点物理。

GM…19点くらうね。……精鋭兵Bも落ちる。ウォルロックに全身を撃ち抜かれて「ぐっ！」と倒れます。

ウォルロック…よーしよーし。銃撃の音を響かせるぜ。

ソルビット…サイモンの手番で終わりだな。

サイモン…我輩の手番だな。くらえ、サイモン《バッシュ》！（一同笑）実際は《ウィルパワー》に《エアリアルスラッシュ》。命中は（ダイスを振る）1・2・2……。

どうしようかなー 悩んだ
フリをしているが、やるこ
とは決まっていた。

サイモン《バッシュ》！ 風
パンチを雨あられ。このキ
ャンペーンでの《バッシュ》
は手数で勝負。

タチキリ…実質クリティカルでは？

サイモン…いや、実質ファンブルでは？（笑）

ソルビット…お前、アーチャーに謝れよ！

GM…実際のファンブルに謝れよ！（一同爆笑）

サイモン…すいませんでしたー！（笑）

ウォルロック…本当のファンブルを何度もしてるから（笑）。

サイモン…——しかし、出目5で12か。さすがにフェイト使うのももったいないしなー。

GM…じゃあいいかな？ 見せてやるよ、本物のファンブルってやつをなー！（一同笑）

……というのは冗談でドーン！（ダイスを振る）お、13。避けた。

サイモン…避けられたか。

GM…全然矢が抜けないのでアーチャーは一旦屋根の後ろに隠れたぞ。

サイモン…低レベルな争いを繰り広げている。

——とはいえ、アーチャーの見せ場もここまで。もはや一人となったアーチャーに抗う術はなく、最後の悪あがきの攻撃も《プロテクション》とサイモンの鎧に阻まれてノーダメージ。最後はウォルロックの《バッシュ》がクリティカルし、ダメージロールはなんと7D。46点の物理ダメージを受け、アーチャーはあえなく銃弾に沈むのだった。

実際のファンブルに謝れよ！ 実質どころか本当のファンブルが三連続するとここまで心が荒むという実例。（怒ってません）

避けた もはや普通の出目が意外に感じてしまった。

* * *

GM…というわけでキミたちは敵を全員打ち倒した。「くそっ……」と言いながら地面に転がっている状態です。あ、トドメは刺していないから戦闘不能ね。

ウォルロック…確保ー！

サイモン…騎士団を呼んで確保してもらうか。

タチキリ…どうする？ 剥ぎ取る？ 物理的に剥ぎ取る？

ソルビット…それはしなくていいです。剥ぎ取りはするけど。

GM…——という話をしていると、倒れていた魔術師の杖の先が光り、青白い瘴気が全体にボフツと撒かれます。

ソルビット…あつ！

GM…少ししたら瘴気は晴れるけど……そこに倒れてた人の姿は無い。逃げられたようだ。

ウォルロック…あれー！

サイモン…なんてこったー。

タチキリ…は？ 剥ぎ取りは？

GM…ドロップ品は落としていくから安心して。

タチキリ…よし、許そう。

物理的に剥ぎ取る？
に怪我させられたウサギの
言うことは違う。

よし、許そう
物理的に剥
ぎ取られずにすみしました。

ソルビット…じゃあいいや。

GM…残念ながら敵は逃げてしまったが……落とし物はしていく。ドロップ品をどうぞ！

ドロップ品決定ロールでは見事全員からドロップ品を入手。タチキリも《トレジャーハンターI》に成功した。トパーズ6個、ルビー6個、クリスタル（一五〇G）1個と**大量の宝石**をゲット。早速《ギルドハウス》で売却し、一三五〇Gを手に入れたのだった。

GM…さて、敵には逃げられたけど……ドロップ品を回収しているともう一個落ちている物を見つけます。キミたちアフターグローについての情報が書かれた紙のようだ。

タチキリ…**没落貴族のことか？**（一同笑）

GM…そこまでは書かれてないかな？（笑）

ソルビット…その紙はどんなの？

GM…今度は破られてなく……先ほど見た虎の意匠の家紋が付いているね。

タチキリ…いくらですか？

GM…OGです。

ウォルロック…売ってどうするんだ（笑）。

GM…では、紙を拾ったところで……夜が更けていき、今夜はそのまま寝ることにしよう。

大量の宝石 ちなみにクリスタルはただの換金アイテムだが、トパーズとルビーはメイジのスキル《マテリアルコンボイメント》で使えるアイテムでもある。

いくらですか？ 自分らの個人情報売ろうとしないでください。

▼ミドルフェイズ15 〵 ジャンの話したこと 〵

謎の集団に襲われたアフターグロー。すでに黒幕に調査のことを知られているのだろうか？ 急ぎ調査を進めるため、一行はジャンの尋問結果を聞きに警護騎士団へ向かう。

GM…シーンを変えて翌朝です。どこに行きますか？

サイモン…とりあえずシグルさんのところに報告する？ 先にグランさん？

ソルビット…まずは尋問の具合を聞こう。襲われた報告は重要じゃないでしょ。

サイモン…では警護騎士団へ。

ソルビット…建物があつた場所は一面ススだらけで……。

GM…そんなことはない（笑）。普通にシグルに会うことができる。

タチキリ…普通に会えてしまった。

サイモン…シグル殿ー！

GM…「ああ、アフターグローのみな。よく来てくれた」

ソルビット…尋問は？

GM…「尋問は今も進んでいるよ。今のところわかったところとしては……どうやらジャンは門の警備を担当しているニルエナという女性団員に運送計画の情報を渡していたようだ」

建物があつた場所は一面ススだらけで…… 何かと騎士団本部を崩壊させたいソルビット。だがそうはさせない。

サイモン…その女性は今どこに？

GM…「普段は北東門で警備を担当しているよ。ジャンは運送計画の情報をニルエナに渡すことと、妖魔たちへ情報の紙を渡すことを行なっていたようだ」

ソルビット…紙の入手経路まではわかっていないと？

GM…「ああ、それで金を得ていたことまではわかったが……その相手の素性については頑なに口を閉じている状態だ。何とか尋問は続けるが、すぐに白状する様子はないな」とシグルも悔しそうな顔をしています。

タチキリ…むしろよくここまで口を割らせたな。

サイモン…そのニルエナというやつからあたるべきかもしれないな。

ソルビット…——あ、それと昨日の帰りにですね……。

タチキリ…おいらたちも有名になりましたね。スツ。（一同笑）

GM…紙を見せるのかな。「むっ、これは」と言つて襲われた話を聞く。

ソルビット…返り討ちにはしましたが。……シグルさんは青い煙云々は知ってるのか？

GM…そこまでは知らないね。

サイモン…その時にやつらが使ってきた不可思議な技を見るに、食料強奪事件と関係がありそうな気がする！

ウォルロック…別件の方が困るわ！（笑）

おいらたちも有名になりましたね
黒幕に証拠を突き付けるみたいナセリフ。

タチキリ…青い光によって逃げられてしまったので。

GM…詳細な話を聞くと、「そうか。……どうやらキミたちがこの件について調べていることは既にバレてしまっているようだね」とシグルも言ってくる。

サイモン…ジャンは既に捕まえたはずだが……どこから漏れたのか。

GM…「ジャンを捕らえたことも警護騎士団内でも内密にしていたんだが……どこから漏れたかは何とも言えないな。今のところわかったのはこれくらいだ」

ソルビット…どうするか。グランさんに報告するか、直でニルエナのところに行くか。

サイモン…もう直でもいいのでは。

ソルビット…じゃあ直で北東門に。

タチキリ…あ、お父様には襲われたこととか伝えといてください。

ソルビット…あつしらはこのまま北東門に向かうのでやんす。

GM…何キャラだ(笑)。シグルは「ああ、わかったよ。こちらから伝えておく」と言つて、キミたちを送り出します。

サイモン…ニルエナを確保するんだー！ ダッダッダッ。

あつしらはこのまま北東門に向かうのでやんす 皆さんは語尾の『～やんす』で思い出すのはなんですか？ GMはパワプロの矢部くんです。三下女神じゃなくすいません。

▼ミドルフェイズ16　　〽門を見張る者　　〽

ジャンが盗み見た運送計画を渡していたという騎士団員、ニルエナ。北東門の警備を担当する彼女は果たして事件にどう関わっているのだろうか？ 一行は真相に近づくため北東門へ向かう。ただ、ニルエナもアフターグロウも慎重派なようで……。

GM…グランフェルデンの王城から北東に伸びる道の先にある門が北東門だ。門は開かれているけど、往来する人を衛兵が見て確認している。馬車なんかは横に止まって衛兵と話をしている様子も見えるね。

サイモン…あ、ニルエナがどんな女性なのかは聞いてきてて大丈夫？

GM…北東門で警備を担当しているヒューリンの女性だね。門の警備関係の部隊の副隊長をやつてることまではさつき聞いてきてます。

タチキリ…パツと見はヒューリンの女性衛兵はいる？

GM…何人かいるよ。まあヒューリンは多いから。

サイモン…うーん、来たはいいけどどうするか。こっちの顔を知られると……。

ソルビット…顔は知られてないでしょ？ 情報は知られてるだろうけど。

ウォルロツク…背格好とかは何となく把握してるかもね。

サイモン…ニルエナって人を冒険者が訪ねてきたとしたら逃げ出してしまいかもしれない。

タチキリ………うーん、おいらは遠巻きに見ようか。妖魔姿は目立つだろうし。

GM…妖魔姿とかは今更心配する必要はないよ。

ソルビット…でも二人組に分かれるのはアリかもな。ちよつと離れておくとか。

サイモン…じゃあ奇人組が後ろに下がって……。 (一同笑)

タチキリ…人外組は離れてるので、人族組でお願いします。

GM…それじゃあウォルロックとソルビットが近付く感じかな。

ウォルロック&ソルビット…はい。

GM…近付くと、衛兵が二人に気付きます。「ん？ 何か用か？」

ソルビット…こんにちわー。ニルエナさんって方いらつしやいますか？

GM…「ああ、ニルエナ副隊長なら指揮所にいるが……」

ソルビット…指揮所？

GM…「指揮所はこの中だよ」と門の横つちよを示してくるね。外壁のところが小さな建物みたいになっていて、その中のことのようにだ。

ソルビット…直接渡したいものがあるんですけども……。

GM…「ん、知り合いかい？ あの人、仕事中は知らない人とはあまり話さないんだ」

ソルビット…おや、そうなんですか？ ちよつと紙を渡したいのですが。

サイモン…ジャンの名前を出してもいいのでは？ 会いに来てたし、まだ捕まってることは知らないはず。

ウォルロック…あー、そうだね。ジャンからです、かな。

ソルビット…ジャンから？ ジャン……ジャンと言います。（一同笑）

GM…「いやいや、ジャンじゃないだろう」と衛兵。

ソルビット…何でだよ。

GM…そりや同じ警護騎士団の団員くらいわかるわ！ しかも毎回ここに来てるんだから顔くらい見てるわ！（笑）

ウォルロック…顔は把握してるから、ジャンからです、と（笑）。

ソルビット…ジャンという人から頼まれごとを。

GM…「ん？ そうなのか。今回はジャンが直接来るんじゃないんだな」

ウォルロック…ちよつと彼は来れない用事ができてしまつて。

GM…「そうか。とりあえずニルエナさんに声はかけてくるよ」と言つて中に入り……しばらくすると戻つてくる。「すまない、今忙しいみたいだな。また今度にしてくれ、と言われしまつたよ」

サイモン…あちゃー。

ソルビット………パツと周り見て、衛兵の人はどれくらいいる？ こつちを見てるのとか。

ジャンと言います なかなか
かに思い切つた嘘を吐く。

同じ警護騎士団の団員くら
いわかるわ！ ジャンは正
規の騎士団員なので。

GM…こつちを見るのは目の前の一人だけだね。他はこつちは見てない。

タチキリ…強行突破しちゃう？

ソルビット…俺もそれを考えてたけど……いや、ここは一回引くか。あんまり怪しいことするのもアレだし。

ウォルロツク…うん。一度合流しよう。

サイモン…うーん。騎士団の権力でも借りてくるべきだったか。

ソルビット…警護騎士団も、別の部隊の副隊長を呼び出すのは違和感あるしなー。

タチキリ………ここは権力者の力を借りよう。

ソルビット…グランさんでいいんじゃない？

サイモン…ご足労願うか。

ソルビット…呼び出しでいいんじゃない？ 一筆書いてもらって。

サイモン…とりあえず我輩たちが見張っているので、グランさんに呼び出しの依頼する？

……でも呼び出してどうするか。ジャンは捕まったぞ、白状しろ、で押し通せるか？

タチキリ…強行突破案は無し？

ソルビット…さすがに人数差があるから危ないかなと。

サイモン…アレか？ 夜中まで待つのもアリか？

ソルビット…ああ、定時まで待つ？

ニルエナと会って事情を聞くべく強行突破や呼び出しなどの策を考えるが、昨夜謎の集団に襲われたことから既に警戒されている可能性もあり、慎重になるアフターグロー。相談の結果、まずはニルエナの動向を確認するため、ソルビットとウォルロックは見える位置で、タチキリとサイモンは引き続き隠れて様子を見張ることに。

GM…それじゃあ見張りながら待機しよう。そうしていると、時々中からヒューリンの女性が出てくるのが見られる。衛兵も「あ、ニルエナさん」と言い、女性も「特に問題は起きてないか？」と確認している様子だね。

ソルビット…こっちに気付いたりとか、見てくる様子はありますか？

GM…特にキミたちを気にする様子はないね。普通に仕事をしているようにしか見えない。

ソルビット…なるほど。

GM…そのまま指揮所を出入りしながら逐次様子を確認したりはしています。……今のところはこんな感じだけど、見張りは夜まで続けるのかな？

タチキリ…顔見たなら一度グランさんのところに報告してようか？

サイモン…ソルビットとウォルロックも下がっていいのでは。

ソルビット…そうだな。俺らがグランさんのところに報告しに行くか？

ウォルロック…何時間待ってるんだあいつら、って思われるのも困るしな。

サイモン…それじゃあ我輩たちは監視を続けよう。

ソルビット…俺とウォルロックはグランさんのところに報告に行こう。

GM…それじゃあ、ウォルロックとソルビットでグランのところに移動しよう。

* * *

GM…というわけでグランの前です。「ウォルロックちゃんとソルビットくんの二人か。今どのような状態だ？」

ソルビット…昨日捕まえたジャン・ジャック・ルソーが吐きまして……。

GM…ジャン・フオートね（笑）。

ウォルロック…門の警備担当副隊長、ニルエナに輸送ルートの情報を流していたようだな。

GM…「ああ、その報告ならシグルから受けている。そのニルエナの動向にも注視するように言ったところだ」

ソルビット…やつてくれてたのか。こつちも今残りの二人で見張っている最中です。

GM…「おお、本当か！ 助かるよ」

ソルビット…それと、昨日の帰りに以下略。

ウォルロック…襲撃されましたよと。

ジャン・ジャック・ルソー
『社会契約論』などで有名な哲学者。ルソーと聞けばわかるが、フルネームは知らなかった。博識なソルビット。

GM「紙を見せられると、「……今度は確実にフェルモード家の紙だな。だが、前と同じでこれだけでフェルモード家を黒幕と断定することはできないな」と言ってきます。「フェルモード家が黒幕だとすれば、これがフェルモード家で書かれた物だと分かればいいのだが……。これを書いた人物が分からないと厳しいな」

ソルビット「そうですねー。どうしよう、現状は他のヒント無いしな。」

GM「もしニルエナについて情報を知りたいならコロナド家に行くといいたろう」

ウォルロック「ほう？ コロナド家ですか。」

GM「コロナド家は門の警備を協力してやっているからな」

一同「あー。」

GM「コロナド家の家長であるノーツ・コロナドはわしも旧知の仲だね。もし話が聞きたければわしの方からコロナド家には連絡しておこう」

ソルビット「どうするか。行くは行ってみたいな。」

ウォルロック「行ってみたいところだね。」

ソルビット「監視は二人に任せておくか。戻るのもタイムロスでかそうだし。——それではグランさん、お願いします。コロナド家に向かいます。」

GM「それでは次のシーンはコロナド家へ向かおう。」

サイモン「あの二人なかなか戻ってこないなー（笑）。」

▼ミドルフェイズ17 大神殿の女の子

ニルエナについて知るべく、グランの紹介でノーツ・コロナドに会いに行くことにしたウォルロックとソルビット。その道中、大神殿の横を通ることになったが……？

GM：高級住宅街を通ってコロナド家に向かうけど……その途中で大神殿の前を通ります。ソルビット…あー、はいはい。

GM：ふと神殿の中を見ると、掃き掃除をしている神官たちの姿が見えますが……その中に見覚えのある人物を見つけます。クラフトワークスのアカライトでヒューリンの女の子、リリイです。

タチキリ…やはりか。

GM：リリイの方も二人に気付くね。「あれ、ウォルロックさんとソルビットさんですか？」

ソルビット…いかにも。

ウォルロック…どうも。

GM：「お二人で行動してるんですね。何かお仕事ですか？」

ソルビット…情報収集の途中でして……。

ウォルロック…そこまで詳しく言うのもアレだなーという気持ち。

GM「ああ、そうなんですわね」

ウォルロック「まあ、ちよつとアチコチ移動していて……」

GM「そうでしたか。すいません、呼び止めてしまつて」

一同「……………」

GM「……それじゃあ私も掃き掃除に戻ります」

ソルビット&ウォルロック「はい。」

一同「……………」

GM「……はい、シーン終了。」

ソルビット「話を膨らまそうと思つたけどできなかった。(笑)」

ウォルロック「何か言おうと思つたけど出てこなかったわ。」

GM「ちよつと悲しい。——ではコロナド家へ向かおう。」

ちよつと悲しい 実GM
の事前の想定ではPCたちは
神殿に寝泊まりしてもら
い、二日目の朝になったら
リリイと出会うイベントを
予定していた。だが、『ギ
ルドハウス』ができたこと
でそれができず、ここでムリ
やり入れることになった。
結果はご覧の通りです。

▼ミドルフェイズ18 〵 ノーツ・コロナドという男 〵

クラフトワークスの最後の一人、リリイとの遭遇を形式的な挨拶で済ませた二人は、そのままコロナド家へ。門の警備に協力しているという一族らしいが、どんな人物なのだろうか？ そして、ニルエナの情報は手に入るのか？

GM…コロナド家です。高級住宅街から一步離れた位置だけど、普通よりは大きい屋敷だ。ソルビット…ではノックしましょう。

GM…中から使用人らしきネヴァーフの女性が出てくる。「はい、何かご用ですか？」
ウォルロツク…えーつと……なんだつけ。

ソルビット…アフターグローと申します。

GM…「ああ、アフターグローの皆様ですか。お話は聞いてます。中へどうぞ」

ソルビット&ウォルロツク…はい。

GM…中はそう広くは無い屋敷だね。使用人も数人しか見当たらない。そのまま二人は応接間に通され、「こちらでお待ちください。すぐにノーツ様を呼んできます」と言われる。

—少し待つと、立派な体格をしたドウアンの男性が入ってきた。「おお、お前たちがアフターグローか！ よく来たな！」と大きな声で話しかけてくるよ。

ウォルロック…どうも。

ソルビット…お世話になっております。

GM…「俺はノーツ・コロナド。一応子爵の爵位をいただいている者だ。よろしくな」

ソルビット…一応（笑）。よろしくお願いします。末長く。

GM…「なに、貴族といつても全然かしこまる必要はないぞ。俺も元冒険者だからな」

ソルビット…あ、マジでー？（一同笑）

ウォルロック…なるほど。

GM…「この家じゃあ全員一度は冒険者として旅に出るのが習わしなんだ。世界を見て腕を磨くためにな」

ソルビット…おおー、すごい。

サイモン…すごい一家だな。

タチキリ…ガチの強者だった。

GM…「コロナド家はもともとグランフェルデンの外から来た流れ者や傭兵を束ねる部隊の集まりだったんだ。だから代々他国を知るところを大切にしている。——それで、何の用だ？ グラン様から用件は聞いてないのにな」

ソルビット…ニルエナさんという方をご存知ですか？

ウォルロック…北東門の警備担当の。

あ、マジでー？
クルー。手のひら

GM「ああ、ニルエナか。それなら知っているぞ。コロナド家で協力している警護騎士団で門の警備を担当する部隊の副隊長だろう。普段、門では輸出入の管理——物品の出入りだな。その確認や管理も担当しているぞ」と教えてくれます。

ソルビット「ほほー。

GM「隊長は普段本部にいるから、現場での指揮は彼女が取り仕切っている形だ」

ソルビット「なるほど。

ウォルロック「人となりはどうでしょう？

GM「うーん、まあ結構な堅物だな。仕事中に私語はしないし、あまり見知らぬやつと話そうとするやつじゃあない」

ウォルロック「ふーむ。

GM「もしニルエナに話を聞きたいなら、紹介状を書くこともできるぞ？」

ソルビット「それはありがたい。

ウォルロック「お願いしていいですか。

GM「おお、わかった。特に怪しいやつじゃないから話を聞いてやれ、という内容のことを書いてやろう」と言つて、サラサラと書いた紹介状を二人に渡してきます。

ソルビット「ちなみに、ジャンさんはご存知ですか？

GM「ジャン？ 警護騎士団にいるやつじゃなかったか？ 詳しくは知らないな」

ソルビット…なんでも定期的にニルエナと会ってるらしいんですが……意味深。(一同笑)
タチキリ…定期的に逢瀬を重ねている(笑)。

GM…「そうなのか? そういう話は俺のところまでは回って来てないな」とのこと。

ソルビット…堅物かー。実は病気の妹がいて……とか?

サイモン…よくあるやつ。

GM…とりあえず紹介状はくれました。

ウォルロック…他に何か聞くことあるかな? ……思いつかないな。紹介状持つて改めて

ゴーかな。

ソルビット…行くか。ありがとうございました。

GM…「おう、なんだか知らないが頑張ってくれよな」とノーツは送り出してくれます。で

は、シーンを変えましょう。

意味深 この聞いた話をどう捉えるかは個人の自由です。

そういう話 ちなみにGMは職場恋愛の想像をしながら返答しました。

▼ミドルフェイズ19 〵 怪しげな出入り 〵

ソルビットとウォルロックがニルエナ調査のためノーツと出会っている頃、サイモンとタチキリが見張るニルエナのところにも、とある動きが？

GM…今は夕方くらい。ソルビットとウォルロックがコロナド家を出たくらいのタイミン
グでのサイモン・タチキリのシーンを演出しよう。

タチキリ…あいつらまだ来ない。遅い。

サイモン…何かあったのだろうか。

GM…今まで見張っている限り、ちよいちよいニルエナの姿は見てるけど……普通に仕事
をしているようにしか見えないね。

タチキリ…誰かを探してる様子とかは？

GM…そんな感じではない。本当に普通に仕事してる感じ。

サイモン…ふむ。だんだん飽きて来たな。

タチキリ…帰って寝るか。(二同笑)

GM…そんなこんなで夕方になりますが……そこに一人のエルダナーンの男性が衛兵と話
をして指揮所に入っていくのが見える。

遅い
グランのところに行
くだけのはずがコロナド家
まで行っている。

だんだん飽きて来たな
朝
から夕方まで見続けてれば
当然ではある。

タチキリ…おや？

GM…今までは騎士団員以外が指揮所に入ることは無かったけど、その男性は明らかに騎士団員では無いね。ただ、衛兵と話をした上で中に通される。——というのが今見えた。

サイモン…うーむ。タチキリ殿、誰かが入って行きましたぞ。

タチキリ…そうねえ。今のやつだけだよね。

サイモン…怪しい。

タチキリ…かといつて、今のおいらたちにできることはないし。

サイモン…くつ、見てることしかできないのか。

タチキリ…出て来た後に追いかけてたりしてみようか？

GM…少しすると、今入っていったエルダナンの男は指揮所を出てくる。そのまま道を

真っ直ぐ進んで高級住宅街の方へ歩いていくようだ。

タチキリ…うーん。ここで分割する理由は無いよな！。

サイモン…難しい。…片方追ってもいいのでは？

タチキリ…じゃあ追うだけ追うか。見失うなり住居突き止めたら戻ってくるよ。

サイモン…無茶をするでないぞ！ ……パーティがバラバラになっていく。(一同笑)

GM…じゃあタチキリが追いかけていくと。

タチキリ…ギルドハウスじゃなくて絶対ここに戻ってくるからね。

* * *

GM…タチキリが追いかけると、男は高級住宅街の方へ向かっていく。そして高級住宅街に入った辺りで周りを気にし始めるね。キヨロキヨロした感じ。——では、ここで感知判定だ。難易度は10。

サイモン…隠密だ！

タチキリ…やば。(ダイスを振る)セーフ。11。

GM…成功だね。男はキヨロキヨロしたけどタチキリを気にすることはなく、また歩みを始め始める。……その足で向かったのはフェルモード家の屋敷だ。

タチキリ…はー。

GM…男は警備の者と話すと、フェルモード家の屋敷の中に入っていくね。

タチキリ…入ったか。……ここまでだね。帰る。

GM…それではタチキリは屋敷から離れて行きます。

タチキリ…茂みに戻っていく。森へお帰り。(一同笑)

はー 嫌な予想が当たってしまった時のような深いため息を吐かれた。

森へお帰り 王蟲か。

▼ミドルフェイズ20 〵 再集合 〵

ノーツの紹介状に謎のエルダナーンの男。いくつかの新たな手がかりを得たアフターグローが次を取る行動は？

GM…タチキリが戻ったところでウォルロックとソルビットも戻ってくる。全員合流だ。

ソルビット…ただいまー。

タチキリ…おや、やつと戻って来たか。

ウォルロック…ちよつとコ罗纳ド子爵に一筆書いてもらって来たよ。

ソルビット…そつちはどうだった？

タチキリ…暇だったよ。

ソルビット…そうか。（一同笑）

ウォルロック…何か変わったことは？

サイモン…途中で騎士団員ではなさそうなエルダナーンの人物が来てな。

タチキリ…そいつが指揮所に入っていたんだ。他は騎士団員だけだったのに。それで気になって後を追ったんだけど、そのままフェルモード家のお屋敷に入っていたんだよね。ソルビット…なるほど。

暇だったよ 確かに夕方まではそうだったけど、聞きたいことはそうじゃない。

タチキリ…門番とは話をして入ってたから、顔見知りで入ってるだろうね。

ウォルロック…エルダナンの男か。

タチキリ…もしかしたらクラフトワークスのリーダーも見てたりするかも。コネクション取っという名前覚えてないけど、あのリーダーに話を聞く理由もできたんじゃないかな？

ソルビット…ふむ。ニルエナはどうするか。ガン無視して行くか？

ウォルロック…一筆もらったし、凸って話聞くのもよしかな？ニルエナにエルダナンの男が誰か聞ければいいけど……聞ける気はしないな！

謎のエルダナンの男が気になる一行だが、せっかくももらったノーツの紹介状と今は門の前にいることを考え、まずはニルエナに面会してみることに。

GM…衛兵が「おや、二人は先ほども来ていたな。また何か用か？」と聞いてくるよ。

ソルビット…ニルエナさんに会いたい。……会いたい。

タチキリ…病気がこいつ。(一同笑)

ウォルロック…熱烈なファンとかではないです(笑)。

GM…「ニルエナさんは今忙しいはずだからな。あまり……」

ウォルロック…これを見せてもらえれば、と書状を見せます。

コネクション取っという名前覚えてないけど、何度も呼び出してるのに……悲しみのミゼル。

凸って「とつって」と読む。「突撃して」という意味。ちなみに「凸」はれっきとした常用漢字。漢字検定では準二級にあたるらしい。

……会いたい。ちよつとストーカー感ある。

GM「……ああ、コロナド卿の紹介状があるのか。わかった。それなら案内するよ」と言
って衛兵がそのまま中に案内してくれるね。門の脇の入り口から中に入っていく。

サイモン…よかった。

タチキリ…あ、入ったところで衛兵に聞こう。ここつて、一般の人が普通に入つていいも
のなのかい？

GM「いや、そんなことはないぞ。ここは基本的に門の警備を担当する警護騎士団の隊員
たちが詰めて置く場所だ。だから関係ない人が入ることはまず無いよ」とのこと。

タチキリ…へー、知らなかったな。ありがとう。おいらのいたところにはこんなの無かつ
たからね、とキヨロキヨロします。物色。

GM…さて、案内されるとすぐに指揮所らしき部屋に到着します。部屋は簡素で、いくつ
かの書類棚と大きめの机があるだけ。部屋に入ると、中にいた若いヒューリンの女性がキ
ミたちの方を見てきます。「ん？ なんだお前たちは。今は仕事 중이다。何者か知らないが、
余計な邪魔はしないでもらいたい」と言ってきます。

ソルビット…この紹介状が目に入らぬか！

サイモン…デデン。（一同笑）

ウォルロック…コロナド卿から一筆いただきましたして。

GM…紹介状を見せつけると、「コロナド卿の……。それなら仕方ない。コロナド家の者た

物色 タチキリの名がそう
させるのか。

この紹介状が目に入らぬ
か！ タチキリのやりたか
ったことがここに実現。

中には世話になってるからな」と言ってくる。「私はニルエナ・バートス。この警護騎士団で門の警備を担当する部隊の副隊長を務めている。——それで、何の用だ？ 仕事手短から手短に頼むぞ」

ソルビット……ちなみに案内してくれた人は部屋の外に出ました？

GM……「よろしくお願いしまーす」みたいな感じでもう仕事に戻った。

ソルビット……四対一。これ、ドストレートに聞いてもいいんじゃないかな？ ——ジャンさんという方をご存知ですか？

タチキリ……おいらはキヨロキヨロしながら部屋の周りをゆったり歩くよ。

GM……「ジャン？ ああ、警護騎士団内でシグル隊長が指揮する部隊の隊員だろう。それがどうかしたのか？」

ウォルロック……最近は定期的に会っていたようですけど？

サイモン……ジャンさんと会う機会が多いようではないか。

GM……「確かに時折こちらにジャンは来てくれてはいるな」

サイモン……何してたのであるか？

GM……「いや、単に世間話をしていただけだ」

サイモン……ほう、世間話を。

ソルビット……どれくらいの頻度で来てました？

おいらはキヨロキヨロしながら部屋の周りをゆったり歩くよ。探偵モノで犯人を追いつめるシーンでよく見るやつ。

GM…「別に不定期だぞ。そもそも彼は日頃は周辺に出かけているしな。彼とは仲が良いから、戻ってきた時に話をしていただけだ」

サイモン…来た時に彼から何か物を受け取らなかつたか？

GM…「特にそのようなことはないぞ。——そんなにジャンのことばかり聞いて、何かあったのか？」とニルエナも聞いてきます。

サイモン…実は……言っちゃつていい？

ウォルロック…ストレートにやつならぶち込まれてるぞ、とぶっちゃけてもいい気がする。

ソルビット…でも、多分知らないと思うんだよね。会う口実でどつかに細工してたとかの気もする。

サイモン…確かに知らないような気もする。

ウォルロック………わからん！

ソルビット…そういえば、先ほどエルダナンの男性がいらつしやつていたようですが、彼とはどういった関係の方で？

GM…「エルダナンの？ ……ああ、マートのことか。彼はデンシウス家の使用人だ」

タチキリ…は？

ソルビット…ん？ デンシウス家の使用人？

GM…「商人たちからデンシウス家に申請のあった輸出入情報を彼がここに持つてきてい

わからん！ さすが【知力】
を捨てたウォルロック。そ
ういう潔い発言、結構好き
です。

るのだよ」

タチキリ…へー。

GM「私たちは彼から受け取った輸出入情報について、この門で実際の物を確認しているのだ」と説明してきます。「受け取った書類をもとに馬車の荷物が申請通りか確認し、申請外の物があればここで理由等を確認している」

タチキリ…これ、どつかで《インサイト》って言ってもいいんだよね。

GM…もちろん。

サイモン…デンシウス家ねえ。その男がフェルモード家に。……その男がデンシウス家の者だというのは事実なのか？

GM…ニルエナに聞くでいいかな。「当たり前だ。公式な仕事だからな。デンシウス家が商人たちから申請を受け、それを我々警護騎士団が実際に確認する、と以前から決まっている。マートはデンシウス家の使者として申請書類を届けてくることを担当しているんだ」

ソルビット…もうずっとマートさんで？

GM「ここ一二年の間は間違いなく彼だな。その前は私が担当で無いからわからないが」

サイモン…ふーむ。

GM「……こんなところか？ 妖魔の危険が増えている今、警備も気を抜くわけにはいかないのだが」

タチキリ…おっしゃる通りでございます。(一同笑)

サイモン…新たに怪しい人物が出てきたな。どうするか。

ソルビット…ニルエナは関係ない気がしてきたな。

タチキリ…ミスリードな気がしてきた。

サイモン…普通にとぼけてるもありうるのでは。

タチキリ…それじゃあ最後に、情報のリークがありそうという噂があつて調査を続けていることだけ教えて、何か事件等あつたら教えてください、ということだけ伝えておきたい。

GM…それを聞くとニルエナは、「ふむ、そんなことがあるのか。わかった、情報管理は徹底しよう」と言つてきます。

ソルビット…お願いします。

タチキリ…無いに越したことはないけど、もし何かあればおいらたちも協力するから。

GM…「ああ、冒険者のみなにも手伝つてもらふこともあるかもしれないから。その時はよろしく頼む」——そんなところかな？

タチキリ…じゃあ最後に意味深にギルド名を言いながら外に出ます。(一同笑)

GM…「アフターグローでした」と言いながら出ると(笑)。

サイモン…ただの営業(笑)。

最後に意味深にギルド名を
言いながら外に出ます
人の営業努力が光る。商

* * *

GM…さて、北東門から出ましたが次はどうしましょうか。

サイモン…とりあえずマートの素性を調べるか？

ウォルロツク…マート、貴様は何者だ！

タチキリ…キルト連れてミゼルに会いに行く？ デンシウス家の人間でありフェルモード家に入ってるだから、二人から同時に話を聞くのが良いと思うんだよね。

ソルビット…ああ、そうか。そのハッピーセットでいこう。

GM…それじゃあ、キルトとミゼルを呼び出すでいいかな？ キルトに話をしてミゼルを呼んでもらって……。

タチキリ…で、その二人を生贄にオペリスクの巨神兵を……。

ソルビット…二人じゃ足りない。（二同笑）

GM…その前に生贄にしない！（笑）

ハッピーセット ミゼルと
キルトはおもちやじやない
です。

オペリスクの巨神兵 高橋
和希作の漫画『遊☆戯☆王』
に登場する神のカードの一
枚。召喚には三体の生贄を
捧げる必要がある。一般人
が扱うと神の怒りを受ける
らしいが、タチキリは大丈
夫なのか。

▼ミドルフェイズ21 〽 フェルモード家に潜む闇 〽

デンシウス家の使用人がフェルモード家に出入りしている――。ことの真相を確かめるべく、アフターグロウはデンシウス家のキルトとフェルモード家のミゼルの双方に話を聞くことに。フェルモード家への疑念を深める一行に対して、ミゼルの反応は……。

GM…そろそろ夕方から夜になりそうな時間だ。いつもの広場にキルトとミゼルを呼び出すと、キルトは「何度も呼び出されるとこつちも疲れるんだけどねー」と言ってるよ。

ソルビット…すまんの。

タチキリ…一日一回だからいいじゃん！

GM…ミゼルは「それで？ また何かわかったのか？」と聞いてくる。

タチキリ…まずミゼルに聞こう。フェルモード家に出入りしてるマートっていうエルダナーンの男性って知ってる？

GM…「マート？ そんなやつは知らないな」

ソルビット…おやおや。

GM…それを聞くと、キルトが「マートならうちの使用人のことか？ うちにマートというエルダナーンの男はいるぞ」と言ってきます。

ソルビット…定期的に門に輸出入の書類を届けている人か？

GM…「ああ、それはその通りだ。どこで聞いたんだい？」

ソルビット…へへへ、情報元は明かせませんが……。

ウォルロック…（同時に）北東門の詰所で聞いてね。

ソルビット…言ってる横でバラされた。（一同笑）

GM…「まあそれはいいか。確かにマートはうちの使用人で、門の詰所に申請書類を届けに行く仕事をしてるよ」

タチキリ…調査の中で北東門の副隊長のニルエナさんの名前が上がってね。聞き込みに行ったんだ。その時に北東門の詰所に唯一騎士団員じゃないのに入ってたから、怪しいと思って出てきた後に尾行したんだよ。書類届ける仕事とか知らなかったからね。

GM…「ほう。それで何かあったのかい？」

タチキリ…したら高級住宅街に入ったところでやたらと周りを気にし始めてね。……そのままフェルモード家にしれつと入っていったんだよ。

サイモン…そう、すごいしれつと入って行ったのである。

GM…それを聞くと、キルトはちよつと驚いた顔をします。「マートがフェルモード家に入ってたのかい？」

ソルビット…警備員とも仲良さげだったとか。

言ってる横でバラされた
で。悪いことはできないもの

タチキリ…普通に警備員と話して入ってたからね。もちろん忍び込むとかじゃなかったよ。

サイモン…おつすー、みたいな感じ。

タチキリ…——お前見てないやろ！（一同爆笑）

ウォルロック…伝聞（笑）。

サイモン…記憶が混濁している。聞いた情報を自分が体験したかのように（笑）。

ウォルロック…そんなに頻繁に出入りするような間柄だったりするのか？

GM…キルトはちよつと考えた顔をして、「…いや、マートはフェルモード家に行くような用事は無いはずだ。彼は普段の使用人としての仕事に加えて書類を門の警護騎士団に届ける、という仕事をしているだけだ。その彼がフェルモード家に行く理由なんて無い」と言ってくる。ミゼルも「そのマートとかいう男がフェルモード家に入ってきたということは聞いたことが無い」と言っているね。

タチキリ…だからミゼルに先に聞いたんだよね。

ソルビット…どうやらジャンがそのニルエナと定期的に会っている時に、輸送ルート of 紙を持つて行っていたらしいから、そこで上手いことマートと受け渡しをしていたんじゃないのかなと。

ウォルロック…ニルエナに会うのが目的ではなく、そこが情報の中継地点になってたのではないかと考えているんだ。

お前見てないやろ！
とPLの記憶が混濁するの
はTRPGあるある。 PC

GM…それを聞いてキルトが言つてきます。「——つまり、情報はフェルモード家に流れている、と考えているということかい？」

ソルビット…状況証拠だけで見るとな。

サイモン…現状そういうことになるのである。

ウォルロック…物証は無いから、その疑いが、とまでしか言えないが。

タチキリ…おいらたちの話を信じてくれるなら、という条件も付けけどね。

ソルビット…——ああ、ついでに昨日はこんな紙も拾つたよ。（襲撃者たちが落としていった紙を見せる）

GM…それを見せられると、ミゼルは驚いた顔をする。「これは——」

ソルビット…ついでのように渡したけど、**重い内容なんだよな！**。（一同笑）

タチキリ…おいらたちも有名人だな！

サイモン…どやー。

GM…「……この前も言つたように、この紙はフェルモード家じゃないと使えないような代物ではない」

ウォルロック…出入りしてたり縁のある人なら手に入るんだよな。

GM…「だが——」とミゼルも考えた顔。少ししてミゼルが聞いてきます。「……それで、お前たちは今どう考えているんだ？」

ソルビット…(GMに) ちなみにミゼルって一人っ子？

GM…ミゼルは一人っ子だね。

ソルビット…貴族の長男の一人っ子が冒険者かー。すごいなー。

タチキリ…パパ上よく許したな。

ソルビット…——マートがミゼルの父親に……かな。

サイモン…マートがフェルモード家の誰かに情報運び入れているのは間違いないだろう。

GM…「お前たちはフェルモード家、特に……父上を怪しんでいる、ということか？」

ソルビット…そうだ。

サイモン…残念ながら、そう言わざるを得ない。

ウォルロツク…まあ、状況証拠的にはそう考えてしまっただけども。

GM…それを聞くとミゼルはキミたちに言ってくる。「……もしそれが間違いで、その間違

いでフェルモード家に傷を付けるようなことがあれば国はお前たちを許さないだろう。フ

エルモード家は国を任された大事な貴族の一つだ。それでもお前たちは本気でフェルモー

ド家を——父上を、調べる気があるのか？」

ソルビット…親だったら調べないのかい？

GM…ミゼルは少し黙った後に「……そういうわけではない」と言ってきます。

ソルビット…もちろん、国に楯突く覚悟はできているさ。最悪別の国に行けばいいしね！

最悪別の国に行けばいいしね！ 特定の定住地を持たない冒険者、それは弱みでもあると同時に、最大の強みでもあるのだ。

ウォルロック…フェルモード家に疑いを向けるためにわざわざあの紙を使っている可能性もあるからなんとも言えないが……。

サイモン…でも警備員もズブズブだからな。

タチキリ…建前としては、フェルモード家に傷を付けようとしているやつがいるから探させてほしい、という感じかな。ま、これはおいらたちの保身だけど。

GM…そういう風に言くと、ミゼルは「建前はいい。率直なお前たちの意見を言え」と言ってくるよ。

サイモン…じゃあやっぱり親父さんが怪しいと思うのである！（一同笑）

タチキリ…第一印象が良くなかったからね。あれは……普通にムカつくわ。

ソルビット…違ったら謝った後に逃げるよ。

GM…それでどうする？ 父上に会ってみるか？」

ソルビット…今会つてもな！

サイモン…証拠が無いからな。

タチキリ…今会つても叩き出されておしまいだと思ふんだよね。

GM…俺と一緒にに行けばそんなことにはならないさ。——俺は父上を信頼している。ただ、お前たちが父上を本気で調べたいと言うのであれば父上に会わせてやることはできる」

タチキリ…ふむ。セーブしてから考えるか。（一同笑）

じゃあやっぱり親父さんが怪しいと思うのである！
サイモンらしい率直な回答である。

セーブしてから考えるか
人生は、セーブはできないもロードはできないのだ。

サイモン…会ったところでどう聞かであるな。

GM…本当に怪しいと思うのであれば、父上が本当に怪しい人物かその目で確かめてみる」
ソルビット…今はフェルモード家の近くだっけ？ 門の警備員にマートが既に帰ったか聞

くか。もしまだ中にいれば、そういう話をしている可能性がなくなるはない。

タチキリ…それじゃあ、門番にマートのことを聞いてきてくれない？ とミゼルに頼む。

おいらたちだと言われるかわからないし。しらばつくれられたら困るから。

GM…「わかった」と言つて、ミゼルは屋敷の方に聞きに向かう。——戻つてくると、「門番はマートという者はそもそも来ていない、と言っている」と話してくるね。

タチキリ…おや。

ソルビット…これはミゼルは知らされてないやつだね。しらばつくれるだろうな。

タチキリ…今ミゼルが聞いた門番とおいらが見た門番は一緒？

GM…一緒だね。「父上に会いに行くか？」とミゼルが再度聞いてくるけど？

サイモン…——行くか！

ウォルロック…行こうか。

ソルビット…保険なんていらん！ 真正面から！

タチキリ…金はある！ 金さえあればいいや。(一同笑)

金さえあればいいや。これはこれで冒険者らしい。

▼ミドルフェイズ22　　ゝ　ギルガル・フェルモードという男　　ゝ

グランフェルデンの貴族の一人、ギルガル・フェルモード。ミゼルの父親でもある彼を調べることは国に楯突くこと——そう聞いても、アフターグロウは調査を止めない。覚悟を決めた一行は、ミゼルと共にギルガルとの面会へ向かう。

GM…フェルモード家に向かい、ミゼルは衛兵と話して門を開けてくる。「付いてこい」と。

ソルビット…キルトも一緒に来るよね？

GM…いや、キルトは後ろで「がんばってねー」と言ってるよ。

ソルビット…帰るの!?

GM…「ちょっと外で待つてるよ。さすがに僕も入っていくとよくわからないからね」

ソルビット…じゃあ、俺たちが死体で出てきたらグランさんに伝えといてくれ。(一同笑)

GM…「ああ、わかったよ。しっかり伝えておくよ」とニコニコしながらキルトは返してるね。ミゼルは「早くこっちに来い」と呼んでます。

サイモン…うおー、突撃ー！

GM…中は豪華な美術品が惜しみなく並べられ、たくさんの使用人が掃除や給仕で動き回っているのが見える。「こつちだ。付いて来い」と言うミゼルについて四階まで上がります。

タチキリ…足が痛いんだけど。

GM…四階の通路を進んで突き当たりの部屋の前まで来ました。ミゼルはドアをノックして「父上、入ります」と言つて中に入る。中は広い部屋に煌びやかな美術品の数々。そして、部屋の真ん中にはノルテマンド伯爵——ギルガル・フェルモードが座っています。

ソルビット…おおー。

GM…ミゼルが声をかけ、「父上。この者たちが父上に聞きたいことがあると」と聞くと、ギルガルは「ああ?」と言つてゆつくりと振り返り、キミたちを一瞥してくる。「——ふん、レーヴェン家を見た田舎者ではないか。こんなところに来る身分ではないだろう」

タチキリ…おつしやる通りでございます。(一同爆笑)

ソルビット…下賤な私たちをこの屋敷で雇つていただきたく……(笑)。

サイモン…謎のムーブが始まつてしまった(笑)。そういう話じゃない。

GM…「そんな者を雇つている暇はない」とギルガル。

ソルビット…——ま、場をあつたためるジョークはさておき……。

サイモン…ここから一気に冷やすぞー。

ウォルロック…ちなみにGM、ここにいるのは当主のギルガルだけ?

GM…中にいたのはギルガルだけだね。

ウォルロック…来客の気配とかは無いと。

足が痛いんだけど 半日歩いたりもする冒険者が四階くらいで根を上げないでください。

謎のムーブが始まつてしまった 謎のムーブが入らない方が珍しいので驚きは無いのがすごい。

GM…「ミゼル、何故連れてきた？」とギルガルはミゼルの方に聞いてきます。

タチキリ…単純にミゼルさんとは冒険者ギルドの方だね。

ウォルロック…ちよつと縁がありまして。

GM…「ん？　なんだミゼル。冒険者のやつらか？」とミゼルに聞くと、「この冒険者たちが父上に直接聞きたいことがあると。それゆえ連れてきました」とミゼルは返します。

ソルビット…とりあえず順を追って話していこう。

サイモン…それじゃあまず――。

GM…――と話を始めようとするけど、それを聞く前にギルガルはミゼルに向かって声を荒げてくる。「そんな戯言、使用人にでも任せればいいだろう！　汚らしい冒険者風情が、わしの手を煩わせるな！」

タチキリ…ミゼルの悪口はやめる！（一同笑）

ソルビット…ちよつと思っただけ言わなかったことを（笑）。

GM…それを言うのとタチキリの方に――。

タチキリ…言わないよ！　言わないよ！

GM…もう言っちゃったからね。「――貴様にミゼルの何が分かる！」と言ってくる。

サイモン…おや、愛されてるではないか。

GM…もう一度ミゼルを見る。「ミゼル、お前はいつまで冒険者ごっこを続けるつもりだ？」

言わないよ！　発言には責任が付きまとう。言ってしまったものは取り消せないのだ。

ソルビット…やっぱり始まったか。

GM…「お前には私の跡を継ぎ、このフェルモード家を、ひいてはグランフェルデンを強くする使命がある。ゆめゆめ忘れたわけではあるまい？」と声を荒げ続ける。

タチキリ…ごめん。これはお父様に同意だなー。ああ、確かになーとも。

ソルビット…しばらく黙ってるか。ちやちや入れはやめよう。正論っちゃ正論だし。

サイモン…きつと何か事情があるのである。

ウォルロック…お家の事情には突っ込めないな。

GM…ミゼルはそれを言われて、小さめな声で「……わかっています」と答える。ギルガルは「ならば幼稚な友人などと冒険者ごっこをしている場合ではない。さつさと辞めて、貴族としての教育を受けることに専念しろ！」と言ひ、ミゼルは「……考えておきます」と答えるばかりだ。

ソルビット…あれ、弱いなおい。

サイモン…——それはそれとして、こつちの用事です。帰れと言われようと、このまま帰るわけにはいかないのである。(ギルガルに)……実は我々はレーヴェン家のグラン様から極秘の命を受けて動いているのである。

GM…「ん？ グランから？」とギルガルは眉をヒクツと動かしてくる。

ソルビット…まずは話を聞いてもらわないとダメだからな。名前は出さないと。

サイモン…ここ最近頻発している妖魔による食糧強奪事件のことで……。

ソルビット…この家の人間が関わっている可能性があるくらいでいこう。「お前が犯人だ！」は露骨すぎるからな。

ウォルロック…この家に縁のある人間が……と。

タチキリ…あの事件には人間側の内通者がいるようだ。

サイモン…そう。捜査線上にこの家が浮かび上がったのです！ どーん。（一同笑）

GM…「ほう？ それは何か証拠があつてのことか？」と聞いてくるね。「証拠もなく我がフェルモード家に何か疑いを示そうというのであれば、こちらにも考えがあるぞ？」

タチキリ…むしろフェルモード家に傷を付けようとしている者がいるかもしれないと。

サイモン…これを見てほしいのです！ さつ、と破れた方の紙を見せる。

GM…紙を一瞥して、「ふん、この紙がどうかしたのか？」と聞いてくる。

サイモン…それは妖魔への情報のリークに使われていた……紙です。（一同笑）

ウォルロック…この部分に虎の意匠が。

タチキリ…わざわざこのような紙を使用して妖魔に情報を流すのは、フェルモード家を貶めようとしている者がいるのではないでしょうか。

GM…それを聞くとギルガルは「ふん。もしかしたらそうかもしれないが、フェルモード家はその程度で傷が付くような家系では無い」と言ってくるね。

捜査線上にこの家が浮かび上がったのです！ 指を突き付けながら高らかに宣言するやつ。

サイモン…しかし、この紙を使って妖魔たちと繋がっている者がいるのは確かなのだ！

GM…「そうか。ならば、それは警護騎士団に任せて調査をさせよう」

サイモン…いや、警護騎士団内にも内通者が発見されているのである。

タチキリ…シグル・レーヴェン殿が率いる部隊の一員が部屋に忍び込んでいるところに我々は鉢合わせまして。今は絶賛尋問中なのです。

GM…「であれば、シグル・レーヴェンのところが関わっているということではないか」

タチキリ…確かに！（一同笑）

ソルビット…やめんか！（笑）

ウォルロック…まだあるから！

サイモン…それだけではないのだ！ そのジャンが情報運び込んでいたと思われるのが

北東門のニルエナ——。

ソルビット…ニルエナの名前は出さなくていいんじゃない？

サイモン…そつか。——北東門の警護騎士団の詰所で情報を受け渡していたと思われるのであるが、マートというエルダナンの男が情報を受け取ってこのフェルモード家に入っているのが目撃されているのである！

GM…「ほう、そうか。——それで、その証拠はあるのか？ マートとかいう男をわしは知らないが、そいつがうちに入ってきたからといって何か問題があるのか？」

確かに！
ひら。

回りやすい手の

タチキリ…彼はデンシウス家の者だと話を聞いてますが、その者がフェルモード家に入る理由が見当つきませんで。しかもコソコソ忍び込むでもなく、門番とも話をして。

サイモン…しかもその門番に聞いてみたところ、マートという人間は知らないなどとシラを切るのである！

GM…「ほう、そうか。わしもそんな他の貴族の名も知らぬ一介の使用人が我がフェルモード家の敷居を跨ぐ理由など全く思い付かん」とギルガル。「それに、そのような者が入ったという連絡は受けていない」

ソルビット…受けていない？

サイモン…もしやと思うのだが…マートがこの屋敷に忍び込んでいるのではないか？

タチキリ…あるいはその門番が手引きをしているのではないかと。

GM…「それならば門番の方はこちらで見ておこう。……で？ 目撃情報があつたと言ったが、実際に誰が見たんだ？」

タチキリ…おいら。

サイモン…この人です！

GM…「ほう、お前が見たのか。それで、それが本当にマートとかいう使用人だと、そしてうちに入ってきたという証拠は何かあるのか？」

タチキリ…うーん……おいらは見たとしか言えないからなあ。

GM「お前のその証言は本当に信用できるものなのか？ たかが冒険者の田舎者風情の戯言が本当だと、どれだけ信用できる？」

サイモン「くつ、旗色が悪いぜ。」

タチキリ「言つた言わないの間答になつてしまうのはしょうがない。ただ、そういった状況があるということはお伝えしようかと思ひまして。」

GM「ならば勝手に調べているがいい。こちらはそんな些末なことにまかめている暇は無いのだ。貴様ら冒険者などというものと違って、貴族は国の為に常に活動していかなければならないのだよ！」とギルガルは声を荒げながら言つてきます。

サイモン「うーん。屋敷の中をどうにか調べさせてもらうか？（ギルガルに）伯爵の手を煩わせないので、どうかこの屋敷を調べさせてもらえぬか？」

GM「薄汚れた冒険者風情などに屋敷を徘徊させるわけはないだろう！」との返答。

タチキリ「ではせめて、そのマートという人物がここに出入りしていたかどうかを屋敷の外から調べさせてもらえませんか？ その門番がそこを通したという状況を押さえれば、おいらの証言が妄言ではないと信じていただけるでしょうか。」

GM「ちゃんとした証拠があればわかるだろうな。で、どうやって証明する気だ？」

タチキリ「……………それは、いるところを押さえる以外はおいらはできないのですが……………」

GM「それはそうだろうな。じゃあ、がんばっているところを押さえてくれ」

タチキリ…まあそのことを一応報告はしないと、さすがに人の家の前でずっと張り付いて
いるわけにはいかないので。

サイモン…張り込ませていただきたい！

GM…「ふん、好きにしろ。たかが冒険者風情が屋敷の周りにいたところで、こちらが気に
するものは何もない」

タチキリ…それではよろしくお願いします。……これ以上言うことはおいらは無いかな。

サイモン…この流れでいいか？ とりあえず。

ソルビット…まあ、いいんじゃない？

タチキリ…やりすぎたかな？

GM…「とにかく、ちゃんとした証拠も無いのに冒険者風情が貴族の家まで上がり込んでくるんじゃない！」とギルガルは言ってます。

タチキリ…まあ、おっしゃる通りで。依頼主が依頼主でもあり、あまり広められると犯人
に逃げられてしまうかもしれないので……なるべく内密にお伝えしたかったのです。

GM…「そうか。——今聞いた話だけでは、むしろレーヴエン家が怪しいのではないか？
やつの長男がいる部隊で裏切り者がいたんだらう？」

タチキリ………ぐうの音も出ない正論ですね。

サイモン…まあ、マートが入っていったという目撃証言が怪しいからここに来てるわけで

あるし。——というわけで、ちよつと張り込ませてでいただくのである！

GM…「好きにしろ。とにかく、これ以上貴様らと話をしている暇は無い。さつさと出て行くがいい！」

ソルビット…お邪魔しましたー。

タチキリ…お手数おかけしました。

* * *

サイモン…かなり素で喋ってしまった。

タチキリ…本気で疲れた顔するわ。ムツチャ言葉選んだ。

GM…ミゼルと共に外に出ると、ミゼルが声をかけてくる。「——あれが父上だ。言葉はともかく……グランフェルデンのことを第一に考えているのは事実だ。俺はそんな父上を尊敬している。……例えば考え方が違ったとしても、だ」

ソルビット…親子だわー。(一同笑)

サイモン…ミゼル殿もなかなか苦労しているようだな！(笑)

タチキリ…前のアレはそういうところからきてるんだったんだね。

GM…「貴族に生まれたからには責任がある。国を、民を守らなければならない。その父上

かなり素で喋ってしまった
相手が貴族かつ容疑者という
ことで、全員かなり緊張感
を持って会話をしていた。

親子だわー 血の繋がりに
はなかなか抗えないのだ。

を大した理由もなく侮辱することは、例えお前たちでも許さない」とミゼルは言ってくる。

「確実な証拠でも無い限り、これ以上疑うことはよしてくれ」

サイモン…マートが怪しいのは事実。とりあえずここでもう一度来ることがないか張り込ませてもらおうと思う。

タチキリ…マートのことにに関してだけはあんたの父上を疑っているわけじゃないけど……この家自体に可能性があるから、そこまでは調べさせてもらうよ。

GM…「ああ、好きにしろ」とミゼル。タチキリには「別に父上を疑う気持ちを隠す必要はない。だが、確実な証拠も無くそういうことを言うのはやめてくれ」と言ってきます。

サイモン…じゃあ、張り込むか。

ソルビット…いや、今日はもう来ないでしょ？

タチキリ…今日は帰るけど……グラン・レーヴェンのところ行く？

ソルビット…土下座しに行くか。

タチキリ…ついでに何か吐いたか聞きに行く？

ウォルロック…尋問の進捗がどうか聞くのはアリだと思うけど。

GM…それじゃあ、まずはどこに行く？

サイモン…グラン・レーヴェンのところに行こう。

土下座しに行くか
グラン
の名を出してフェルモード
家にはば宣戦布告をしたこ
とについてかな。

▼ミドルフェイズ23 貴族の力を越えるには

いくつかの証拠を突きつけるも、ギルガルは動じなかった。ミゼルの協力も難しくなり、貴族の権力を持つギルガルと闘うには確実な証拠が必要——その現実が立ちはだかった時、アフターグローはついに行動に出る。

GM…レーヴェン家です。前にはグラン・レーヴェンがいます。

タチキリ…フェルモード家に凸ってきたよー。(一同笑)

ソルビット…すごい人でしたね(笑)。

GM…「何かわかったのか？」とグランは聞いてきます。

サイモン…ジャンからニルエナに繋がって、ニルエナからマートに繋がって、マートがフェルモード家に入って行きました！ という流れを説明します。

GM…「そうか」とグラン。「その流れが本当であれば、フェルモード家が怪しいのは間違いないだろう。だが、そうした目撃証言だけでは状況証拠にしかない。そして、実際にノルテマンド伯爵は力のある貴族だ。どこに掛け合ったところで、状況証拠だけでは彼を追いつめることはできない。もし本当にノルテマンド伯爵——ギルガルが黒幕だとすれば、確実な証拠をつかむ必要がある」

凸ってきたよー そんなに
気軽に言われても。

サイモン…というわけで、マートを押さえようと思うのであるが。

GM…「だがマートを取り押さえても、そのマートが例え何か言ったところで、その相手がシラを切り、それが貴族であれば証言は通用しないだろう。マートが適當なことを言っているだけだと貴族側が言えば、恐らく国は貴族を信用する」

サイモン…そうか。どうするか。

タチキリ…我々が貴族になる。(一同笑)

GM…遠い道のりだな(笑)。

ソルビット…こつちも貴族を連れて行けばいいでしょ。

タチキリ…坊ちゃん二人？ キルトとミゼル。

GM…所詮は息子だし、ミゼルは父親を信頼してる。キルトは次男だから大した力はない。

サイモン…つまり、入るところを押さえたところで、入ろうとしただけです、つてなると。

ウォルロック…そうだね。

GM…マートが何を言ったところで、マートが切られて終わるだろう。

サイモン…マートの部屋の方を漁ってみるとか？

GM…グランは「——いや、こうなれば実際にノルテマンド伯爵がその書類を持っているという証拠を押さえるしかないだろう」と言ってます。

サイモン…侵入か。こうなれば忍び込むしか……。

我々が貴族になる。熱い志
を持ってグランフェルデン
の政局へ。……計画が遠大
すぎる。

タチキリ…申し訳ないが、グラン・レーヴェンやあなたの息子の名前も出してしまつたんですよ。万が一の場合、あなた方にも火の粉が飛んでくるかもしれません。

GM…「いや、それはもう構わない。何より重要なのはこの問題を解決することだ」

サイモン…このままではジャンとニルエナとマートを捕まえて終わりになりかねない。

ソルビット……いいんじゃない？ 侵入で。

サイモン…それじゃあ——**こうなれば我輩たちがこっそり潜入して証拠を掴んでます！**

タチキリ…どう入ろう。門番を落とす？

サイモン…あとあと困るから、人を傷付ける手段は取りたくないのである。こっそり。

ウォルロック…真正面から押し入るのは無理っただけだね。

そして実際に潜入する人を検討する一同。**【感知】がほぼ横並び**のため、シーフであるタチキリと潜入後の書類調査等に使える**【知力】**が高いサイモンの二人で試みることに。

タチキリ…あ、ついでに尋問の結果だけ聞いておきたいけど。

GM…**進展は無い**です。

タチキリ…オッケー！（一同笑）

GM…——では、ちょうど夜なのでシーンを変えてフェルモード家侵入を試みよう！

【感知】がほぼ横並びタチキリがバートルに転職して**【感知】**が減少したため、ソルビット以外の三人が同値（4）になっている。

▼ミドルフェイズ24 潜入！ フェルモード家

確実な証拠を得るため、フェルモード家への潜入を決意したアフターグロウ。果たして無事に潜入し、証拠は得られるのか？ すべての運命は——ダイスにかかっている。

GM…では夜、屋敷の前です。当然出入り口には門番が控えています。……とはいえ、普通の屋敷に変わりはなく。どこから入りたい？

タチキリ…登攀はしたくない。

GM…ぶっちゃけ侵入は【感知】判定オンリーでやるつもりなんで、演出的にどう入りたいかだけ言ってくれば。

サイモン…それじゃあ門番の余所見してる隙について行くか。

タチキリ…ウォルロックとソルビットに門番の気を引いてもらいたいな。

ソルビット…じゃあ門番の真正面にガン立ちするか。張り込み中です。許可は取ってます。

(一同笑)

ウォルロック…我々はジーツと見てる(笑)。

GM…いいよ(笑)。

サイモン…それじゃあその隙に横をススと。タチキリ殿、早くカギを！

許可は取ってます 何も言わないし顔色も変えない衛兵だが、内心はかなりイラついてると思われる。

タチキリ…はいよ。

GM…それじゃあ、そこで【感知】判定としよう。難易度は12。失敗すると気付かれるぞ。

タチキリ…フェイト入れる。

サイモン…我輩もフェイト切るか。もはやラスボス戦。

タチキリ…（ダイスを振る）あ、足りない。

サイモン…（ダイスを振る）我輩も足りてない……。

GM…このままじゃ二人とも気付かれますよ。

サイモン…仕方ない、もう一個フェイト切るか。（ダイスを振る）成功！

タチキリ…振り直し。（ダイスを振る）あー！ 1足りない！ 見つかってしまった。

GM…タチキリが失敗か。コソコソと入ろうとすると、衛兵が後ろに気が付いて「お前た

ち、何をしている！」と言われます。

サイモン…あちゃー。……相手は一人？

GM…衛兵は一人だね。

ソルビット…殴るか。しょうがない、正義のためだから。

タチキリ…じゃあ書簡を出して、これを見ていただきたいのですが……と目を引こう。

GM…それじゃあ衛兵がタチキリの方を見たところで、後ろの二人が【筋力】判定。難易

度は10にしよう。

1足りない！ここぞとばかりに妖怪登場。

ウォルロック…イエー！（ダイスを振る）12で成功！

GM…ウォルロックがキャリバーをブチ当てると、衛兵は「うぐつ」と昏倒します。

ウォルロック…静かにやるならね、グリップで殴るしかないんだ。

ソルビット…よし、ここまで来たら全員で行くか。（一同笑）

タチキリ…マジごめん。

サイモン…ダイス目はしょうがないのである。切羽詰まっているからな。

GM…門のカギはタチキリがチャチャつと解除して中に入ることができます。

ソルビット…衛兵は門の中に引き摺り込んで茂みの中で葉っぱをかぶせて目立たないように。猿ぐつわで縛る。

GM…屋敷の中に入りました。さて、どこに行きますか？

ソルビット…四階！

サイモン…あいつの部屋だ！

GM…ギルガルの部屋だね。——夜なので人は少なく、隠れて進むことで無事にギルガルの部屋の前に来ました。

サイモン…すごい優しい（笑）。

タチキリ…扉にトラップ探知。（ダイスを振る）ファンブル!? ダメだわこのダイス！

ウォルロック…3Dでファンブル！（一同爆笑）

ここまで来たら全員で行く
か
みんな仲良し、アフター
グロ！。

すごい優しい テンポの良
きも時には大事なので。
3Dでファンブル！ ふん
だりけつたりのタチキリ。
心の動揺がダイスに現れて
るぞ？

GM…タチキリは《ファインドトラップ》があるから、ファンブルしたけど何かがあったとしても反応はせずに済んでるね。

サイモン…トラップ探知って【感知】だっけ？ 探知も失敗すると発動するの？

GM…《ファインドトラップ》を持ってなければ探知に失敗したトラップは発動する。

ウォルロック…怖いなー。

タチキリ…ごめん。今日のおいらはダメだ。

GM…ちなみに扉はカギはかかってます。解除値10のカギ。

タチキリ…解除は問題ないけどなー。

ウォルロック…——俺がいくか。トラップ探知。

サイモン…フェイト乗せたらどうであるか？

ウォルロック…それか！ フェイト突っ込んで3Dで振る！（ダイスを振る）えっと、15！

ソルビット…お、高い。

GM…15ね。——ウォルロックは扉から「アラーム装置」を発見した。探知値は12でした。

ウォルロック…あぶねえ！

GM…解除値は10ね。

ウォルロック…（タチキリに）解除はよろしくお願いします。

タチキリ…ダイスコっち貸して。さすがに連続でこんな目は心折れる。（一同笑）

あぶねえ！ 見事なフォオリ。これぞチームプレイ。

ダイスコっち貸して ダイスを変えて気持ちを取りセットだ。

GM…そうだな、そのダイスはさっき俺もアーチャーでだいぶファンブルしたしな（笑）。
 タチキリ…（ダイスを振る）すごくない？ 16。

GM…さすが。無事に「アラーム装置」は解除できました。扉のカギも解除値一緒なので同時に解除できたということ。これで、部屋の中に入ることができます。

タチキリ…次は《トレーニング…感知》一択だな。

GM…部屋の中にはいくつかの書類棚とギルガルの執務机があります。どこを調べる？

まずは**執務机**を調べるも、残念ながら何も見つからず。

ウォルロック…じゃあ室内か。

GM…室内全体なら【感知】判定で。

ソルビット…隠し扉かな。（ダイスを振る）お、クリティカル。

GM…クリティカルしたか。——ソルビットは室内を調べていると、書類棚の本の一つが「**開閉装置**」になっていることを見つけたぞ。

ウォルロック…押すと「ガコッ」ってなるやつだ！

サイモン…こんなのがあるとか、もう黒でしょ。

GM…押してみますか？

そのダイスは、もちろん普通のダイスだが、こういうことに人はジンクスを感じずにはいられないのだ。

執務机を調べる ソルビットが机の引き出しをバインとやってバインと中身を全部出していた（原文ママ）。

押すと「ガコッ」ってなるやつだ！ ちよつと興奮。こういうギミックって定番だけど、男は愛わず好きなものだ。

ソルビット…(タチキリに) トラップ探知お願いします(笑)。

タチキリ…トラップ探知。(ダイスを振る) 6・6・6のクリティカル! (一同爆笑)

ウォルロツク…さっきのファンブルを加味したら平均だな! (爆笑)

GM…えー、特に何も無いです! 「開閉装置」だけです。

タチキリ…ただの棚だ!

サイモン…では押すのだ! ガチャン。

GM…ガチャつと押すと、棚がゴゴゴと横に動き出す。そして、後ろに隠し扉が現れる。

サイモン…ふふふ、あの伯爵め。なかなかロマンのある隠し方を。

棚の後ろに隠された部屋に入る一行。そこには書類棚と机、そして机から見たことのある紙——運送計画の紙および妖魔への指示が書かれた紙が見つかる。決定的な証拠だ。

さらに書類棚を調べると、グランフェルデンの歴史や魔法の知識、錬金術の知識など様々な資料を見つけ……その中から、この屋敷の見取り図を見つけ出す。

GM…どうやら見取り図によると、上は四階までだけど、地下室もあるようだね。下にも比較的広い部屋が二部屋あることが見取り図からわかる。

サイモン…明らかに怪しい。

6・6・6のクリティカル!
バイオリズムの乱高下が
激し過ぎて笑わずにはい
れなかった。

なかなかロマンのある隠
し方を このロマンをわかっ
てくれる仲間たちでGMは
嬉しいです。

明らかに怪しい PLが少
しメタな見方をしても、そ
れはPCである冒険者の感
の良さとすれば何も問題な
いのだ。

タチキリ…隠し部屋とかは書いてない？

GM…見取り図上では隠し部屋となっている部屋は無いね。今いる部屋も見取り図上ではギルガルの部屋と繋がってるだけ。

ソルビット…それを柵で隠しただけか。

サイモン…我輩の感では地下が怪しいな！

ウォルロツク…高いところが怪しく無いなら低いところと。

GM…さて、机の上には運送計画の紙と妖魔への指示が書かれた紙が置いてあるけど？

タチキリ…もううか。

ソルビット…いや、持って帰ってもどうにもならないだろ。

ウォルロツク…ここから出たものだと言明できないな。

ソルビット…だから…：：：グランさん連れてきて、目の前でこの隠し扉を開けるのが一番良いと思う。

ウォルロツク…それかー。元通りにしておけば…：：：？

サイモン…でも、門番という元通りにならないやつが。

タチキリ…グランさんを今すぐ呼べばいい。今から何人か抜け出して急いで呼んでくる。

サイモン…ええー。グランさんにも侵入させるのであるか？（一同笑）

ソルビット…いや、それは真正面からで（笑）。

グランさんにも侵入させるのであるか？それができるほどのシーフならグランが直接調べます。

サイモン…こんな夜更けに？

ソルビット…あー、今はダメか。普通に日中の訪問じゃないと怪しいな。

サイモン…今はこつちに負い目がある状況だからな。……ただ、明日を待つとなると門番のしちやつたからなー。

GM…さて、どうする？

サイモン……地下を見ておいてもいいかと思うのだが、どうだろうか？ この見取り図が出てきたということは、やっぱりこの屋敷に何かあるものだ和我輩は思うのである。
ウォルロック…確かに。――行こう。

ソルビット…とりあえずこの部屋は元に戻して、地下に行くか。アラームも再設置して。
タチキリ…見取り図だけ持つて行こうか。

サイモン…じゃあ懐に入れていこう。

GM…それじゃあ、部屋を元に戻して地下の方へ向かおう。

▼ミドルフェイズ25　　ゝ　迷い　　ゝ

ついに見つけた決定的な証拠。しかし、持ち帰ってしまっても証拠にならないと考えたアフターグローは、ひとまず部屋を元に戻し、後日に隠し部屋と証拠を白日の下に晒すことを計画する。だが、部屋のアラーム装置を再設置しようとした時……その者は現れた。

GM…それじゃあ、部屋を出てアラームを元に戻そうとしているところですが……そこで「——お前、ここで何をしている？」と後ろから声がかかります。

サイモン…ハッ！

タチキリ…見りやわかるだろ！　アラームを直してるんだよ！（一同爆笑）

ソルビット…今いいところだからちょっと待ってー（笑）。

GM…「だから、何故そんなことをしているのかと聞いているんだ！」と言ってきたのは、フェルモード家長男のミゼルだ。剣に手をかけながら声をかけてくる。

タチキリ…ハ—イ。

ソルビット…こんばんは、泥棒です。（一同笑）

ウォルロック…めちやくちや怪しい者です、としか言いようが無い（笑）。

サイモン…ま、待てミゼル殿。

見りやわかるだろ！
しいほどの逆ギレ。
清々

泥棒です　もはや言い逃れ
はしない覚悟。……ではな
く茶化してただけっぽい。

ソルビット…とりあえずアラーム直すから待つて…いや、待てよ？ 戻さないで見ても

らった方が早いのでは？

ウォルロック…それか。

ソルビット…——ミゼル、この部屋に隠し扉があることを知ってるか？

GM…「隠し扉？ 何のことだ？」

サイモン…勝手に侵入したことは謝る。だが、これを見てほしい。

ウォルロック…まずはこれを見てもらいたい。

タチキリ…我々の首をはねるのはその後で十分だろう？

GM…「……わかった。いいだろう。何があるというんだ？」と言つて、一度剣を収める。

ソルビット…ありがてえ、ありがてえ。

サイモン…ささ、こちらこちら。

タチキリ…あれ、どこだっけ。（一同笑）

ソルビット…おい！（笑）見つけたの俺だから大丈夫。

GM…カチツと本棚の本を押すとゴゴゴつと動きます。「こんなところに入り口が？」とミ

ゼルは驚いた様子です。

ウォルロック…そしてこんなところにー？

サイモン…これを見るんだー！ バーン！

あれ、どこだっけ 自分で
見つけてないものはすぐ忘
れるもので。

GM…ミゼルは机の紙を見る。運送計画の紙、妖魔への指示が書かれた紙……周囲は破られているが、明らかにフェルモード家の紙であろうものがある。それを見たミゼルはかなりシヨックを受けた様子で「父上が……そんな……」と声を出す。

タチキリ…我々が置いたと考えるのか。

サイモン…さすがに大掛かりすぎ（笑）。一夜の侵入で突然こんなすごい仕掛け作つてるのか。（一同笑）

ソルビット…隠し扉がある前提だしな（笑）。

GM…「元々、お前たちのことを疑っているわけではない。フェルモード家を陥れたところで、お前たちに何か利益があるとは思えないしな」

ウォルロック…まあな。

GM…「ただ、今までは確たる証拠もなく侮辱することだけは許さないと思つていた」

タチキリ…ああ、そうか。

サイモン…そういう話であつたな。

GM…「だが、これは……」とシヨックを受けたミゼル。そして、少し間を置いて言つてきます。「……父上はグランフェルデンのことを本当に思つている。意見の衝突こそあれ、そこは……本当に尊敬しているんだ……」

ソルビット…それはわかる。

我々が置いたと考えるのか
か もうちょつとミゼルの
ことを信用してくれてもいい
んですよ？

ウォルロック…ああ。

GM…「少し時間をくれないか？」とミゼル。「明日またいつもの場所に来てくれ。その時に、俺の答えを出そう」

サイモン…ふむ。

タチキリ…そのことに対して、一つの疑問と一つの頼みがある。

GM…「なんだ？」

タチキリ…地下室って何？

ウォルロック…ああ、普通に倉庫の類だったらなんということはないからな。

GM…「地下室？ 地下には倉庫のような物を詰めている場所はあるが……」

ソルビット…この見取り図とキミが知っている地下室は合っているかい？

GM…それを見ると、「……いや、見取り図には地下室が二部屋あるが、俺は降りたところの部屋しか見たことがない。その奥に続く部屋は知らない」と言ってくるね。

タチキリ…ありがとう。それについては明日、キミの答えを聞いてから考えさせてもらう。そして、もう一つは完全な頼みなんだが——侵入する際においらたちは見つかってしまつて、一人門番をしているんだ……。 (一同笑)

サイモン…ちよつと、なんとか良い感じにしてくれないか？ (笑)

ソルビット…上手い具合に誤魔化しを……情けないな (笑)。

なんとか良い感じにしてくれないか？ 本当にどうしようという焦りの感じが伝わってくる頼み方がサイモンらしい。

サイモン…毎回情けないなー、このパーティ。

ウォルロック…まあ、のした上に顔を見られている以上、何とかしないと（笑）。

GM…（笑）ミゼルは「——わかった。何とか誤魔化そう」と言ってくれるよ。

ウォルロック…重ね重ねすまない。

サイモン…アレは防犯訓練だったのだ。（一同笑）

GM…とはいえ、ミゼルは父上のショックで若干上の空。

ソルビット…まあいつばいいつばいだな。

タチキリ…でしょうね。

サイモン…とにかく頼んだのである。

ソルビット…明日の朝？ 昼？

GM…「昼前で構わない」

ソルビット…わかった。来なかったらもう一回出るからな？ **勝手に一人で変な方に突っ**

走るなよ？

GM…「……わかった」

サイモン…じゃあ……帰ろう！

タチキリ…帰して、お家帰して（笑）。

GM…「ああ、とにかくバレないうちに外に出てくれ」と言つて、外に連れ出してくれる。

「アレは防犯訓練だったのだ
防犯訓練で昏倒するくらいに殴られたらしい。」

「勝手に一人で変な方に突っ
走るなよ？ 普段は悪ノリ
してても、こういうところ
ではちゃんと釘を刺してく
る。ミゼルの心に届くのか。」

「お家帰して 本セッション
で唯一、10才の女の子らし
さを感じられるセリフ。」

ソルビット…それじゃあ色々と元に戻して、見取り図も戻して。

サイモン…ササササー。

ウォルロック…ふー。

GM…それじゃあ、シーンを変えて翌日でもいいかな？

サイモン…もう何もないであろう。

タチキリ…ま、明日の朝一通りがかりにグランさんに報告はしに行くか。深夜に凸ったからもう一回凸ってくるわ、と。

サイモン…こういうことがありましたーと説明して。

ウォルロック…息子と一緒に改めて行つてきますと。

ソルビット…ミゼルの答えを聞いた上で改めて考えます、だな。

サイモン…とりあえず概ね黒です、と。

ソルビット…我々の骨は拾って下さい。

タチキリ…生きて帰れたら報酬は期待します。(一同笑)

ウォルロック…ちやつかりしとる(笑)。

▼ミドルフェイズ26
　　↓
暗雲の朝
　　↓

ミゼルに父親が黒幕である決定的な証拠を見せることができた。信用はしてくれたが、「少し時間をくれないか」というミゼルの言葉を受け、ギルガルを追い詰めるのは翌日に持ち越すこととなった。

——だが、事態は思わぬ方向へ動き出す——

ソルビット…それじゃあ、朝一で報告に——。

GM…報告に行こうとするけど……ギルドハウスを出たところで、キミたちは周囲を十人以上の騎士団員に包囲される。

サイモン…ハッ！

GM…その中にはニルエナとジャンの姿もある。

ウォルロック…おやー？　これは一体。

タチキリ…やはり黒かあいつ。

GM…「アフターグローだな？　お前たちを国家反逆罪の容疑で拘束する！」

ソルビット…（かぶせ気味に）違います。

サイモン…どうということだー！

違います　アフターグロー
ではありません、と一瞬の
逡巡も無く大ウソを言い放
った。

タチキリ…まあ待て、ここはアフターグローを解散しよう。(一同爆笑)

ソルビット…天才か(笑)。

サイモン…——ジャンは捕まっていたはず。なぜ。

GM…騎士団員がジリジリと迫ってきますが？

サイモン…これは…逃げる？

GM…もう囲まれてるね。

ソルビット…強行突破したい。

GM…強行突破はできる状態じゃないね。それをするなら十人以上の騎士団員(ソロエネ

ミー)と戦うことに。

ウォルロツク…フー。……しかし、捕まって尋問受けてたやつも混じってるか。

ソルビット…家の中に立て籠もるか。

サイモン…籠城するしかない。……とはいえこれは無理か。

タチキリ…扉壊して入ってきたところで《ワイドアタック》すれば全員エンゲージに入っ

てて攻撃できるんじゃない。

GM…その程度で倒せると？

タチキリ…そこで《ステイル》を打てばお金がいっぱい手に入る。(一同爆笑)

ソルビット…前向き！(笑)

ここはアフターグローを解散しよう。こういう異質な機転のきかせ方はタチキリは天才的だと思う。有効性があるかは別だけど。

お金がいっぱい手に入る。こういう異質な機転のきかせ方は(以下略)。

サイモン…どうすんだよ！（笑）

GM…拘束されたら全部取られるけど（笑）。

タチキリ…いや、ギルドサポートの《ギルドハウス》を使えばお金に――。

GM…ラウンド進行中は無理だね。

タチキリ…こいつ！ クソGM！（笑）

GM…ま、ぶっちゃけなすすべもなく拘束されるしかないですね。

サイモン…ぐわー、離せー！

ソルビット…やめろー！ そのクラブは親父の形見なんだー！ 生きてたわ。（一同笑）

GM…――というわけで、キミたちは拘束され、騎士団本部の地下牢に連れて行かれることになります。

クソGM！ ルールブックにそう書いてあるので仕方ない。

生きてたわ 呼吸するように嘔吐きすぎです。

▼ミドルフェイス27 地下牢と光明

警護騎士団によつて突如包围され、なすすべなく地下牢に投獄されたアフターグロ―。無論、全てを仕組んだのは予想通りの男。このまま何もできずに終わるのか……そう思ったその時、現れたのは意外な人物で――？

GM…というわけで、キミたちは地下牢に投獄されることになりましたー。
ソルビット…晴れて犯罪者だー。

ウォルロック…うわーい。
タチキリ…どんな感じで？

GM…装備が没収されて、地下牢の中に入られている。中はキミたちだけ。
サイモン…我輩はどうなってるんだ？ 装備を取られて？（一同笑）

ウォルロック…鎧取られた？（笑）

GM…鎧だけは何故だか取れなかったんで、そのまま放り込まれてる（笑）。
タチキリ…よし、勝つたな。ジャイアンにバットを与えるがごとく。

GM…もちろん見張りはあるけどね。――さて、そこに現れたのはフェルモード家当主、ギルガル・フェルモードだ。後ろには騎士団員の護衛を付けているね。

晴れて犯罪者だー「晴れて」は辞典によると「世間等に遠慮する必要性から解放されるさま」を言うらしい。遠慮してください。

鎧だけは何故だか取れなかった サイモンのアイデンティティーを剥ぐことはできなかった。

ソルビット…チヨリス。元氣ー？

GM…「ふん、冒険者風情にはやはり地下牢がお似合いだな」

タチキリ…ええ、仰る通りでございます。

サイモン…へりくだる（笑）。

GM…「ミゼルから聞いたぞ。私の家に侵入したようじゃないか」

ソルビット…ええ、**なんで話してるんだ。**

サイモン…ミゼルー！

タチキリ…あのクソ無能が。

GM…「貴族の意思は国の意思だ。貴族に齒向かうことは、国に齒向かうことだとこれでわかったか？」

ウォルロック…ええー。

サイモン…ムムム、一体どうすれば。

GM…「それに、お前たち自身が言ったことだが、グラン・レーヴェンも関わっていたそうじゃないか。国家への反逆に貴族が関わるなどあつてはならないことだ」

ソルビット…ええ？ そんなこと**言ってますけど？**

タチキリ…**あなたの思い込みでは？**

GM…「ああそうか？ ま、お前たちの意見と私の意見、どちらが信用されるかな？」

チヨリス 挨拶の意味で使われる若者言葉。逮捕された途端にこの強気、毎度ながら環境適応の早さは驚嘆ものだ。

なんで話してるんだ 残念ながらソルビットの釘は刺さりきらなかった。

ソルビット…貴族同士で言った、言わないになつたら揉めて終わるんじゃないかなー。

GM…まあその辺は力関係だろうね。「くく、これでレーヴェン家も終わりだな」とギルガルは言ってくる。「やはり私がグランフェルデンをあるべき姿に戻さねばならないのだ」

ソルビット…あるべき姿とは。

サイモン…むむ。

GM…「そのうちレーヴェン家の者もこの牢に入れてやろう。寂しくなくていいだろう?」

ソルビット…冥土の土産に教えてくれ!　なんでそんなに軍備強化したいんだ?

GM…「当然、グランフェルデンを昔の強国に戻すためだ」

ソルビット…戻しても何にもならないだろうに。

GM…「ふん、貴様たち冒険者などにはわかるまい」

ウォルロック…はい、一言言いたい。

GM…「国に——ん、なんだ?」(一同笑)

ソルビット…優しい(笑)。

タチキリ…貴族(笑)。

ウォルロック…没落した身から言わせてもらおう。迂闊に火種を作ると、周辺からぶつ叩か

れて滅ぶぞ。

GM…「それはその通りだな。——だが、潰されないほどの力を持てばいいだけの話だよ」

ん、なんだ? 当初のギルガルの性格は「下賤な冒険者の話には耳を貸さない」と設定していたが、どうしてもGMの性格が抜けなかった。傾聴の悪役。

迂闊に火種を作るとウォルロックの祖国の没落理由は未だ不明だが、もしかして……?

ウォルロック…そんなの、周辺諸国と殴り合いするだけになっちまうだろう！

GM…「ふん、全て支配すればいい。今夜グランフェルデンは生まれ変わる。強国としての真の姿を取り戻すのだ。お前たちはここでグランフェルデンが変わる時を見てるがいい」

——そう言つて、ギルガルは去つて行きます。

サイモン…くつ、待てー！

タチキリ…はー。ちくしょう。

GM…さて、残念ながら見張りが見ているので脱出することもできず——夕方になる。

その時、急に鈍い音とともに見張りの衛兵がうめく声が聞こえます。「うつ」バタツ。

タチキリ…どうした、大丈夫か！ **せめてカギを開けてくれ！**

ソルビット…**せめて飯を出してから！**（一同笑）

GM…「よう。助けが遅くなつて悪いな」と姿を現したのはメルルです。

ソルビット…メルル!?

ウォルロック…は!?

タチキリ…バカな。マジで？

サイモン…メルル殿！ 助けに来てくれたのか！

GM…シーフだからね。メルルは手際良く牢のカギを開けてくれます。

ソルビット…待つてた。助かるー。

せめてカギを開けてくれ！
ドサクサに何を言っているのか。

せめて飯を出してから！
こっちは切実な問題。

待つてた 来たことにはめ
っちゃ驚いてたけど。

サイモン…ありがたい。ススス。——それで、一体何が起こっているんだ？

ソルビット…まあ、おおよそ予想は付くが。

GM…「事情はミゼルから聞いたぜ」

ソルビット&タチキリ…おや？

GM…「あいつの親父が何かやらかそうとしているってな。そのために邪魔になりそうなお前たちが捕まったようじゃないか」

ソルビット…強敵認定ということか。

GM…「それと、今レーヴエン家が大変なんだ。騎士団の連中が押し寄せて来ている」

ソルビット…それは正直すまなかった。

タチキリ…マジでゴメンって感じ。(一同笑)

GM…「今はシグルさんが動きを抑えてくれているんだが、もう時間の問題だ」とのこと。

「だから、お前たちの力を貸してくれ。この事態を急いで解決したいんだ」

サイモン…任せろー！ 借りを返してやるぞ！

ソルビット…任せられた！ むしろ自分の尻拭いでもあるしな。

タチキリ…割と尻拭いなんだね。

ウォルロック…そうだな。

GM…「よし、まずはここから脱出だ！ お前たちの装備品は上の倉庫にある。ついて来て

くれ」と言つて、メルルが案内してくれます。

サイモン…ついて行きまーす。

GM…そのまま装備品を回収したキミたちは、その足で本部を脱出することになります。

——そして騎士団本部を出たところで待っていたのはキルトだ。

ウォルロック…やあ。

ソルビット…出迎えご苦労。

サイモン…キルト殿ー！

GM…「やあアフターグロー。なかなか大変な目に遭つたみたいだね？」とへらつとした顔で言つてきます。

ソルビット…しょうがないな。ミゼルがあんなにバカだとは思わなかったよ。（一同笑）

ウォルロック…危うく臭い飯を食う羽目になるところだった。

GM…しかし、キルトはすぐに真面目な顔付きになり、「……事情はミゼルから聞いた。キミたちを無実の罪で牢に入れたこと、グランフェルデンを預かる貴族の一人として謝罪する。すまなかつた」と言つて、キルトは頭を下げてきます。

ソルビット…誠意は言葉ではなく金で……。

タチキリ…まあ無実ではないからいいよ。あれ、ミゼルから聞いてない？（一同爆笑）

ウォルロック…家宅侵入に関してはどうの音も出ないほどアウトだからな（笑）。

誠意は言葉ではなく金で、俗物らしいセリフだが、なんだかんだと金の大切さを知っている言葉でもあると思う。

GM…「少なくとも国家反逆罪ではないだろう?」

ウォルロック…まあな。

タチキリ…貴族が国のウンタラカンタラというなら国家反逆罪でも間違いでもないかも。

サイモン…向こうが反逆しているのだ! だから反逆罪ではない!

GM…「貴族に逆らうことは決して国に逆らうことじゃない」とキルトは言ってくるね。

ソルビット…ふー、イケメン。(一同笑)

タチキリ…それはありがたい。

GM…いうことを言うのと、いつものヘラツとした顔のキルトに戻り、「……さて、何はと

もあれこの事態を何とかしなきゃね。このままじゃキミたちは脱獄犯だ」と言ってきました。

タチキリ…国家反逆罪の脱獄犯か。なかなかヤバイな。

GM…「おっと、ミゼルからキミたちに伝言だ。『父上は地下室にいる』だそうだよ?」

一同…ほほー。

タチキリ…首取つちやうかー。

ソルビット…じゃあ行くか地下室に。

サイモン…ミゼル殿は一体今どうしてるのだ?

GM…「ミゼルかい? 彼なら別行動しているよ。まあ何を考えてるかは知らないが、彼な

りに考えてることもあるだろうさ」

向こうが反逆しているのだ!
ギルドリーダーの力強い言葉。

ウォルロック…ふむふむ。

GM…「僕らもそうだよ。別にミゼルの指示でここに来たわけじゃあない。ミゼルから事情を聞いて、自分のすべきことを考えた結果としてここにいる」

サイモン…おおー。

ソルビット…もうこいつらが主人公でいいんじゃないかなー。(一同笑)

GM…「さて、どうするんだい？ キミたちの容疑を晴らすには何をすればいいかな？」

ソルビット…国から逃げる。

タチキリ…国外逃亡。(一同笑)

ウォルロック…疑いを晴らしてない！(笑)

サイモン…——そういうことであれば、地下室に向かうのではないか。

ソルビット…あのオッさんをブン殴る。

タチキリ…血祭りに上げてくれる。

GM…「じゃあわかった。フェルモード家に行こうか——それじゃあ、メリルとキルトと共にフェルモード家に向かうことにしよう。」

もうこいつらが主人公でいいんじゃないかなーそれでも、最後にケリを付けられるのはPCだけだ。

国外逃亡 いや、確かに冒険者としての選択肢ではあるけどね？

▼ミドルフェイズ28　　↳ 強行突破　　↳

メルルとキルトの協力で地下牢を脱出することができた。しかし、事態はまだ解決していない。『父上は地下室にいる』——ミゼルの言葉を信じ、一行はフェルモード家の屋敷を目指す。何をしようとしているかわからないが……このままじゃ終わらせない！

GM…フェルモード家に着くと、何やらものものしい雰囲気です。いつもの使用人ではなく、警護騎士団の人と思われる人もちらほら見えます。

サイモン…ほう。

GM…キルトはそれを見て、「……様子がおかしいな。貴族とはいえ、有事でもないのに騎士団が警備なんてするはずがない。何かしようとしているのは間違いなさそうだな」と。

サイモン…どうにかして警備を突破したいところだが……。

タチキリ…もう一回例のアレやつちゃう？　天井。

ソルビット…バれるわ！（笑）

ウォルロック…コントか！（笑）

GM…そこに「アフターグローのみなさん！」と声がかかります。リリイです。

サイモン…リリイ殿！

例のアレ 衛兵の目を盗んで侵入しようとしたところを発見された後、それに気を取られた衛兵を後ろから殴って昏倒させる計画……いや、無計画のこと。

天井（漫才等で）同じネタを繰り返すこと。昔は天井に海老が二本並んで載っているのが常識だったことが語源らしいよ？

ウォルロック…神官の子か。

GM…リリイが駆け寄ってきて、「あ、キルトさんとメルルさんも……。ミゼルさんから事情を聞いたんですね」と声をかける。「ミゼルさんのお父さん——ノルテマンド伯爵はこの屋敷の地下室にいるそうです。そこで何かをしようとしている……そうミゼルさんは言っていました。でも、警護騎士団を使って警備を強化しているみたいです。ただ、ミゼルさんが屋敷の裏側、二階の左から三つ目の窓のカギを開けてある、と言っていました」

ソルビット…遠いわ！

サイモン…では、そこに向かうのだ！

タチキリ…登攀かー。

GM…キルトが少し考えて提案してくる。「僕が囧になろう。正面から入ってごちゃごちゃ言って気を引いておくよ。これでも貴族の一人だ。連中も無下にできないだろうからね」
ソルビット…すまない、**お前の死は無駄にはしない。**

タチキリ…本当に申し訳ない。

GM…「その間にキミたちはミゼルの言う窓から侵入するといい。その後は任せたよ？」

サイモン…任された！ キルト殿も達者でな！

タチキリ…感謝以外何もできないなー。

GM…キルトは正面に行つて門番や衛兵らと話を始める。ワーワー何か言っているね。

遠いわ！ 屋敷の大きさはちゃんと描写していなかったが、どれだけのサイズを想像したのだろうか。

お前の死は無駄にはしない
すぐに殺さないでください。

サイモン…今だー！ 回り込めー！

GM…それでは後ろに回ってきた。見ると、二階の窓のカギが開いているのがわかるね。

サイモン…侵入します。

ソルビット&タチキリ…侵入しました！

GM…はい、侵入しました。

タチキリ…よし！（一同笑）

ソルビット…判定の自信のなさ（笑）。

サイモン…押し通す（笑）。

ウォルロック…登攀求められると辛いからな（笑）。

GM…さて、現在は二階にいます。ここから向かうのは――。

サイモン…地下室。

GM…キミたちは見取り図で地下室は一階の東側の廊下の奥から行けることを確認している。しかし、そのためには階段で一階に降りて大広間を通り抜ける必要がある。

ウォルロック…ルートのにはそうなるよなー。

GM…というわけで【感知】判定だ。難易度は12。失敗するとダメージを受けるぞ。

ソルビット…エグいダメージそうだなー。全員？

GM…全員判定して、失敗した人だけがダメージね。

侵入しました！ 結果の形にすることで判定を回避しようとする気概がすごい。もともと判定するつもりは無かったけど。

サイモン…ここはしょうがないであるな。全員上げることができないし。

ソルビット…(ダイスを振る) お、13で成功。ラッキー。

サイモン…(ダイスを振る) 8で失敗。

ウォルロツク…(ダイスを振る) 12だっけ? ピッタリで成功。

タチキリ…(ダイスを振る) ……ファンブル。今日荒ぶり過ぎじゃない? (一同笑)

GM…では、一階に向かおうと階段の方へ移動すると途中でバツタリと騎士団の人に見つかる。「お前たち、何をしている!」とそのまま剣を抜いてタチキリとサイモンに攻撃をしてくるぞ。2D点の貫通ダメージだ。(ダイスを振る) 二人に9点ダメージ。

サイモン…ぐぐ、押し通る! 【HP】が31点に。

ウォルロツク…GM出目高くない?

GM…ただ、そのタイミングでリリイが騎士団に後ろからメイスで殴りかかる。(一同笑)

タチキリ…うわあ。

サイモン…リリイちゃんもなかなか武闘派か(笑)。

ソルビット…メイスはいいから《ヒール》をかけてくれ(笑)。

GM…今はそんな暇ないですよ。「と、とにかく、急ぎましょう!」とリリイ。メルルも

「リリイ、やるー!」と言ってるね。

ソルビット…ヒュー。

ファンブル 今日(感知)判定がまったく振るわないタチキリ。こんな日もある。

リリイが騎士団に後ろからメイスで殴りかかる。鎧相手には鈍器が一番効く。

サイモン…この程度の傷で止まっている場合ではない！

GM…では、一階に降りたところでもう一度【感知】判定です。続いての難易度は14！
ウォルロック…上がった！

サイモン…ふえー。14。

GM…失敗すると同じく2D点の貫通ダメージを受けることになるぞ。

サイモン…きつと余裕！（ダイスを振る）が、ダメ。

ソルビット…ポーション飲むかー。（ダイスを振る）あ、14。成功（笑）。

タチキリ…すごくねこいつ？（ダイスを振る）おお、倍になった！ 出目4の8で失敗。

ウォルロック…（ダイスを振る）足りなーい。10。

GM…3人失敗かな？ 大広間に出ると、そこに待っていた騎士団員たちがいます。

ソルビット…俺も今回は殴る側がいい！（一同笑）

GM…「貴様たち、どこから侵入した！」

ウォルロック…さあ、どこだろうな！

GM…そして四人の騎士がキミたち四人に向かって突撃してくるぞ。

ソルビット…クラブで殴る！

GM…クラブでぶん殴って無事に撃退。他の三人は――。

ウォルロック…身体で受け止める！

俺も今回は殴る側がいい！
女の子には負けてられない！

サイモン…このまま突っ込む！

タチキリ…あっちだ！　と言つて適当な方向を指します。

GM…タチキリが「あっちだ！」と指を指したところで、それを全く気にすることなく敵が突っ込んできて2D点の貫通ダメージです。（一同笑）

サイモン…ぐわー。

GM…（ダイスを振る）7点ダメージ。とはいえ、その後はすぐに排除することができる。

サイモン…このまま押し通るぜ。

GM…そのまま東側の廊下の奥に向かう。廊下を進むと、また騎士団員が道を塞いでくる。

「お前たち！　ここで何を——」と言いかけますが、ここではメルルが瞬間に弓を放ち、その騎士団員を制圧します。

サイモン…メルル殿、やるー！

ソルビット…相変わらずだなー、弓だけは。

GM…しかし、流石に気付かれてきたようで周辺が騒がしくなってくる。メルルは「ちつ、気付かれちゃったか。——地下室はこの先か。アフターグロー、私はここで連中を足止めする」と言ってくる。

ソルビット…え、大丈夫？

GM…「地下室に何があるか知らないが、ミゼルの親父に一発かましてやんな！」

それを全く気にすることなく判定に失敗したので。

ソルビット…それだけは任せておけ！

GM…リリイも「私もここでメルルさんを援護します。みなさんは早く地下室へ！」と。

ソルビット…死ぬなよー？

タチキリ…マジで大丈夫？

サイモン…うむ、二人とも達者でな！（一同笑）

ウォルロック…今生の別れみたいなことを言うんじゃない！（笑）

GM…「だーいじょうぶだって。そもそも、騎士団たちも私たちを殺す理由はないしな。精々捕まるだけさ。お前たちがミゼルの親父に一発かましてくれれば、どうせすぐに釈放だ！

ハッハッ！」とメルルは笑ってみなを送り出すよ。

ソルビット…すまん、頼んだぞー！ と走って行きます。

サイモン…すぐに殴ってくるから待っているがよい！

GM…というわけで、地下に降りて行こう。――地下に降りると、そこは倉庫のようなところだ。ギルガルの姿は見えない。周りは本棚。

サイモン…とりあえず今のうちに《ヒール》をかけよう。

ソルビット…時間はある？

GM…今ならいいよ。もうざわついてるけど、上ではメルルが守ってくれているので多少時間の余裕はある。

二人とも達者でな！ たぶん別れ際の言葉をこれしか知らない。

ソルビットはダメージを受けた三人に《ヒール》をかけていく。全員全快になったところでソルビットはMPポーションを飲んで消費した【MP】を回復した。

タチキリ…さて、壁を調べるか。トラップ探知？

GM…もう見取り図で場所を見てるからね。その壁のところを見ると……本棚が並んでいる。古ぼけた本が収められているだけ。

ソルビット…キック！

GM…キックすると……スルツと本棚を抜けていく。

ソルビット…うわあ！ ズシヤア。

サイモン…ソルビット殿が飛び蹴りをしたら本棚に吸い込まれた！（一同笑）

GM…本棚は幻影だったようだね。その奥に通路が続いているようです。——さて、奥に走っていくでいいかな？ クライマックスフェイズだ。

一同…はい。

ソルビット…今度は前からミゼルが飛んでこない？（一同笑）

GM…来ません（笑）。では、クライマックスフェイズに入ろう！

飛び蹴りをしたら本棚に吸い込まれた！ 完全に怪奇現象の説明。

今度は前からミゼルが飛んでこない？ 第二話に続いて、そんなにミゼルに飛んでほしいのか。

◆ CLIMAX PHASE

▼ クライマックスフェーズ！ 求めるは、あるべき姿！

クラフトワークスの皆の援護を受け、一行は地下室の奥へと到達する。なんとしてもギルガルを止めなければ——もはや引けない戦いに覚悟を決めて走るアフターグロウ。

地下室の最奥で待っていたのはギルガルと……異次元の“力”だった——。

GM…通路を進むとかなり広い空間に出る。周囲には古めかしい書物や遺物と思われるものが並び……部屋の真ん中には警護騎士団のジャンとニルエナ、そしてギルガルがいる。

ジャンとニルエナは武器を構え、ギルガルはゆつくりと君たちの方に振り返ってくる。

「——ふん、牢から脱獄するとはな。冒険者は大人しくすることすらできないのか？」

ソルビット…いや、脱獄じゃなくて無理やり出されたんですよ。

GM…「そうか。それなら地下牢に戻ってくれないか？」

サイモン…ふっふっふ。悪人に虐げられて大人しくするほど、冒険者は静かではないのだ！

ウォルロック…そのまんま首はねる気マンマンなのに、戻るわけないだろう？

ソルビット…一発殴ったら考えるよ。

脱獄じゃなくて無理やり出されたんですよ。少なくとも無理やりではない。

GM…「ふん、仕方あるまい」とギルガル。「グランフェルデンは今、この時から過去の強国としての姿を取り戻す。これはその第一歩なのだ」と言い、ギルガルが少し横にズレる。

ソルビット…ん？

GM…そうすると、ギルガルの奥の場所に妖魔の死体が積まれているのが見える。

一同…うわー。

GM…そこにあるのは、ゴブリン、バグベア、ヴァンパイア、トロウル、オウガ。——そしてキミたちが倒した大柄のフォモール、モーティンの死体もそこにある。

タチキリ…バカな。剥ぎ取ったはずなのに。

GM…髪の毛は無い。

サイモン…貴様、グライナ殿の初恋の人を！……殺したのはこっちだけど。（一同笑）

ウォルロック…そうだった（笑）。

ソルビット…ま、俺らは死体を弄ぶことはしないからな。剥ぎ取るだけで。

GM…ギルガルが話してくる。「契約に必要なのは食料だ。愚かな妖魔の連中はその通りに食料を集めていたようだが……魔獣が人と同じものを食べると誰が思う？」

サイモン…ほう？

タチキリ…それで妖魔を集めていたのか。

GM…ギルガルはそれに答えることもなく、妖魔の死体の方を向いて聞いたことのない呪

ゴブリン、バグベア、
気付きの読者もいるだろう
が、これらは全て第一話と
第二話でアフターグローが
倒した妖魔たちだ。モーテ
インも合わせると妖魔六種
族が勢揃いしている。

髪の毛は無い モーティン
こと。第一話のクライマッ
クスを参照ください。

文を唱え始める。

ソルビット…止めるー！

サイモン…うおー！ ダッダッダッ。

タチキリ…いや、お前は魔法を使えよ！（一同爆笑）

ウォルロック…状況的には『スイッチ』を押させるなー！』のアレだな（笑）。

GM…だが、ジャンとニルエナがキミたちを止めてくる。「伯爵の邪魔はさせない！」

ソルビット…変身シーンは無敵だからなー。

GM…ギルガルが呪文を唱えると、呼応するように床に青白く光る魔法陣が現れる。ただ、

今までにキミたちが見た魔法陣よりも大きい魔法陣だね。

ウォルロック…おお。

サイモン…一体何が。

GM…そしてギルガルが叫ぶ。「さあ、魔獣グライフよ！ たくさん食べるがいい！ そし

て私に、我がグランフェルデンに力を！」

——ギルガルの叫びと共に、魔法陣の上の妖魔の死体がまるで“獣”に食い千切られたかのように消えていく。死体が虚空に消え、全てが食べ尽くされると同時に……大きく濃い青白い瘴気が舞い上がった。

お前は魔法を使えよ！ し
かも足は遅い。

「『スイッチ』を押させるな
ー！」 GMも大好きな荒
木飛呂彦作の漫画『ジョジ
ヨの奇妙な冒険』第4部で
のセリフ。原作ではクライ
マックスのとても緊迫した
シーンなのだが、扱いやす
さからよくパロディに使わ
れる。「『今だッ』！いいや！
「限界」だッ！押すねッ！」

瘴気はギルガルを覆い尽くし、膨れ上がる。……やがて、中から巨大な爪が瘴気を切り裂き、＼それ＼は現れる。二倍近い大きさの身体、巨大な爪を持つ手足、獣の如き顔。

——それは、変わり果てたギルガルの姿だった。

ソルビット…こんな姿になってしまつて。

GM…ギルガルは「ククク、わかるか冒険者。この強大な力が！」と言うと、両手から青白い瘴気を出してジャンとニルエナに纏わせる。「この力でグランフェルデンは変わる！パリス同盟などという信念も何もない属国から、過去の栄華を誇った強国のグランフェルデンに今こそ返り咲くのだ！」

* * *

GM…さて、戦闘開始前は？

ソルビット…《ハンスオブライト》！ 俺のこの手が光って——！（一同笑）

サイモン…《スペシャリスト…風》！

GM…ギルガルが吼える。「一介の冒険者風情などに邪魔などできぬ！ さあ、今ここで力試しといこうじゃないか！」——さあ、クライマックス戦闘開始だ！

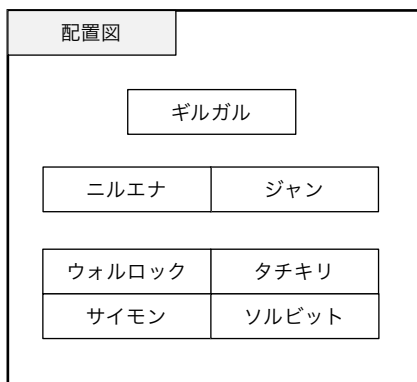
俺のこの手が光って
を倒せと輝き叫ぶ！

お前

● 第一ラウンド

■ 行動値

ギルガル..	15
タチキリ..	10
ジャン..	9
ウォルロック..	8
サイモン..	6
ニルエナ..	6
ソルビット..	4



GM…敵はキミたちの5m前にジャンとニルエナ、さらに5m奥にギルガルがいる。【行動値】はギルガルが15、ニルエナが6、ジャンが9だ。

タチキリ…ギルガル意外と少ない。

サイモン…いや、十分高いのである。

ウォルロック…ジャンが意外に早い！

タチキリ…ジャン傷ついたりしない？ 尋問されてたし。

GM…そんな体を痛めつけるような尋問はしてないよ（笑）。

ウォルロック…石抱きとか頭に思い浮かべてただろ（笑）。

サイモン…それこそ法に触れるわ。騎士団の尋問なら取調室で聞いてたくらいであろう。

GM…それではセットアップ。【行動値】順でジャンから。ジャンは《ランナップ》を使用して戦闘移動だ。スッ。（エンゲージを切つて横に移動する）

サイモン…あら、接敵されるかと思つたら離してきた。

ウォルロック…エンゲージ切つたか。

GM…ジャンは弓持ちなので。【移動力】9mあるけど……5mくらいで。続いてニルエナは《制御下の瘴気》を使用する。

ソルビット…さっきのやつか。どれだ？ ダメージ？

GM…『物理・魔法防御力に+5』を選びます。——これでこっちは終わり。

サイモン…《コネクトアイ》！ 目がギンと光る。

ソルビット…《エンサイクロペディア》！ 運命のダイスロール！（ダイスを振る）17！

GM…全部抜けるね。ギルガルも15でした。

タチキリ…優秀。

詳細は次ページのコラムを参照されたし。

石抱き 江戸時代の拷問のひとつ。詳細は聞いただけでも辛いので書かない。これが未決囚（刑が確定していない被疑者）にされてたというから恐ろしい。

《ランナップ》 シーフのスキル。セットアップで先頭移動や離脱ができる。

GM…まずは「魔獣化伯爵」ギルガル・フェルモード。分類は人間。

ソルビット…嘘つけ！（一同笑）

GM…人間です（笑）。《魔獣の契約》は名称はオリジナルだけど中身は既存のスキル。白兵攻撃のダメージに+1Dし、さらにこの効果は重複する。シーン中持続だ。ソルビット…すごい。

サイモン…どんどん強くなっていく。

GM…それと《バーストアタック》。これも名称だけオリジナルの既存スキル。至近の二体に攻撃力+10の白兵攻撃だ。これはシーン1回。そして《再生能力》はクリンナップに【HP】を15点回復する。

サイモン…ひえー。

ソルビット…（レベルの）3倍か。

GM…ニルエナの防御力は物防10、魔防3

エネミー識別の結果

・「魔獣化伯爵、ギルガル・フェルモード

分類：人間 属性：-

レベル：12 防御：9/7

《再生能力》5、《バッドステータス無効》1

オリジナルエネミースキル：

《魔獣の契約》1

マイナー。白兵攻撃のダメージに+1Dする。この効果は重複し、シーン終了まで持続する。

《バーストアタック》1

メジャー。至近の2体に白兵攻撃を行なう。この攻撃のダメージに+10する。シーン1回まで使用可能。

・ニルエナ

分類：人間 属性：-

レベル：6 防御：10/3

《バッシュ》2、《カパーリング》1、《カバームーブ》3、《制御下の瘴気》1

・ジャン

分類：人間 属性：-

レベル：6 防御：8/10

《ワイドアタック》3、《ランナップ》1、

《バッドステータス付与：スリップ》1、

《マジックレジスト》1、《制御下の瘴気》1

※《トゥールズサイト》の効果で防御は値まで判明している。表記は【物防/魔防】。

分類は人間
ギルガルは既
存のエネミー
をベースに調
整しているが、
ベースのエ
ネミーの分類
も「人間」の
ものだ。

だけど、今は瘴気の効果で15と8になってるね。《制御下の瘴気》はミドルと全く同じ効果だ。あ、持つてる武器は槍ね。

タチキリ…ジャンは魔防の方が高いな。珍しい。

ウォルロック…そうか、フィルボルって言つてたもんな。【精神】高いのか。

GM…フィルボルらしく《マジックレジスト》を持っている。それで魔防が+3されてる。

ソルビット…《バッドステータス付与…スリップ》もあるのか。ジャンの【行動値】は9だよな？ ウォルロックはいくつだったけ？

ウォルロック…【行動値】は8だけど、《カリキュレイト》がある。ジャンのところに突っ込んでおけばジャンに殴られずに殴れるな。

サイモン…一方的にボコボコ状態。

GM…——というわけでセットアップは終了だ。イニシアチブになって、【行動値】だけならギルガルの手番になるけど？

タチキリ…**作戦タイム！**（一同笑）

ウォルロック…どうしようかなー！

サイモン…とりあえず突っ込んでよいのでは？

ウォルロック…《カリキュレイト》！ ジャンに突っ込んでいく。

GM…はい、どうぞ。

作戦タイム！ ターン制なので、どんな悪役も律儀に待ちます。

《カリキュレイト》！ ウォルロックの「どうしようかなー」はたいていの場合悩んでないと思う。

ウォルロック…やることは決まっている。——《バッシュ》しかない！ ジャン、お前だ！

（ダイスを振る）命中は19。

GM…ジャンの回避は3D+6。（ダイスを振る）出目11の17。命中だ。

サイモン…《カバリング》するの？

GM…《カバリング》は……ジャンにはしないな。どうぞ。

ウォルロック…ボス用だろうな。なんにせよ先に潰しておこう。（ダイスを握る）

タチキリ…ひえー、殺意。ダメージロール5Dも振るのね。

サイモン…ウォーリアだからな。

ソルビット…クリティカルしたらもつと増えるぞ。

ウォルロック…（ダイスを振る）よしよし。……38点、物理！

GM…物防はさつき言った通り8点なので30点くらうな。ジャンは突然突っ込んできたウォルロックによつてバスバスと撃ち抜かれる。「ぐっ！」と言つてるが流石にまだ倒れない。

ウォルロック…撃ち合おうぜ！ なお、お前は撃てない。（一同笑）

GM…「くそ、てめえらのせいでシグル隊長にバレちまったが、ここで口を塞いでやる！」
ソルビット…もうバレてるんだよな！

ウォルロック…情けねー。俺たちを消したところで知れてることは知れてるだろうに。

GM…「関係ねえ！ 伯爵と一緒に新たなグランフェルデンを作るんだ！」

《バッシュ》しかない！
やっぱり全然悩んでいない。

お前は撃てない 戦闘になると途端に饒舌に廻り始めるウォルロック。さすがに戦い好き。

タチキリ…こいつ伯爵に吸収されそうな感じがするな。

ウォルロック…溢れ出るザ・使い捨てのコマ感（笑）。

GM…さて、ギルガルの手番だ。ムーブで移動！【移動力】15mで三人のエンゲージへ。

タチキリ…移動する手間が省けた。

サイモン…来いやー！

GM…ギルガルは二倍近くなった巨体でキミたちのところへ突っ込んでいく。「この力、受けてみるがいい！魔獣よ、さらなる力を私に！」と言って、マイナーアクションで《魔獣の契約》を発動する。

タチキリ…GM、これって特殊勝利条件とかつてある？

GM…ああ、言ってなかった。ギルガルを倒せば終了ね。

タチキリ…いや、そういうことじゃなくて《魔獣の契約》をやり過ぎると力が暴発して勝手に破裂して死んだりしない？

GM…しない。

タチキリ…くそー！

GM…そのまま殴る。対象はランダムに決めよう。（コマを見て）えつと……どれがどれだ？

一同…（笑）

GM…今はウォルロック以外がいるから……ソルビットが1・2、タチキリが3・4、サ

力が暴発して勝手に破裂して死んだりしない？
30ラウンドくらい耐えきれば考えなくもない。

どれがどれだ？ 戦闘時に使うコマは各自で自由に持ち寄っているが、PCの見た目と相関が無いので誰が誰だか覚えられない。この時は似たネコのコマが多くて特にわかりにくかった。

イモンが5・6で。(ダイスを振る) 対象はサイモン!

サイモン…来いやー!

ソルビット…いくらでも殴っていいぞ! (一同笑)

ウォルロック…一番硬いところにいったか。

サイモン…でも、実際どれくらいの打点なのかは不安である。さすがに無傷とはいかないであろう。

GM…命中は3D+7。(ダイスを振る) 出目13で20。

ソルビット…重要なのはクリティカルかファンブルかだけだから。他は当たる。(一同笑)

サイモン…回避の固定値はマイナースー(笑)。(ダイスを振る) 6で当たった。

GM…命中だね。ダメージロールは《魔獣の契約》で増えて5Dに、固定値が36。

ウォルロック…ふおー。

サイモン…めっちゃでかい。

ソルビット…5Dか。50点くらいか。やばいな。

GM…「魔獣の力、受けてみるがいい!」と言って爪を振り下ろす! (ダイスを振る) 出目が19で……物理ダメージ55点!

ソルビット…《プロテクション》。(ダイスを振る) 12点軽減。

サイモン…物防21点と合わせて……22点のHPダメージ。ぐわー、残【HP】18点!

いくらでも殴っていいぞ!
いつもカバーしてくれて
るのだから言い方は大切に
してあげてもいいのよ?

他は当たる この場面と言
えばギルガルのファンブル
しない最低命中値は11、サ
イモンのクリティカルしな
い最大回避値は10なので、
あながち間違いではない。

タチキリ…え、やば。

ウォルロック…この防御力でも半減するのか。ちよつと速攻を心掛けないとヤバイな。

GM…逆に言えば、これぐらいの攻撃力にしないと傷を付けられないんだよ(笑)。——バシユつと、サイモンに強烈な爪の一撃を与えます。

サイモン…めつさ痛い！

GM…「なんだ、この力に耐えるか。より力を得なければならぬな」

タチキリ…後ろの二人食われそう。

ソルビット…マイナー重ねるだけでしょ(笑)。

サイモン…過去の栄光にすぎる悪鬼め。このサイモンが屠ってくれるわ！

GM…「ふん、やれるものならやってみるがいい！」と言ったところで、次はタチキリ。

タチキリ…ギルガルを倒せば終わるならこいつを倒す！……でもこのダイスやだなーでもこれでもなー。もうダメだ今日。出目が死んでる。(一同笑)

GM…好きなのにしてくれ(笑)。ソルビットにでも借りてくれ。

タチキリ…ムーブ無し、マイナー無し。メジャー……もし、何もできないじゃん！

GM…しょうがないだろ。《ワイドアタック》しかメジャーを取ってないのが悪い。

サイモン…マイナーはそろそろ欲しいのである。とにかく殴れー！

タチキリ…素殴りー！ 命中。(ダイスを振る) 18。

後ろの二人食われそう
いてはおぞましい方向に
想像力を働かせる。

出目が死んでる 本日ダイ
スの女神に振り回され続け
ているタチキリは精神が疲
労困憊に。

何もできないじゃん！ド
ロップ品関連にスキル枠を
使っているので戦闘用スキ
ルが極少。お金が潤う代わ
りにこうなるのはしょうが
ない。今後の成長に期待。

GM…ギルガルの回避は2D+5。(ダイスを振る) 出目3で8しかないので失敗。ここで
 ニルエナが《カバリング》と《カバームーブ》を使用する。

タチキリ…ま、《カバリング》するのは予想できてたし。えーつと、素殴りだからダメー
 ジは2D+12。(ダイスを振る) 6・6で24点ダメージ。

ウォルロック…おお。

サイモン…ええやんええやん。

GM…物理24点か。15点の物理防御だから……9点くらう。タチキリの剣戟がギルガルに
 襲いかかる時、ニルエナが「危ない！」と槍でヒュツと防ぐ。「伯爵、私が守ります！」

サイモン…硬いなー。

タチキリ…なぜ傷ついたんだ。

GM…え、ほら、槍がバンと弾かれた時に腕がグキツとなったんだよ。

タチキリ…痛そう。

サイモン…ぐぐー。強いのである。

GM…では続いて【行動値】9のジャン。ジャンはマイナーを放棄して離脱をする。5m
 くらい離れます。そしてメジャーで《ワイドアタック》。当然後ろの三人を狙うぞ。

ウォルロック…ですよーねー。

GM…命中は3D+9。(ダイスを振る) 6・5・5……25。

槍がバンと弾かれた時に腕
 がグキツとなった。5m先
 で振るわれる短剣を槍で弾
 けば腕に強い負荷が。多分。

クリティカルはしなかったものの、出目がほぼ最大値の達成値を超えることはできず、タチキリ、ソルビット、サイモンの三人は回避に失敗。

ジャンの攻撃力がわからないため、ギルガルの一撃で既に【HP】が減少しているサイモンが《カバリング》をするかで悩むが……ダメージによつては《プロテクション》にフェイトを入れる選択肢を残し、ソルビットを《カバリング》することに。

サイモン……それじゃあソルビットを《カバリング》！

タチキリ……ナイフで受ける！

GM…OK。こつちの攻撃力は《ワイドアタック》の+6も含めて2D+27だ。(ダイスを振る) えーつと、物理32点！

タチキリ……《ナイフパリー》！ 物防と合わせて20点弾いて12点くらい。

ソルビット……《プロテクション》をサイモンに。(ダイスを振る) やる気ないな。10点軽減！

サイモン……えーつと……1点通つたのが二倍で2点！ 残り【HP】16点。

GM……それしかくらわないか。——ジャンの放つた矢が三人に降り注ぐが、サイモンの鎧を貫通するには至らず、わずかに傷をつけるだけに終わる。タチキリもナイフで捌くけど、

1、2発受けた感じ。

タチキリ……矢の先端だけ切り落として棒が刺さる。痛い。

痛い 毎回だが《ナイフパリー》でちゃんと軽減しているわりに演出がすごく痛そう。

ウォルロック…(笑)

GM…「チツ、さすがにダメージが足りないか」とジャン。

サイモン…その程度のダメージはくらわぬ!

GM…次はニルエナとサイモンの【行動値】が一緒なので先にサイモンだ。

サイモン…どこを殴ろう。

タチキリ…どうせ《カバリング》パンチ!

サイモン…まあね(笑)。弓の方はなんとかなりそうだ。——目の前のギルガルに《ウィル

パワー》《エアリアルスラッシュ》! (ダイスを振る) やったぜ、クリティカル!

一同…おおー!

GM…クリティカルか! ギルガルは回避で2D+5。

サイモン…クリティカルで避けたら許さない!(笑)

GM…(ダイスを振る) 回避失敗。もちろんニルエナがカバーに入る。「伯爵、危ない!」

《カバリング》と《カバームーブ》だ。

サイモン…《カバリング》を貫通して倒してやるのである! くらえ、腹パン! (ダイ

スを振る) 41点、(風)魔法ダメージ! これが新生サイモンのパンチ! ふーん!

GM…ニルエナの【魔法防御力】は8点! 33点ダメージを受ける。……サイモンが放つ

た風を槍で自分の方に引き寄せ、自分がくらう。ぐふつ。

どうせ《カバリング》パンチ! 建前上はボスを狙うけど、気持ちはカバーしてくるニルエナに向いているパンチ!

これが新生サイモンのパンチ! セフィロスの使命を受けて新たな武闘派に生まれ変わったサイモン。

ウォルロック…これで《カバームーブ》は2回切ったか。後1回で終わりだな。

GM…「くっ！」とニルエナは膝をつきかけるが、まだ立ってます。——ではニルエナの手番。ニルエナはもちろん「伯爵、援護します！」とエンゲージに突っ込む。

タチキリ…よし！ いいぞ！（一同笑）

サイモン…《ワイドアタック》が解放されました（笑）。

GM…そしてメジャーは《バッシュ》。誰を殴るかは今の様子を見ていた感じでは……難しいな。ま、ダメージを与えてきたサイモンにするか。

サイモン…よっしゃ、こい！ 2点の【MP】を節約することにつながる。（一同笑）

ソルビット…地味にでかいもんな（笑）。

サイモン…我輩の燃費やばいから。もう【MP】が無い。厳しいんじや。

GM…というわけで命中判定。3D+9。槍攻撃！（ダイスを振る）17。

サイモン…ふん！（ダイスを振る）失敗！

GM…ダメージは4D+24。（ダイスを振る）41点！ サイモンに槍を突き刺す！

ソルビット…サイモンの残り【HP】は？

サイモン…16点。普通にくらうと20点ダメージだから、5点以上弾けば生きる。

ソルビット…出目が全部1でも5点は確定で弾ける。これで敵の手番は最後だし気楽に振るか。普通に《プロテクション》。（ダイスを振る）お、14点軽減。

2点の【MP】を節約 《カバリング》のコストは2。燃費悪なメイジのサイモンには、大切な節約。……え？ サイモンはウォーリアじゃないですよ？ お忘れ？

サイモン…じゃあ合計35点弾いて……6点ダメージ。

ソルビット…気楽に振った方が出目が良い気がする(笑)。

GM…ニルエナは槍を突き刺すが、ソルビットの《プロテクション》の光の障壁とサイモンの鎧に阻まれる。

サイモン…(槍を)ガシッと掴んでギギギっと。ぐぬぬ。

GM…「くそっ、鎧風情が!」

ソルビット…そう、あの鎧はとても硬いのです! あのを壊せた時は、つまりこのパ-

ティの全滅を示すことに……。 (一同笑)

ウォルロック…あながち間違っではない(笑)。

サイモン…この鎧は伊達では無いのだ!

GM…ニルエナはソルビットの方を睨んで、「くそ、こんな補佐役もいるなんて!」と言ってるね。

ソルビット…いやいや、ただのタダ飯食らいですよ。——次は俺の手番か。

サイモン…《ヒール》をください!

ウォルロック…回復?

ソルビット…そうなんだけど……ジャンは《ワイドアタック》しかないならエンゲージ離れてもいいかなと。というわけで、ムーブ・マイナーで離脱。(コマを動かす)

あの鎧を壊せた時、
戦
闘
不
能
じ
や
な
く
て
装
備
破
壊
と
か
さ
れ
た
ら
ど
う
な
る
ん
だ
ろ
う
か。

サイモン…それは我輩（のコマ）である。（一同爆笑）

GM…いいんですか、サイモン離れちゃって？（笑）

ソルビット…よくないです（笑）。——そしてメジャーはサイモンに《ヒール》！（ダイスを振る）判定は成功。最大で何点回復する？

サイモン…あと30点。最大【HP】は低いのである。

ソルビット…固定値じゃ足りないか…：フェイトを1点入れよう。（ダイスを振る）お、出目が高い。33点回復。

一同…おおー！

サイモン…全快した！

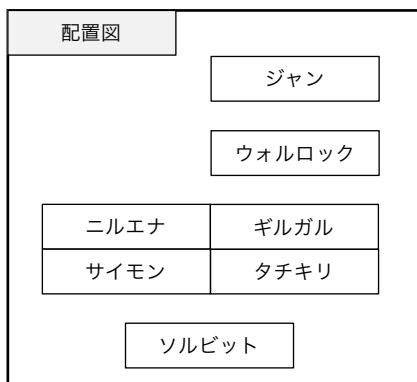
GM…クリンナップは特になし。では第二ラウンドだ！

それは我輩（のコマ）である
似たコマが多過ぎてPC
ですら間違えた。

● 第二ラウンド

■ 行動値

ギルガル..	15
タチキリ..	10
ジャン..	9
ウォルロック..	8
サイモン..	6
ニルエナ..	6
ソルビット..	4



GM…第二ラウンドのセットアップだ。ニルエナとジャンは《制御下の瘴気》を使用する。ジャンがダメージロールに+1D。ニルエナは変わらず防御力に+5だ。

サイモン…《コネクトアイ》！

ソルビット…《限界突破》使うか？

サイモン…ボスともエンゲージしてるし、速攻が必要だしな。

ソルビット…《カバリング》役を落としてから使うかどうかだな。

サイモン… ゆうて、ニルエナのダメージもそこそこ痛かったのである。

ソルビット… そうだな。《カバリーリング》役も落とせば敵の絶対数減るし、使っちゃうか。
 タチキリ… うん。

サイモン… よし、ここで一気に。《限界突破》を発動！ 承認！ ポン。

GM… ではギルガルの手番から。もちろん攻撃だ。「まだまだ力は強くなる！ グライフよ、さらなる力を！」と言って、マイナーで《魔獣の契約》。ダメージにさらに+1Dする。

タチキリ… また筋肉が盛り上がっていく。

GM… 「受けてみる、この力！」……ここでメジャーアクション、《バーストアタック》を使用！ 至近の二体に白兵攻撃だ！

サイモン… 出たー！

タチキリ… 誰に？

ウォルロック… お前たち二人しかないよ（笑）。

タチキリ… バカなー！（一同笑）——ここで《バーストアタック》に《インタラプト》！
 GM… OK。《バーストアタック》をしようと瘴気を腕に貯めていたギルガルだけど、タチキリは……？

タチキリ… 明らかに不審な動きをする。いきなり懷に飛び込もうとする感じで。

GM… するとギルガルは「むっ、何!?」と言って手が止まる。

バカなー！ 至近が対象で
 タチキリがいらないことの方
 が少ないです。

タチキリ…ちよつと横にも移動して、ほーら味方も巻き込んだじゃうぞー、と。

GM…多分巻き込んでも気にしないけどね。(一同笑)——とはいえ、『バーストアタック』の手は止まり、ギルガルは攻撃せずにターン終了。

ソルビット…ナイス！

ウォルロツク…よし！

タチキリ…次はおいらか。適当に胸でも蹴つて元の位置に戻つて……そのまま『ワイドアタック』。今度こそ『ワイドアタック』。

ソルビット…これが本物の『ワイドアタック』だ！

サイモン…向こうの方がレベル高いけど。(一同笑)

タチキリ…『限界突破』も含めて命中4D。すごいな、ファンブルするぞ。

GM…4Dでファンブルは見えないなー(笑)。

サイモン…4Dでファンブルしたら自慢していいぞ(笑)。

流石にファンブルすることはない、命中判定の達成値は25。ギルガルもニルエナも出目は良かったが、2Dではクリティカル以外で達成値を超えることはできず、命中する。

GM…ニルエナはもちろん『カバリング』。「伯爵危ない！」

今度こそ『ワイドアタック』
前ラウンドの鬱憤を晴らすように。

向こうの方がレベル高いけど
タチキリの『ワイドアタック』のレベルは1。対するジャンは3。

タチキリ…ここでするのか。《ギフト》入れちゃう？

ウォルロック…ありはあり。

サイモン…相手の【HP】わからないけど、ここで落とせたらおいしい。《カバリング》でダメージ二倍だし。

タチキリ…まあね。……ちなみに《スタイル》って、ダメージロール直後だとニルエナにしか入ってない？

GM…えーつと（ルールブックを読む）……そうだね、ダメージロールがニルエナにしか発生しないからニルエナだけかな。

タチキリ…キレそう。（一同笑）

サイモン…複数《スタイル》は無理だったんだ。諦めて一回ずつ使っていくのである。

タチキリ…そうやな。えつと、基本ダメージ2Dに《限界突破》の+2D、さらに《ギフト》で+2Dだ。

GM…6Dか。どうぞ。ニルエナの防御力は15だ！

タチキリ…ダメージロール！（ダイスを振る）カスカ!? ダメージロールは振り直しできないのに……まじごめん。出目14。すげー低い。あ、《ワイドアタック》はどうなる？

GM…複数体を対象にした時点で乗ってるよ。

タチキリ…よかった。（計算中）……28点ダメージ。まじ申し訳ない。

キレそう
どうどう。

カスカ!?
6Dでの期待値
は21。14は確かに低い。

GM…防御が15点なので、13点ダメージ。それが二倍なので26点くらい。……伯爵を守ったことでもいいぶ切り裂かれたけど、まだ生きてる。「くそっ……!」と。

タチキリ…こつちのセリフだわ! 今日の出目が本当に弱い。

サイモン…まあまあ。

GM…続いてジャンのターン。伯爵のエンゲージの二人、タチキリとサイモンを狙おう。

「伯爵に仇なす奴は許さん!」と、《ワイドアタック》。あ、マイナーで《バッドステータス付与…スリップ》も入れます。命中は3D+9。(ダイスを振る) 19。

サイモン…《限界突破》で+1Dがあるぞ! (ダイスを振る) 残念、シゴロだった。命中。タチキリ…(ダイスを振る) **なんでさー! 出目20!**

ソルビット…出目で避けたね(笑)。

サイモン…避けたことはいいことじゃないか。ほら、来いやー!

GM…タチキリは軽く避けたな(笑)。ダメージは……(ダイスを振る) 31点。

サイモン…10点以上軽減してもらえれば弾く。

ソルビット…余裕つすよ。《プロテクション》。(ダイスを振る) ……8点(笑)。

サイモン…弾けませーん。(一同笑) 2点通りました。

ソルビット…ぐわー、「スリップ」がー!

ウォルロック…動く気ないだる(笑)。

なんでさー! 4Dの期待値は14なので20は高い。荒ぶるタチキリのダイス神。

弾けませーん でも2点しか通ってない。

サイモン…カン、うつ、ずっこけてしまった。

GM…鎧の隙間に刺さって身体が動きにくく（笑）。ジャンは「くそつ、あの鎧……！」とイラッとしています。

サイモン…むむ、2点もくらった。痛いではないか。（一同爆笑）

GM…「ぐぐ、この野郎！」と怒り中。

ウォルロック…次は俺だ。どうするかなー。ジャンを潰しにいくか……。

ソルビット…ジャンはもう無視でいいと思う。

ウォルロック…ま、普通に《カバリング》役を潰してしまえばいいだろうな。

どちらにしろ《カバリング》してくるだろうと踏み、ギルガルに《バッシュ》で攻撃。

命中判定は出目が低いものの、持ち前の【器用】の高さもあり見事に命中する。

予測通りニルエナは《カバリング》するが、《限界突破》で強化したダメージジロールは45点の物理ダメージを叩き出す。ウォルロックがばら撒く銃弾に撃たれたニルエナは……。

GM……累計ダメージが86点まできた。【HP】は67点。倒れた！

サイモン…ふー、やったぜ！

ウォルロック…いい忠誠心だ。感動的だな。だが無意味だ。

痛いではないか サイモンはメイジで「最大HP」は低いので痛いっっちゃ痛いのかも？

いい忠誠心だ。感動的だな。だが無意味だ。 特撮作品である『仮面ライダーディケイド』に出てくるセリフの改変。貼り付いたような笑顔で言つてあげよう。……申し訳ございません、このような補足で。

GM…ウォルロックの銃弾に撃たれ、「うぐわっ！」っとニルエナは倒れて戦闘不能だ。

ウォルロック…これで次で《ボルテクスアタック》が使える！

GM…ギルガルは「チッ、役に立たない奴め」と。

ソルビット…お前ー！ 味方に向かってなんてことをー！

ウォルロック…たつた今がつつり罵倒したから何にも言わなーい（笑）。

サイモン…次は我輩だ！ ギルガルに対し《ウィルパワー》、《エアリアルスラッシュ》！

外道め、ここで屠ってくれる！（ダイスを振る）……まあよろう。出目11で18。

GM…ギルガルは回避。（ダイスを振る）14で失敗。

サイモン…よし。ダメージロールは4D。ふーん！（ダイスを振る）うーん、低いのである。

出目10で、37点〈風〉魔法ダメージ！

タチキリ…それでもおいらより高いんだよなー。

ウォルロック…《ウィルパワー》でどんどんバフ重ねてるからね。

GM…ギルガルは魔防が7なので30点くらう。

サイモン…ふーん、ボゴーン！

GM…「ぐっ！ ……」だが、この程度はやられんぞ。その程度の力で、この魔獣の力を抜けると思うな！」とギルガルは叫ぶ。……次はニルエナが倒されたのでソルビット。

ソルビット…ダメージくらってる人っている？

味方に向かってなんてことをー！ ソルビットは《カパーリング》の大切さを身に沁みて理解している。その割に「いくらでも殴っていいぞ！」とか言うけど。

タチキリ…12点くらってる。……あ、マイナーでHPポーション飲んでおけばよかったー！

GM…(笑)

ソルビット…サイモンと一緒に《カバリング》あるから《ヒール》は大丈夫だよな？

……タチキリに《ホーリーウェポン》をかけよう。《エンチャントウェポン…無》は残念ながらエンゲージしないといけないからな。ムーブで少し下がって……(コマを後ろへ)。

サイモン…あのポーズで後ろに下がっていくとすごい煽られてる感が……。 (一同笑)

ソルビット…(笑) タチキリに《ホーリーウェポン》。(ダイスを振る) 成功。

タチキリ…どうも。マジでありがとう。

GM…最後にクリンナップ。ギルガルは《再生能力》を使用。【HP】を15点回復。

タチキリ…ああ、それ宣言なのか。回復って自動のイメージある。ゲームの都合上。

サイモン…TRPGはゲームの都合上、宣言することが多いのである。

タチキリ…TRPG久しぶりだからね。(一同笑)

ソルビット…一ヶ月ぶりだからな。

タチキリ…冒険も二週間ぶりだし。

ソルビット…それはゲーム内の話(笑)。

GM…では、第三ラウンドに移行しよう！

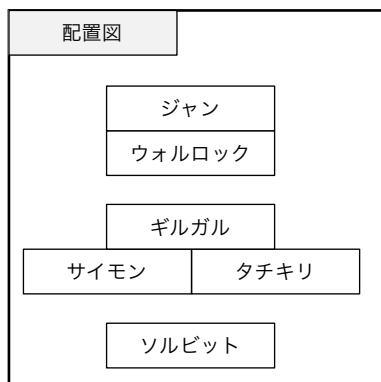
マイナーでHPポーション
アリアンではポーション
類はマイナーアクションで
使用できる。ムーブとは別
なので走りながら回復とか
も可能なのだが、意外と忘
れがちで後から後悔する。

あのポーズで、ソルビット
のコマは伸び上がるよう
に両前脚を真上に掲げたり
アル系の猫のフィギュア。
そのポーズでこつちを見な
がらムーブウオークみたい
に後ろに下がっていくのは
とてもシュールだった。

● 第三ラウンド

■ 行動値

ギルガル…	15
タチキリ…	10
ジャン…	9
ウォルロック…	8
サイモン…	6
ソルビット…	4



GM…セットアップから。ジャンは変わらず《制御下の瘴気》でダメージロールに＋1D。
 サイモン…《コネクトアイ》！ 《コネクトアイ》を三回積んだサイモンの目はギンギンに
 輝いて……。 (二同笑)

GM…ではギルガルだ。「そろそろ力も貯まってきた。貴様ら全員、ぶち倒してくれ！」
 と言いながら、マイナーで《魔獣の契約》を使用。三回目。

サイモン…それな。正直しんどい。

GM…攻撃対象はランダムで。(ダイスを振る) タチキリへ！

タチキリ…バリアー！

サイモン…避ける！（笑）

GM…命中が3D+7。（ダイスを振る）19。

ソルビット…19ってどれくらいで避けれる？

タチキリ…固定値が7だから3Dで12だね。

ソルビット…《アドバイス》どうしよう？ 命中の方がいいか？

ウォルロック…3Dあるなら振るだけ振って、ダメならカバーかな。

サイモン…いけるいける。自分を信じて。当たっても我輩がかばうし、よほど相手の出目が走らない限りは耐えられるはず。はず。

タチキリ…前回それで死んだよな。（一同笑）ま、カバーはお願いするわ。回避。

（ダイスを振る）クリ……ティカルはしない。あ、でも20か。

GM…お、避けた。

タチキリ…あつぶねー！

ウォルロック…よし！（笑）

サイモン…やったぜ。

GM…避けられたか。ギルガルのさらに巨大化した爪の一撃だったが——タチキリはすんでのところでステップして避ける。

バリアー！
それはソルビ
ットの仕事。

前回それで死んだよ
な！ フォモールシュ
ーに撃たれたサイモン
の古傷が痛む。

タチキリ…今日はギリギリ多くない？

GM…「チツ、すばしっこいウサギめが！ 妖魔の顔をしながらそのようなことを！」

ウォルロック…魔獣がなんか言ってるよ。（一同爆笑）

ソルビット…しゅ、種別は人間だから！（笑）

サイモン…自分の姿を鏡で見てみるんだなー！

GM…（笑）続いてタチキリのターン。

タチキリ…マイナーでHPポーション。（ダイスを振る）8点回復して残【HP】36点。メ

ジャーはギルガルに素殴り！（ダイスを振る）はー……15。

タチキリの攻撃は命中。《ホーリーウェポン》で強化された上にダメージロールが走り、ギルガルの【HP】を15点も削る。とはいえ、タチキリの興味はそこではなく――。

タチキリ…（アン○ンマンの『元氣一〇〇倍』のテーマで）テッテレッテッテッテッテ。テッテテッテレテ、テッテレテッテッテ。《ステイール》。（一同笑）

GM…どうぞ（笑）。さ、取れるかなー？

ソルビット…今日はどこの髪の毛かなー？（笑）

サイモン…そのヒゲをブチ切ってやるぜ！（笑）

《ステイール》 PL自身
も一番楽しそうな瞬間。

タチキリ…ワクワク《ステイール》タイムだ！ 取れなかったら心が折れる。(ダイスを振

る) ……カスヤン!? ダメ、4。

GM…4は何も落ちません。

サイモン…バカな、《ステイール》が不発。

GM…少しタチキリに斬られるが、「ふん、そんなナイフ、痛くも痒くもないわ!」とギルガル。まあ15点くらってますけど。

タチキリ…もうダメだ。すごいショックなんだけど。

GM…続いてはジャン。——ギルガルから声が飛ぶ。「ジャン、後ろのアカライトを狙え!」

エンゲージを離脱しつつ「わかりました伯爵!」とソルビットを狙った矢は命中するも、《プロテクション》の障壁に阻まれダメージは11点。ソルビットを倒すには至らない。

GM…「チッ、その程度の魔法も打ち抜けないのかバカめ!」とギルガルは言ってる。

ソルビット…いや、十分撃ち抜いてます。(一同笑)

GM…「とにかくそのまま撃ち続けろ!」と言ってますが、ジャンの手番は終わり。

ウォルロック…ヤハイ! ムーブでジャンにエンゲージ。でも別にジャンは撃たない!

(一同笑)

取れなかったら心が折れる
この瞬間のために心血注
いでるからね。結果は続き
をどうぞ。

もうダメだ 取れなかった
ので心が折れた。

でも別にジャンは撃たな
い! ジャンにはガン飛ば
すだけ。

ソルビット…エンゲージしてるのにお互いに相手を撃たないという愉快的状況（笑）。

GM…敵同士で背中を合わせて撃つ（笑）。

ウォルロック…相手を睨みつけてるけど——撃つのはギルガル！ 《バツシュ》！（ダイスを振る）達成値は20。

GM…回避。（ダイスを振る）14。命中です。

ウォルロック…——あ、《ボルトクスアタック》忘れてた。攻撃宣言時だったのに。（ダイスを振る）ダメージの出目はめちゃくちゃやる気を出した！ 41点、物理！

GM…でかいな。防御は9点なので32点くらう。——バスバス撃たれるギルガル・フェルモード。瘴気が若干吹き出したりもするが……「ぐぐ、だがまだやられん！」と。

サイモン…次は我輩だ！ この一撃で沈めてくれるわ！ 《ウィルパワー》、《エアリアル

スラッシュ》！（ダイスを振る）19！

GM…回避！（ダイスを振る）13。命中した！

サイモン…よし。ふん！（ダイスを振る）……37点、《風》魔法ダメージ！ ドーン！

GM…魔防は7なので30点くらう！

ソルビット…フハハ、痛かろう。

サイモン…フハハ、【MP】が無いぜ。（一同笑）

ウォルロック…【MP】はゴリゴリ減ってくからな（笑）。

【MP】が無いぜ 攻撃の勢いに乗った声から一気に普通のトーンに落ちた。

GM…風を受けて「ぐっ！」っと瘴気が吹き飛ばされたりもしているが……「まだだ、まだ終わらんぞ！」と言ってます。

サイモン…くっ、しぶとい奴め。

タチキリ…もう一回《ステイル》あるからまだ死なないでほしい。(一同笑)
ソルビット…こいつ(笑)。

もう一回《ステイル》あるからさっき失敗したので再挑戦したいのだ。

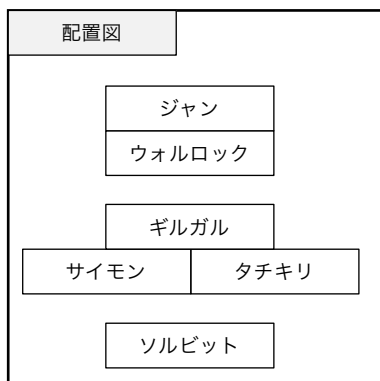
最後のソルビットはウォルロックに《ホーリーウェポン》をかけ、さらに打点を上げる。

その後、クリンナッププロセスでギルガルは《再生能力》を使用して15点回復。最終局面を迎えた戦いは第四ラウンドに続くことに。

● 第四ラウンド

■ 行動値

ギルガル…	15
タチキリ…	10
ジャン…	9
ウォルロック…	8
サイモン…	6
ソルビット…	4



セットアップはジャンの《制御下の瘴気》でダメージ＋１Ｄのみ。ギルガルの手番へ。

GM「おのれ、鎧風情が！ 私の身体に傷を付けるなど許さんぞ！」と言って、マイナー《魔獣の契約》を使用してダメージ＋１Ｄを追加。

ソルビット「いつも思うけど、『鎧風情が』ってワード面白すぎるんだよね。（一同笑）サイモン「ふん、悪しき爪ごときがこの鎧を貫くことなどできぬわー！」GM「だが、ここまで膨れ上がった魔獣の力、耐えられるかな!？」

「鎧風情が」ってワード面白すぎるんだよねーGMもノリと勢いで喋ってるのの意味は考えてないです。

サイモン…ヤバイかもしれん！（一同笑）

ソルビット…急に弱気だー！（笑）

GM…（笑）というわけでサイモンを攻撃だ。（ダイスを振る）達成値19。

サイモン…（ダイスを振る）おお、クリティカル！

一同…おおー！（拍手）

ウォルロック…回避した！

ソルビット…コングラッチュレーション！（笑）

GM…魔獣の爪がサイモンに襲い掛かるが――。

サイモン…じゃあ……華麗なステップで。バカめ、受けると思ったか。（一同笑）

ウォルロック…見た目に似合わぬ機敏なステップ（笑）。

GM…鎧ステップ（笑）。爪が地面に大きな穴を穿ちます。ズシヤ！

サイモン…今だ！ やれー！

GM…「くそつ、この鎧が……！ 機敏な動きを……！」と言ったところで手番終了。

タチキリ…おいらの手番だ！ よつしやー！ 素殴りしかできない。

サイモン…いけ！ ステイルアタック！

タチキリ…ステイルアタックじゃない。アタックスティールです。順番を間違えたら何

もできないんです。（一同笑）——命中判定。（ダイスを振る）14。

ヤバイかもしれん！ 直前の強気な発言の時と全く変わらぬ声のトーンで言い放った。ノリと勢いで生きたサイモン。

アタックスティールです《ステイル》はDR直後なので、攻撃後に行なう行動とすればその通り。

GM…ギルガルの回避。(ダイスを振る) 11。命中です。

タチキリ…固定値は15。(ダイスを振る) やっぱ火力は出るな。25点。

ウォルロック…いいよ安定してて(笑)。

GM…16点くらい。まだ耐えるよ。

タチキリ…ダメージジロール直後、《ステイール》！ ここでフェイト入れたいけど回避怖いんだよねー。

サイモン…一個ずつしか切れないし、一個くらいいいのでは？ 《アドバイス》もあるし。

タチキリ……モチベーションも上がるし、フェイト入れるか。モチベステイール！ (ダイスを振る) あ、16。

GM…お、マックスまで来た！ ドロップ品“瘴気のカケラ”を得ます。四〇〇〇Gの換

金アイテムです。

一同…おおー！

サイモン…やったぜ！

ソルビット…素晴らしい！

タチキリ…バカな、この私がー！ 誰だー！ (一同笑)

ウォルロック…中の人が嬉しそうにぶつ壊れてるだけじゃねえか！ (笑)

GM…タチキリの剣撃はギルガルの肌を少し斬り裂いただけだが……その時“カキン”と

《ステイール》！ ギルガルには二度目。今度はどうなるか。

誰だー！ 狂喜乱舞とはまさにこのこと。

青白い瘴気が凝縮したようなカケラがこぼれ落ちる。それを素早く拾うタチキリ。(一同笑)
ウォルロック…抜け目ない(笑)。

タチキリ…これはおいらのものだー！

サイモン…これは光玉みたいなレアアイテムに違いない。

ソルビット…間違いなくレアアイテム。天鱗レベルだろ(笑)。

GM………というわけで瘴気のカケラ、四〇〇〇Gの換金アイテムをゲットです。

ソルビット…四〇〇〇Gは死ぬほどでかいね。

タチキリ…サイモンが欲しいって言ってたやつ買えるやん。

サイモン…これ一個で鎧十何かが買える。

GM…これは、ギルガルの元にした既存エネミーと同じ価格のドロップ品で設定してる。

タチキリ…生きて帰りたい所存。

ソルビット…みんなそうだよ！ 常にそうだよ！(一同笑)

サイモン…死んで帰りたい奴はいないのである！(笑)

GM…ただ、ギルガルはカケラ程度が落ちたことは気にしない。

タチキリ…もうちょっと気にして。

GM…カケラくらいは気にしないよ(笑)。「ふん、そんなもの関係ないな。……ジャン！

いいから後ろの奴を早くやれ！」とギルガルが叫んで、ジャンの行動へ。

光玉／天鱗 おそらくゲム・モンスターハンター』の素材をイメージしている。どちらも強大な力を持つ伝説級の龍から低確率で手に入るレア素材のため、これを求めて幾千もの伝説級の龍が今日も狩られている。

生きて帰りたい所存 俄然生きる気持ち湧いてきたタチキリ。生き甲斐大事。

勢い勇んで臨んだジャンの命中判定だが、出目は1・1・2……折れかけたジャンの心が見えるよう出目だった。とはいえソルビットの低い回避では避けられず、命中はする。ダメージジロールは安定しており34点の物理ダメージ。《プロテクション》で軽減されるも、14点のHPダメージを与えてソルビットの残り【HP】は14点に。

GM…「くそつ、まだやれないのか!」とジャン。

ソルビット…いやー恐ろしい攻撃だった。

タチキリ…このパーティ硬いなー。

ウォルロック…《プロテクション》で結構軽減してるからな。——次は俺。ボスを殴る!

サイモン…いけー! 今こそ必殺の《ボルテクスアタック》!

ソルビット…ここで《アドバース》使っちゃうか。

サイモン…《ボルテクスアタック》外すととても悲しい気持ちになるしな。

ソルビット…それじゃあウォルロックに《アドバース》!

ウォルロック…やった4D! ——《バッシュ》、《ボルテクスアタック》! (ダイスを振る)

命中は25!

GM…ギルガルはウォルロックの殺気に気付く。「む、そんな攻撃——」と回避! (ダイスを振る) 10。避けられない。

いやー恐ろしい攻撃だった
とても涼しい顔で言っていた。

ウォルロック…《バッシュ》で5Dで……フェイトも残ってるし最大値で+2D突っ込む！

(ダイスを振る) 《ボルテクスアタック》で+30点の……70点の物理ダメージ！

GM…70点!? 【物理防御力】は9なので61点くらい！

ウォルロックの持つ二丁一組の魔導銃からありえない量の銃弾が放たれ続ける。そして、その一弾一弾が真空波を生み、ギルガルの身体を瘴氣ごと切り裂き、撃ち抜いていく。数多の弾丸はギルガルの魔獣の力に、徐々に、だが確実に穴を穿っていった。

ウォルロック…いやー、楽しいー！

ソルビット…ご存命でいらつしやいます? (笑)

ウォルロック…落ちてなくても、ほぼ致命傷なはず。

GM…《ボルテクスアタック》の一撃で撃ち抜かれてポロボロだが……まだ立ってる！

一同…おぉー。

GM…「ぐっ……まだ、まだだ！」

ウォルロック…サイモン、任せた！

サイモン…よし、任せろ！——まずはMPポジションを飲む。(一同爆笑)

タチキリ…そうだけどさ! (笑)

楽しいー! ダメージロー
ルの時が素で一番楽しそう
なところを見ると、ライフ
パスで『戦い好き』と出たの
は何も間違いじゃなかった
と思う。

ウォルロック…【MP】カッカツだもんな（笑）。

サイモン…もう【MP】5点しかないのである。

GM…《エアリアルスラッシュ》単体も撃てねえ（笑）。

サイモン…くそー、ちょうど三ラウンドで終われるかと思ったのである。（ダイスを振る）
6点回復。《ウィルパワー》は打てないので…《エアリアルスラッシュ》単体で攻撃！
タチキリ…せつない（笑）。

サイモン…回復した分をそのまま使って……てい！（ダイスを振る）あー、1・1・2！
これはやばいぞ。——フェイトを1点切る！（ダイスを振る）よし、**出目13で達成値20！**
ウォルロック…がつつり上がった！

GM…「ぐう、その程度の風、こちらでも避けて——」（ダイスを振る）無理です。

サイモン…うおー、この絞り出した風パンチ！ くらえー！（一同爆笑）

ソルビット…（↑腹を抱えて爆笑している）

ウォルロック…本当に絞ってる（笑）。

サイモン…ふん！（ダイスを振る）——36点、《風》魔法ダメージ！ くらえ！ ドン！

長期化した戦いに疲弊するのは冒険者も同じだ。ポーシオンからも魔力を補充して放つ
サイモンの魔法はもはや最大の力を出せていなかった。

この絞り出した風パンチ！
チューブの中身を出し切るように。

だが、身体に残る全ての魔力を集め、突き出した拳——そこから放たれた“全力”の風魔法は、ウォルロックの銃弾で満身創痍のギルガルを捉え……その身体を吹き飛ばした。

GM…29点のダメージをくらった！——累計ダメージ 183点、【HP】158点で倒れた！
一同…おおー！

ソルビット…結構多かった。まじでギリギリだったのか。

GM…ちなみにさっきは残り【HP】4点だった。——絞り出したサイモンの風パンチにより、ギルガルの頭部が……めっちゃと。

ソルビット…グロい（笑）。

GM…風でヘコむくらいね（笑）。横に吹き飛ばされる。

サイモン…ふん、悔い改めるがよい。

GM…「ぐわあ！」と飛ばされて、ギルガルが倒されます。——戦闘終了です！

ドロップ品決定ロールでは、ウォルロックがギルガルから高級ルビーを、ソルビットがニルエナから警護騎士団の証（九〇〇G）を手に入れた。（一同…売れるの!?）

ちなみに、『トレジャーハンターI』でギルガルの追加ドロップ品に挑んだタチキリは出目で1・1を出して何もなし。いつもながら最後に気合が入らないタチキリであった。

* * *

GM…では、ドロップ品が終わったところで話の続き。ギルガルが「ば、バカな……」とガックリと膝をついている。

サイモン…悪は潰えるのだ。

GM…「ありえん、ただの冒険者風情がこの力を超えるなど……」と言った時、「うぐつ!？」っとギルガルが急に悶え始め……その体から大量の瘴気が吹き出します。

サイモン…ギ、ギルガルー！ ラスボスが自滅してしまうやつ？

ソルビット…おい、大丈夫か？

GM…吹き出した瘴気はそのまま霧散していき……瘴気が収まったとき、そこには元の姿に戻ったギルガルがいる。

ソルビット…生存確認を。

GM…確認も何も。「そんな何故だ！ 何故力が！」と声を出してる。

ソルビット…全然生きてた(笑)。

サイモン…よかった。ミゼルの父ちゃんであるからな。

タチキリ…無事で何より。

GM…ジャンの方も瘴気が抜けて、戦意喪失状態。ギルガルは「くそ、まだエサが足りない

全然生きてた(笑)でも即座に生存確認に動こうとしたところは、やはり知恵者だなと思う。

かったというのか！　だがまた集めれば……！」　と言ってます。

ウォルロック…次なんかないぜ。

サイモン…させると思うのか。

ソルビット…一発殴ろう。

GM…——その時、キミたちの後ろから一人の男が入ってくる。ミゼルだ。

ソルビット…お、殴ろうと思ったけど譲ろう。

GM…ギルガルはミゼルの方を見て、「ミゼル、いいところに来た！　お前ならわかるはずだ、グランフェルデンの力を取り戻す、その意義が！」と声をかける。「さあ、この邪魔者どもを殺せ！　そしてまた儀式をやり直すのだ！」と叫ぶと……ミゼルはキミたちの方を見てゆつくりと剣を抜いていく。

サイモン…はっ。

ソルビット…特に何もしないぞ。

GM…そして一歩ずつ近付いてきて……キミたちの前で立ち止まり、こう声をかけてくる。

「アフターグロー。——俺の答えは出た」

——その言葉と同時に何人もの人が部屋になだれ込んできた。全員が上等な鎧を着込み、統率のとれた動きでギルガルを包围していく。

「な、王立騎士団（ロイヤルナイツ）だ!? 何故ここに!? ……ミゼル! 私を売ったのか!? 父親たる私を!」

叫ぶギルガルを、ミゼルは真つ直ぐに見つめ――

「父上……いや、ギルガル・フェルモードよ。俺が命をかけて守るのは権力でも過去の栄光でもない。……今のグランフェルデン、そして今を生きるこの国の民だ」

――そう言い終わると、ミゼルはギルガルに背を向けた。

ソルビット…おお。

GM…「ミゼル、貴様!」とギルガルが言うも、周りを囲んだ王立騎士団は「ギルガル・フェルモード! お前を国家反逆罪の罪で拘束する!」と言って、ギルガルを拘束します。

サイモン…ふー。

GM…ミゼルはキミたちに話しかけてきます。「お前たち、すまなかった。迷惑をかけた」ソルビット…全くだ。(一同笑)

タチキリ…さすがにびっくりしたわ。先に説明しておいてくれよ。

ウォルロック…こつちもトチったのが原因ではあるけどな(笑)。

サイモン…後でちゃんと説明してくれるんだろうな?

全くだ
ですよねー。

GM「ああ、本当にすまなかった。俺の迷いが、父上の……ギルガルの暴挙を許してしまった」とミゼル。——そう話すミゼルの後ろで王立騎士団がギルガルを連れて行くんだけど……ここで【感知】判定だ。難易度は10。

ソルビット…しまった！ フェイト取っておけば良かった！

ウォルロック…（ダイスを振る）12で成功。

タチキリ…こいつー！（ダイスを振る）出たわ。12。

サイモン…（ダイスを振る）抜けませーん。

ソルビット…（ダイスを振る）ダメ。ま、成功した人いるならいいや。

GM…成功した二人が気付くね。ギルガルを連れていく王立騎士団の騎士……その中のギルガルのすぐ後ろの騎士が短剣を取り出すのが見える。ギルガルを刺すつもりだろう。

ウォルロック…おい、待て！ キャリバーを抜き撃って短剣を撃ち落とす。

GM…騎士の持っていた短剣はウォルロックの銃弾で弾き飛ばされる。

タチキリ…素早くそのナイフを拾おう。

GM「な、なんだ!？」と周りが言ったところで、短剣を取り出した騎士が大きく飛び退く。前にいる騎士が「お前、何をしている!？」と叫ぶが……後ろに飛び退いた騎士は「おやおや、気付かれたか。念の為に口封じでもと思ったが、まあ仕方ないか」と言ってくる。ウォルロック…ちなみにそいつの顔に見覚えは？

フェイト取っておけば良かった！ 油断禁物……と言いたいが、クライマックス戦闘で使い切るのは普通なので仕方ない。想定内。

GM…いや、全く無いね。

ウォルロック…よかった。

GM…すると、その騎士は黒い風を纏う。グルグルと。やがて風が周囲に放たれ……。

タチキリ…（風を防ぐように顔の前に手を置くポーズ）

ソルビット…う、うわ！

ウォルロック…よくある一瞬視界を遮られて、戻つたらいないアレか。

GM…消えません。

タチキリ…消えるよ！（笑）

ウォルロック…姿を明かす方だった（笑）。

GM…風の中からは……右手に書物を持つ若い男の顔をした者の姿が現れる。見たことは無い顔だね。「まあいい、ギルガルよ。貴様のおかげで準備はできた」と言うと、ギルガルは「ダンタリオン！ 力を与えるとは嘘だったのか！」と答えます。

ウォルロック…魔族か！

ソルビット…ダンタリオン……。

GM…するとダンタリオンと呼ばれた男をまた一瞬黒い風が包み……次の瞬間には若い女の姿になる。見覚えはやはり無い。「嘘？ 違うわね。間違いない力は与えた。所詮人が扱える代物ではなかったというだけよ」と言い、また黒い風を纏えば今度は老人の顔に切り

（風を防ぐように顔の前に手を置くポーズ）
タチキリのPLはこういうところでGMのイメージを再現してくれるのが嬉しい。

消えるよ！（笑）
ご期待に沿えずすみません。

魔族か！ 直接的に魔族とは言っていないが、ダンタリオンという名前が実在の悪魔から拝借したものなので即座に断定された。みんな神話とか悪魔とかの名前よく覚えててすごいな！

替わる。「それでは、最後の仕上げがあるのでこれで失礼しよう。人間たちよ、最後の平穩を満喫するといいぞ？」と言つて、黒い風を纏つて今度はその場から消えてしまう。

ソルビット…消えた……。

サイモン…一体。

タチキリ…やはり魔族が。

GM…一時騒然とするけど、ギルガルはそのまま王立騎士団に連れて行かれる。ミゼルは「すまないが、俺も一度王立騎士団に行く。話さなければならぬこともあるしな」と。

サイモン…まあ、また話そうじゃないか。

GM…「すまないな」と言つて、ミゼルは去つて行きます。……ではエンディングに移ろう！
ソルビット…俺ら自主的に地下牢に戻った方がいいのかな？（一同笑）

タチキリ…ミゼルが説明してくれてるでしょ（笑）。

◆ ENDING PHASE

▼エンディングフェイズⅠ　　明らかとなる闇、現れた謎　　↓

ギルガル・フェルモードは捕らえられ、一連の食糧強奪事件に隠された闇は明らかとなった。しかし、現れた魔族、ダンタリオンの存在は更なる謎を残していた――。

GM…翌日、再びレーヴエン家に呼ばれたキミたちはグランの部屋へ。グランとソーンダイクを迎えてくれます。「アフターグローのみな、ご足労かけてすまないな」

サイモン…いやいや、こちらとしても迷惑をかけた。

ウォルロツク…なんとかなったようで何より。

GM…「まずは感謝申し上げる。ギルガルの暴挙を止め、大きな事件となることを防いできたこと、心より感謝する。……それと、先日は牢に入れるなど本当に申し訳ないことをした。心からお詫びする。すまなかった」と言つて、グランは頭を下げてきます。

タチキリ…投獄はこっちの指示だったの？

ソルビット…いや、（投獄されるのを）止められなかったからだろ。

サイモン…良い人である。

GM…そういうこと。グランが牢に入れるわけではないよ。――ソーンダイクが続けます。

「ノルテマンド伯爵……ギルガル・フェルモードは全て自供しました。以前からギルガルはグランフェルデンの軍事的な力を増強することを考えていました。そこであの魔族……ダンタリオンから魔獣グライフとの契約魔術を知ったと。魔獣に食料を捧げることで力が得られ、またその量が増えるほどその力はより強大なものになる。そう聞いたようです」

サイモン…ふむ。

GM…そこでギルガルはより捧げ物を増やすべく、周辺の妖魔たちに力を得る魔術としてこのことを流布しました。同時に食料の情報も併せて渡していたようです。ただし、妖魔には力を得る部分の魔術のみを教え、制御する魔術を隠したのです。そのため、力を得た妖魔は暴走、自滅しました。そうして自滅した妖魔の死体を収集し、魔獣との契約のエサとする……そういう流れだったようです」とソーンダイクは説明してくれる。

ソルビット…そういうことか。

サイモン…なるほどー。全てはギルガルの計画だったということか。

ウォルロック…力を得れるとは言ったが、お前に制御できるとは言っていないやつだな。

GM…グランが続けます。「ギルガルは警護騎士団の一部部隊を任されていたが、それ以外にも秘密裏に多数の私兵を飼っていたようだな。ジャンやニルエナもそうだ。彼らは騎士団の任とは別にギルガルの指示で動いていた」

サイモン…やっぱりニルエナもそうだったのかー。

やっぱりニルエナもそうだったのかー 実のところ、ジャンの尋問結果で「ニルエナに情報を渡している」と明言したのに、ニルエナが容疑者から外れていたのがGMは意外でした。

GM「グランフェルデン周辺での商品の取引や運送計画の情報は、部署は違いと全て警護騎士団に集まっていた。それをギルガルの私兵が集め、デンシウス家の使用人であるマトがギルガルに伝える。そして、その情報をジャン等の周辺の警らを行う部隊の者が任務の合間に妖魔に流す——そうして各地で食料強奪事件が起きるようになったようだ」

サイモン「ふーむ。随分と広い範囲に悪事の手を広げていたんだな。」

GM「ああ、本当にそのようだ」とグランもため息を吐く。「今のところはここまでだ。あの魔族のこともある。ギルガルには王立騎士団による厳しい取り調べがされるはずだ」

ソルビット「多分アレ、次の四話のオープニングで死んでるぞ。」

サイモン「可能性はある。」

タチキリ「高いね。」

GM「——さて、話が長くなってしまったな。キミたちに約束の報酬を渡さねばな。ゼスター」と言つて、ゼスターが呼ばれ、袋を差し出してくる。

ウォルロック「やったー！」

サイモン「セバスチャンや。」

ソルビット「受け取ります。中は？」

GM「約束の二二〇〇Gだ。受け取ってくれ」

ソルビット「はい。……袋があと三つ足りないのでは？（一同笑）」

次の四話のオープニングで死んでるぞ。確かにそういう展開はよくあるけども。もう少し騎士団を信用してもいいのよ？

袋があと三つ足りないのでは？ あわよくば報酬を増やそうとするソルビット。ゲスい。

GM「まあ、そうは言わないでくれ」と苦笑いのグラン（笑）。

ソルビット「もちろん冗談ですよ（笑）。

ウォルロック「適正ライン以上をドカドカ出すのは依頼としてはよろしくないからな。

タチキリ「あと、こちらを買い取ってほしいのですが……」（警護騎士団の証を出す）

GM「そ、それは私が買い取るわけにはいかないな。見なかったことにするから、市場にでも行ってくれないか？」（一同笑）

タチキリ「市場に流していいので!？」

GM「まあ、マニアってものはいるからさ。現実でも警察の物が好きな人とかいるじゃん。

タチキリ「冒険者が流していい物なのか？」（笑）

サイモン「ドロップ品は好きにしたいという権利があるから大丈夫である。

GM「そういうこと。」「——キミたち冒険者は自由だ。だが、できるなら今後もこのグランフェルデンの助けになつてほしい。よろしく頼む」

サイモン「力になるとも。家も買ったことだし！

ソルビット「今後ともご贔屓に。値段は勉強しておきます。

GM「ハハ、そうしてくれると嬉しいな」とグランは笑ってくる。……では、レーヴェン家を出たところでもう一シーンだけ。

▼エンディングフェイズ2 　　ゝ 変わる姿と変わらぬ心 　　ゝ

無事に依頼を解決し、報酬を受け取ったアフターグロ―。最後に待ち受けているのは、もちろん、彼らだ。

GM…報酬を受け取ってレーヴェン家を出ると、突然声をかけられる。「お!?　ようやく出てきたか!　待ちくたびれたぞ!」と言ってきたのは……メリルだ。

ウォルロック…ですよ(笑)。

ソルビット…いつもの(笑)。

GM…その横にはキルトとリリイ、そしてミゼルがいる。リリイが「みなさん、ご無事で何よりです!」、キルトが「ま、僕があれだけ働いたんだから結果は出してもらわないとね?」と言ってくるよ。

ソルビット…ああ、助かったよ今回は。

タチキリ…本当に助かった。

サイモン…お主たちも無事で良かった。

GM…「ま、一瞬捕まりかけたけどな」と言うメリルに、リリイは「もー、メリルさん無茶するから……」と。

ですよ(笑)　どんなに典型的な流れだとしても、やつぱり最後はこいつらとのシーンじゃないとね。

ソルビット…ケガは大丈夫なのか？

GM…「それくらい大丈夫だよ！ リリイが全部《ヒール》してくれたからな！」（一同笑）
ウォルロック…ケガを負わなかったとは言つてない（笑）。

GM…リリイは「私は【MP】が心許なくなりましたけど……」と苦笑い。——そんな話をしていると、ミゼルがキミたちの前に歩み出ます。「アフターグロ―。今回の件は世話になった。それと……申し訳なかった」

ソルビット…ま、気にするなつて。

サイモン…いいつてことだ。

GM…「一ヶ月ほど前から父上の様子がおかしいことは気付いていた。以前にも増して国の強さを求めるようになったと。だが、あくまで国を想つての行動だと信じて疑わなかった。

……あの日、お前たちに隠し部屋を見せられた後、俺は父上に真実を確認しに行った」

ソルビット…それがおかしいんだつてよー！（一同笑）

GM…「そして、お前たちの言葉が事実だと……あれらを父上は理解してやつていることを知った。——だが、俺はその場で止められなかった。父上のこの国を想う気持ちだけは本物だと信じていた俺には、この手で父上を捕らえることができなかったんだ」とミゼル。

「そのせいでお前たちのことが父上にバレ、地下牢に入れる結果となった。さらに、自分のできなかったことをお前たちに押し付けることにもなった。全ては俺の甘さが招いた結

それがおかしいんだつてよー！ 他人から見ればその通りだけど、ミゼル本人には必要な行動だったのだ。親子つて、単純で、難しい。

果だ。改めて謝罪させてくれ。——本当に、すまなかった」と言つて、頭を下げてくる。ちなみに最後にギルガルが連れて行かれる時に後ろを向いてたのも、父親捕まるのを見ていられなかったという感じだね。

タチキリ…あー。

ウォルロック…ま、そうだよな。

サイモン…親子なのだ、仕方あるまい。そういうことはある。

GM…「近くフェルモード家は爵位を剥奪されるだろう。そうなれば俺は貴族では無くなる」
ソルビット…お、冒険者になれるじゃん？（笑）

GM…「……ああ、そうだな」と、ミゼルは少し笑う。「だが、俺のこの国を想う気持ちは変わらない。これからは冒険者として、この国のためになることを考えるつもりだ」と、決意のこもった目でキミたちに告げてきます。

ウォルロック…真面目だなー。

GM…「……それに、みんなもこんな俺についてきてくれると言ってくれたしな」と言つてミゼルが後ろを見ると、後ろではキルトとリリイとメリルが笑っているね。「アフターグロー。同じ冒険者として、これからよろしくな」とミゼルは手を差し出してくるよ。

一同……（若干の間）。

ソルビット……この誰が対応するのか、という間（笑）。

……（若干の間） 茶化した
り煽ったりは得意だけど、
真面目な対応はまだ苦手。

サイモン…ま、リーダーだしな！

ウォルロック…頼むわ（笑）。

GM…（笑）それじゃあ、サイモンが代表して握手したところで。……するとメリルが駆け寄ってくる。「そんなことよりソルビット！ お前ら報酬もらったんだろ！」

ソルビット…え、なんのこと？

GM…「あの時牢から出してやったのは誰だったかなー？」

ソルビット…え、自力で出たんじゃなかったっけ？（一同笑）……でも、頼んでないよな？

GM…「お？ お？ そんなこと言っているのか？ ……じゃああの時に拾った装備品とか全部回収していいのかなー？」とメリル。キルトも「そうそう、屋敷の侵入を手伝ったのは誰だったか覚えてるかい？」と笑ってきます。

ウォルロック…せやな（笑）。

サイモン…ま、仕方あるまい。

タチキリ…ぐぬぬ仕方ない。

GM…「さあさあ、メシぐらいおこれ！ 竜の骸骨亭に行こうぜ！」と言つて、メリルは商店街の方へ走り出します。

サイモン…ま、よからう！

ソルビット…今日だけは奢つてやろう！

なんのこと？ 嫌な流れを察知したため、瞬時にとぼけモードに移行。

自力で出たんじゃなかったっけ？ さっき「助かったよ」と言っていたのにー？

GM…ミゼルもやれやれといった顔をしてるけど……「それじゃあアフターグロー、久々に競争といくか？」

ソルビット…え!?

GM…「今回は負けないけどな」と言つて、返事も聞かずミゼルも走り出します。

ソルビット…《スロー》！（一同笑）

GM…そんな魔法は覚えてない！（笑）

サイモン…くつ、徒競走は卑怯だぞ！ 走るのは無理である！

タチキリ…ま、マジ無理。

ウォルロック…「移動力」は俺が一番高いな。

ソルビット…みんな疲れてるから歩いて行こう。

ウォルロック…ダツて走ったら後ろの三人が走ってないんだが。（一同笑）

ソルビット…笑いながら歩いて追いかけます。

GM…——というところで、今回のセッションは終了です。お疲れ様でした！

一同…お疲れ様でしたー！

アリアンロッドRPG 2E・リプレイ く夕焼けの冒険者く

第三話『あるべき姿を求めて』 終

《スロー》！ 敵の「行動値」を下げるアコライトのスキル。ソルビットは取得していない。逆に増加させる《ヘイスト》もある。

あとがき

第三話も最後までお読みいただきありがとうございました。いつも通りネタバレ全開のあとがきです。

第三話は貴族の闇を追う謎解きシナリオでした。基本的には運送計画や輸出入情報の流れからジャン・ニルエナ・マートの誰かに近付き、ギルガルの悪事を突き止め、正義の鉄槌を下す……そういうシナリオです。セツション時間が**本編だけで十時間以上**。リプレイも四〇〇ページ以上あったのをここまで削りました(疲)。本編で大事なのが息子であるミゼルの存在。実はこのシナリオのターニングポイントは『ミゼルに証拠を見せる』こと。ミゼルは父親の国への「想い」は心から尊敬していますが、その「思想」(軍拡)に疑問を持っていました。そんな矛盾した気持ちから長男でありながら冒険者となり、父親と一定の距離を取っていた……そういう設定です。一方のギルガルは狡猾な男で、悪事に使うのは切り捨てられる下っ端だけ。しかし、唯一の息子であるミゼルだけは自分の「思想」を理解してくれる——そう信じて、アフターグロウから真相を知ったミゼルに全てを明かしたのです。ですが、ミゼルが尊敬していたのは父親の「想い」だけ……そんな親子のすれ違いが、このシナリオの背景であり、GMがシナリオを通じて心の中に描いていた物語です。さて、ギルガルが捕まって現れたのは魔族ダンタリオン。ギルガルに契約魔術を伝えたという奴の目的は一体なんなのか……更なる真相に迫る次回、第四話もぜひ見てくださいね！

二〇一九年九月

正直、文字起こしで十六万文字は暴力だと思う。もつぷ

アリアンロッドRPG 2E・リプレイ
～ 夕焼けの冒険者 ～
第三話 『あるべき姿を求めて』



令和元年9月23日 初版発行



著者：もっふ

掲載 Website：『好きなこと工房』

<https://hobbies-workshop.com/>

本リプレイでは『アリアンロッドRPG 2E フリーコンテンツ』の画像を使用しています。

(C)2014 FarEast Amusement Research Co.,Ltd